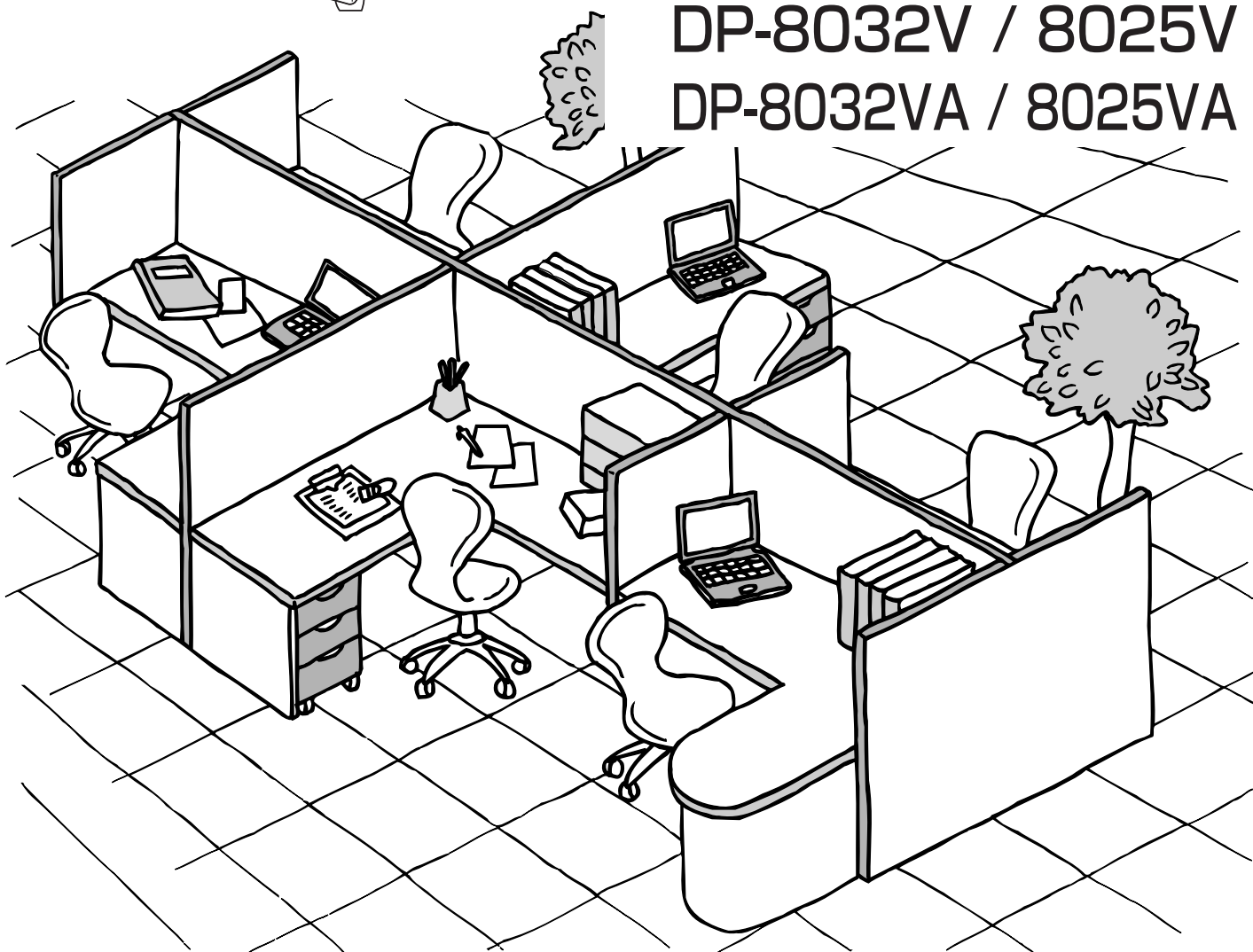
Panasonic®

取扱説明書
（基本編）

デジタル複合機

品番 DP-8032P / 8025P
DP-8032V / 8025V
DP-8032VA / 8025VA

●イラストは オプションを装着した例です。

WORKIO™

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

■ 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

■ **ご使用前に「安全上のご注意」（☞ 9～13ページ）を必ずお読みください。**

■ この取扱説明書は大切に保管してください。

はじめに

オフィスにピッタリ、1 台5 役＋αです

コピー機として

・コピーサイズ：はがき～A3
　原稿サイズ　：はがき～A3
・精細写真原稿から文字原稿まで、原稿の種類に応じたコピーができます。

ネットワークプリンターとして

・パソコンのネットワーク共有プリンター（600dpi）として使用できます。

ファクス機として
(DP-8032P/8025Pを除く)

・G3通信（ファクス）機として使用できます。
・インターネットFAXやEメール機能が使用できます。

ネットワークスキャナーとして

・ネットワークイメージスキャナー（600dpi）として使用できます。

アプリケーションソフト

・装置設定、Device Monitor、Document Management Systemなどの機能を標準ソフトウェアとして添付しております。このソフトウェアにより、上記の機能を更に便利にご使用いただけます。

● DP-8032/8025は、P/V/VAの３タイプがあります。タイプごとの機能は下記の通りです。本文中では、必要なときのみタイプ名を表記します。

機能	P	V	VA
コピー	標準	標準	標準
プリンター	標準	標準	標準
ファクス	不可	標準	標準
インターネットFAX/Eメール	標準	標準	標準
ネットワークスキャナー	標準	標準	標準
自動両面ユニット	オプション		標準

DP-8032P/8025P/8032V/8025V/8032VA/8025VA

本機の取扱説明書は、〈基本編〉〈G3通信／インターネットFAX／Eメール編〉をそれぞれ印刷物、ソフトウェア各編を別添付のCD-ROMにて提供しております。

〈基本編〉（本書）
コピーやネットワークスキャナーの操作について説明をしています。また用紙の補給方法や紙づまりの取りかたなど、困ったときにお読みください。

〈G3通信／インターネットFAX／Eメール編〉
ファクス機能、Eメール機能の使いかたについて説明しています。
・ファクス機能は、DP-8032V/8032VA/8025V/8025VAのみ使用可能です。

ソフトウェアの各編（CD-ROM）
プリンター、アドレス帳、装置設定、Device Monitor、Document Management System機能の使いかたや、困ったときの対処方法などを検索が便利なCD-ROMで説明しています。

本取扱説明書の概要

■操作目的別に本書の概要を記載しています。

コピーをとる前に

- 操作早見表
  コピー基本操作、タッチパネルディスプレイの概要等について説明しています。(☞4、5ページ)
- 安全上のご注意　(☞9～13ページ)
- 取扱上のお願い　(☞14～18ページ)
- 各部の名前と働き　(☞19～21ページ)

コピーのとりかた

タッチパネルディスプレイ上のコピーモード毎に操作方法を説明しています。(☞22～62ページ)

ファンクション設定モード

本機各機能の初期設定値の変更方法
- コピー、プリンター、スキャナー機能について、一般用、キーオペレーター専用それぞれの設定内容を説明しています。
  (☞63～90ページ)

ネットワークスキャナー

- ネットワークスキャナーユニット
  (☞91～100ページ)

便利なオプション

- システムの構成　(☞101ページ)
- 自動原稿送り装置（DA-AS201/AR251）
  (☞102ページ)
- 1ビンフィニッシャー（DA-FS300）
  (☞102～105ページ)

コピーができないとき／異常と思われるとき

- 用紙の補給、紙づまり処置方法
  (☞106～112ページ)
- 故障かな?と思われるときの確認・処置方法
  (☞113、114ページ)
- 電池交換のしかたについて
  (☞115ページ)

その他

- 仕様、アフターサービス、付録（文字・コード一覧、索引）等について（☞116～130ページ）

操作早見表

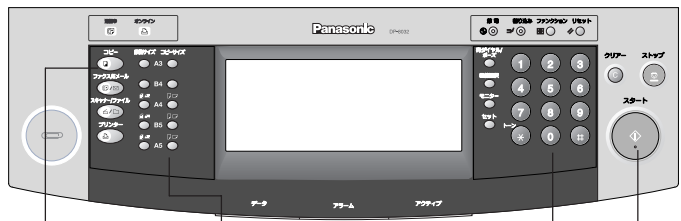
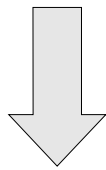
コピー基本操作

〈準備〉

用紙を補給
(☞106 ページ)

電源を入れる
・ スタンバイスイッチ
（本機左側面）
電源スイッチ
（本機背面 ☞5 ページ）

■ 使いかた

1 原稿をセット

(2) コピーキーを押す＊

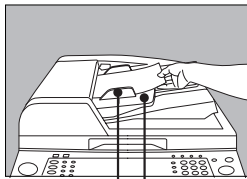
3 コピーサイズ（縮小・拡大のみ）

4 コピー部数＊＊（最大：999）

5 スタートキーを押す

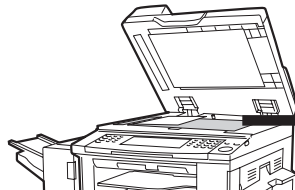
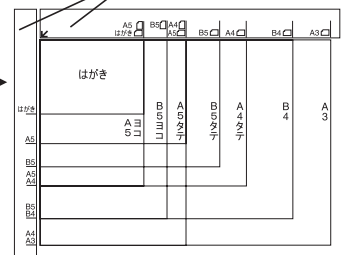
＊ ファクス /E メール、プリンター、スキャナー機能等が選択されているときのみ。

〈自動原稿送り装置(ADF ＊＊＊)〉

・ 原稿に原稿ガイドを正しく合わせ、セットする。
コピー面を上向き
50 枚まで：A5/A4/B5
30 枚まで：B4/A3

ADF 原稿台

原稿ガイド
原稿幅に正しく合わせます。

＊＊＊ ADF
自動原稿送り装置は、片面原稿専用と片面 / 両面原稿共用の２機種があります。
片面原稿専用　　　：ADF
片面 / 両面原稿共用：両面ADF
本文中では、両機種ともADFという表現で統一しております。
両面 ADF のみ対応の機能の場合は、「両面 ADF のみ」と記載いたします。

〈原稿台ガラス〉

・ 原稿ガイドに正しく合わせ、セットする。
コピー面を下向き
・ 原稿を原稿台ガラスの左上コーナーに合わせてセットする。

〈原稿の方向〉
：ヨコ送り方向
：タテ送り方向（R 方向）

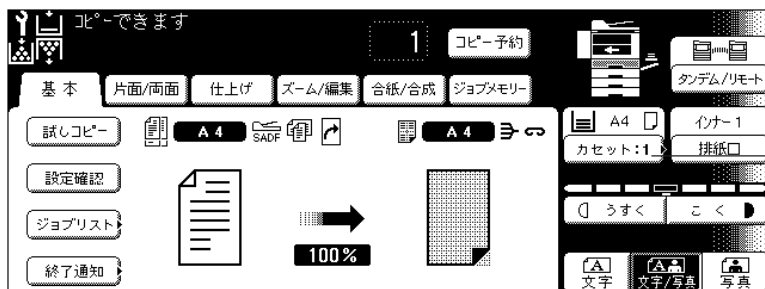
＊＊コピー部数設定について

最大コピー部数の設定は、最大999までですが、VおよびVAタイプでは、4～8桁まで入力（お買い上げ時の設定は6桁以上）することができる場合があります。このときは、タッチパネルディスプレイに電話番号入力画面が表示され、自動的にファクス／Eメールモードへ切り替わります。

お知らせ

● メモリー容量について
原稿を読み取っている途中でメモリーがいっぱいになると、「メモリー容量不足で実行できません」とメッセージが表示されます。画面の表示にしたがって操作してください。
メモリー容量の増設をご希望のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

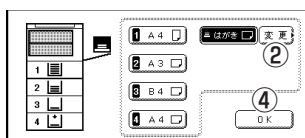
タッチパネルディスプレイ

■機能の種類とメニュー

●本図は、コピー機能概要を説明するためのはめ込み図です。

モード選択タブの名前	機　能	参照ページ
基本	●電源投入時の初期画面です。 ●原稿種類、コピー濃度、給紙カセットを選択するとき。 ●試しコピー、タンデム / リモートコピーを選択するとき。 ●コピー、プリントジョブの状況を確認したいとき。	22-28
片面／両面	●両面コピー、ページ連写コピー、N イン 1 コピー、原稿混載機能、SADF 機能を選択するとき。	29-38
仕上げ	●電子ソート、オプションのフィニッシャーの仕上げモードを選択するとき。	39, 103
ズーム／編集	● ズームコピー、各種編集モードを選択するとき。	40-47
合紙／合成	●合紙コピー、合成コピー、ファイル編集モードを選択するとき。	48-55
ジョブメモリー	●ジョブメモリー機能を選択するとき。	56

■ はがきや厚紙を使用するとき

・手差しトレイ（☞ 23 ページ）に下記の手順でセットする。

▶
◀

①「給紙カセット選択」ボタンを押す。(上図参照)
②手差しトレイを選択し「変更」を押す。
③「厚紙」を選択し、「OK」を押す。
④「OK」を押す。

お願い

● **オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）装着時：**
電源スイッチ(本機背面)を切る前に、本機左側面のスタンバイスイッチを先に切り、タッチパネルディスプレイの表示が消えるのを確認してから電源スイッチ(本機背面)を切ってください。

お知らせ

● 左側面のスタンバイスイッチを切っても本機のファンモーターが作動する場合があります。これは本機内部の冷却のためであり、故障ではありません。
● 節電のため、長い期間、本機を使用しないときは、背面にある電源スイッチを切っておくことをお勧めします。
● 左側面のスタンバイスイッチが「切（⏻）」の状態で電源スイッチを入れると、タッチパネルディスプレイや本機のファンモーターが一瞬点灯・動作することがあります。これは故障ではありません。

もくじ

コピーをとる前に

コピーのとりかた

もくじ

コピーのとりかた

ファンクション設定モード

もくじ

ネットワークスキャナー

便利なオプション

コピーができないとき／異常と思われるとき

その他

安全上のご注意 (必ずお守りください)

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

■本体・オプションの取り扱いについて

⚠警告

■ 定格15A・交流100Vのコンセントを単独で使う

他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

● ぬれた手をよくふいて電源プラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 同梱された電源コードは、他の製品に使用しない

禁止

火災や感電の原因になります。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

● 電源コードや電源プラグの修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 機内に水や金属物（クリップやステープル針など）が入ったときは、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

機内の配線がショートして、火災の原因になります。

● 電源プラグを抜いて、サービス実施会社へご連絡ください。

■ 本機（オプションを含む）を分解・改造しない

分解禁止

レーザー光線による視力障害、または高温部分や高電圧部分にさわるとやけどや感電の原因になります。

● 修理は、サービス実施会社へご相談ください。

■ 発煙・異臭・異音などの異常が発生した場合は、電源スイッチを切り電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

● 使用を中止し、サービス実施会社へご相談ください。

⚠警告

■ 必ず、アース線接続を行う

漏電した場合は、火災・感電の原因になります。

● アース線接続ができない場合は、サービス実施会社へご相談ください。

■ アース線接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行う。また、アース線接続を外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行う

感電の原因になります。

■ アース線は、ガス管・水道管や避雷針などに接続しない

接地が不十分だったり、落雷などにより、火災、感電の原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ シンナー・ガソリンなどの引火性の高いものの近くに設置しない

ガソリンなどが発火し火災をおこす原因になります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

コードが傷つき、火災、感電の原因になります。

● 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ（金属でない部分）を持ってください。

■ 雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない

感電の原因になります。

■ 済スタンプヘッドは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

⚠注意

■ 床、土台が不安定な場所や振動の激しい場所へは設置しない

本機が倒れて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 本機のキャスター及びアジャスターは固定する

動いて、けがをする原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

■ 油煙や湯気や水のかかる場所、ほこりの多い場所には置かない

火災、感電の原因になることがあります。

● 移動するときは、サービス実施会社へご相談ください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠注意

■紙づまりはそのまま放置しない

禁止

高温部の紙づまりを放置すると紙が発火し、火災の原因になることがあります。

- 紙づまりは確実に取り除いてください。

■高温表示部とその周辺にはさわらないよう注意する

高温注意

高温部分にさわるとやけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処置などで内部をさわるときは、十分に注意してください。

■鎖の長いブレスレットやネックレスなどをつけて操作しない

禁止

機内に触れたり、巻き込まれて、感電やけがをする原因になることがあります。

- 万一事故がおきたときは、電源プラグを抜き、サービス実施会社へご連絡ください。

■動作中に光源ランプを直視しない

禁止

ランプの光により、目を傷める原因になることがあります。

■本機の通風孔をふさがない

禁止

機内に熱がこもり火災の原因になることがあります。

■取扱説明書で指示がない部分は操作しない

禁止

高温部分や突起のある部品にさわるとやけどやけがをする原因になることがあります。

- 内部をさわるときは、十分に注意してください。

■本機に重いものを置いたり、乗ったり、トレイなどに体重をかけたりしない

禁止

物が落下したり、転んだり、落ちてけがをする原因になることがあります。

■原稿台（ガラス）に衝撃を与えたり、重いものを載せたりしない

禁止

ガラスが割れてけがをする原因になることがあります。

- ガラスが割れたときは、電源プラグを抜いてサービス実施会社へご連絡ください。

■エラー(E#-##)表示をしたときや、異音など異常な動作をしたときは、必ず電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

火災、感電の原因になることがあります。

- (E#-##)は数字を確認（メモ）して、サービス実施会社へご連絡ください。

■電源コードは必ず付属のものを使用する

火災、感電の原因になることがあります。

■トナーまたはトナーの入った容器を火中に投げ入れない

禁止

爆発したり、着火したトナーが飛び散り、火災、やけどの原因になることがあります。

■トナーまたはトナーの入った容器を子供の手の届くところに置かない

禁止

誤って飲み込むおそれがあります。

- 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■電池の取り扱いについて

⚠警告

■ 充電・ショート・分解・変形・加熱・火に入れるなどしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池は乳幼児の手の届かないところに保管する

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだ場合は直ちに医師に相談してください。

■ 電池を保管、廃棄するときは、テープなどで端子部を絶縁する

他の金属や電池と混ざると液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池の⊕極と⊖極は正しく接続する

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 電池に直接ハンダ付けをしない

禁止

液もれ・発熱・破裂・発火の原因になります。

■ 液が目に入ったら、すぐに洗い流す

目を傷める原因になります。

● こすらずにきれいな水で洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。

⚠注意

■ 直射日光・高温・多湿の場所を避けて保管する

液もれ・発熱・破裂の原因になることがあります。

■ 電池は間違ったタイプに交換しない

禁止

破裂の原因になることがあります。

● 使用済の電池は、説明書に従って処分してください。

取扱上のお願い

設置上のお願い

■次の様な場所への設置は避けてください。

●高・低温、低・多湿な場所
（適用温度･湿度：10～30℃、30～80%RH.）
●温度変化の激しい場所
●冷・暖房機の近く（直接風のあたる所）
●加湿機の近く
●テレビ、ラジオなど電子機器の近く
●直射日光のあたる場所
●ほこり、アンモニアガスが発生する場所
●シンナー、ガソリンなどの近く
●換気の悪い場所
●床、土台が不安定な場所、震動の激しい場所

■本機の側面部は壁から 10cm 以上離してください。

換気について

本機を使用中は、オゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋での長時間使用や､大量にコピーをとる場合には､快適な作業環境を保つために部屋の換気をお勧めいたします。

移動時

■本機の移動や運搬はサービス実施会社におまかせください。

●転居の際は、サービス引継が必要です。
（事前にサービス実施会社へご相談ください。）

用紙・トナーに関するお願い

■用紙、トナーは湿気の少ない涼しい場所に保管してください。

● 用紙は 60 ～ 90g/m²（手差しでは 55 ～ 133g/m²）の上質紙・再生紙が使用できます。できるだけ当社の推奨紙をお使いください。
● トナーの補給は、サービス実施会社にご連絡ください。
● 当社指定品、推奨品以外の用紙やトナーを使用されますと、コピー品質への悪影響および性能を損なう場合があります。
● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
● トナー容器は分解・改造しないでください。
● 用紙詰まりの処置やトナーの入った容器を交換するときは、トナーが飛び散らないようにしてください。
トナーが目や口に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。
トナーで手や衣服が汚れた場合はすぐに水で洗い流してください。
● トナーまたはトナー容器の不適切な取り扱いにより、トナーが飛散した場合は、飛散個所から離れ、トナーの皮膚接触、吸引を避けてください。
また、トナー飛散の処置については、サービス実施会社にご相談ください。
● トナーまたはトナーの入った容器は子供の手の届かないところに置いてください。

その他

■電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

■法律で禁じられていること

次のようなコピーは所有するだけでも法律により罰せられますから充分ご注意ください。

●法律でコピーを禁止されているもの
- ①国内外で流通する紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券
- ②未使用の郵便切手、官製はがき
- ③政府発行の印紙、酒税法や物品法で規定されている証紙類

●注意を要するもの
- ①株券、手形、小切手など民間発行の有価証券、定期券、回数券などは、事業会社が業務上必要最低部数をコピーする以外は政府指導によって注意が呼びかけられています。
- ②政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可書、身分証明書や通行券、食券などの切符類のコピーも避けてください。

●著作権の対象となっている書籍、絵画、版画、地図、図面、写真などの著作物は個人的または家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は禁じられています。

■電源高調波についてのお知らせ

JIS C 61000-3-2 適合品
本機は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

■製品リサイクルについて

●使用済や不要となった製品は、回収して、環境保護、資源有効活用のため、リサイクルしています。本機を廃却する場合は、必ず弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

●使用済や不要となったトナーカートリッジ･廃トナー容器等の消耗品は、環境保護、資源有効活用のため、適切な処理が必要です。消耗品を廃却する場合は、必ず消耗品の梱包箱に記載されている回収連絡先、弊社または販売店、サービス実施会社にご連絡ください。

使用上のお願い

■動作中に電源を切ったり、本体カバー等を開けたり、給紙カセットを引き出したりしないでください。（紙づまりの原因になります。）

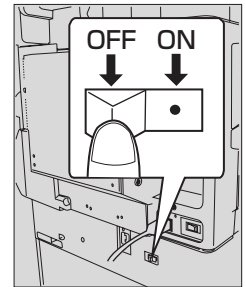
■ 除湿ヒーターに関するお願い

(1) 使用方法

●結露の発生する季節には、ヒーターのスイッチを「ON（●：入）」にしてください。

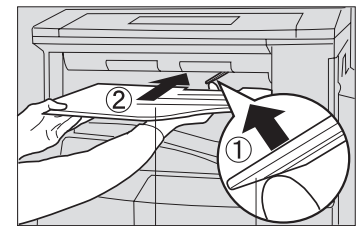
●結露の発生しない季節は、ヒーターのスイッチを「OFF（切）」にしてください。

(2) 使用上の注意

●結露の発生する季節以外は使用しないでください。

■節電モード設定時のお願い

●節電モードで「シャットダウン」状態になると、下記機能が動作いたしません。これらの機能をご使用になられる場合は、節電モードを初期設定値（お買い上げ時）の「スリープ」のままにしておいてください。
現在の節電モードの設定確認と変更は、ファンクション設定モードの「スリープ／シャットダウン選択」でおこなうことができます。（☞ 71 ページ）
・タンデム／リモートコピー時のデータ受信機能
・プリンター機能（USB ローカル接続、ネットワーク接続の両方）
・インターネット FAX/E メール機能

■インナートレイに関して

●本機のインナートレイ（DP-8032P/8025P はオプション）は、通常、取り外すことはありません。もし、外された場合は、図のように「用紙押え」を押し上げ、「用紙押え」がインナートレイの奥側に当たらないようにして装着してください。

お願い

● 除湿ヒーターにつきましては、弊社サービス実施会社へお問い合わせください。

キーオペレーターへのお願い

機器の機密保持のため、キーオペレーターは機器設置、設置環境の構築、セキュリティー機能の作動、機器の交換・廃棄時にいたるまで、下記項目を行うことを推奨いたします。

1. キーオペレーターはサービス技術者がメーカーまたはその関連会社、販売会社の社員であることの確認のために身分証明書の提示を求め、確認する。また、お客さまの機器情報（キーオペレーターパスワードなど）を電話、またはメールで直接問い合わせを受けた場合でも、身分の提示を求める。

2. 本機を接続するネットワークから外部ネットワークに接続する際には、ファイアーウォールを介して接続する。また、本機とクライアントPCまたはサーバーを接続する際には、盗聴されないネットワーク環境の構築、たとえばスイッチングハブを利用したネットワーク環境を構築する。

3. キーオペレーターパスワードはセキュリティー機能を保持するうえで重要な情報です。キーオペレーターパスワードは初期値より変更し、パスワードが漏えいしないように、自らパスワードの秘密を保持する。キーオペレーターパスワードの変更方法については『取扱説明書（基本編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［45 キーオペレーターパスワード］ の設定をしてください。

4. ハードディスクドライブロックパスワードを、初期値より変更してお使いになるハードディスクユニットにパスワードを設定することにより、ハードディスクユニットが持ち出された場合でも、パスワードによるロックを行うことで第三者による不正な再出力を防止します。また、ハードディスクドライブロックパスワードは、本機の修理の際にも必要となります。キーオペレーターはパスワードが漏洩しないように、自らパスワードの秘密を保持すること。ハードディスクドライブロックパスワードの変更方法については『取扱説明書（基本編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［46 ハードディスクドライブロック］の設定をしてください。
   ※オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）装着時のみ

5. 本機を悪意の第三者による不正操作から防衛するためID/パスワードの設定は以下を実施する。
   1) 設定可能なけた数最大までを利用して設定する。
   2) 設定可能な文字種類を多く組み合わせる
   3) ID/パスワードを定期的に変更する。
   各種ID/パスワードの設定・変更時にはキーオペレーターだけが設定画面を見られる環境にし情報が漏洩しないようお客さまの責任において管理してください。

6. メールボックスに蓄積された文書は速やかに印刷する。印刷することにより文書データが削除され、第三者による不正な再出力を防止します。印刷方法については『取扱説明書（Printer Driver 編）』の「メールボックスからの印刷」を参照してください。
   ※オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）装着時のみ

7. すべての作業終了後、必ずリセットボタンを押して待機画面に戻す。また、オートクリアタイムの設定を解除しない。

キーオペレーターへのお願い

8. 本機を廃棄の際は、ハードディスクユニットを初期化して、ハードディスク内に蓄積されたデータ領域を上書き消去し、復元できない状態にする。さらに本機に記録されたすべてのデータを消去することが必要です。消去にはサポート対応が必要になりますのでサービス技術者へ依頼してください。ハードディスクユニットの初期化方法については『取扱説明書（基本編）』を参照し、［共通機能設定］＞［09 キーオペレーター専用］＞［29 ハードディスク初期化］ ＞［データ削除］を実施してください。
   ※オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）装着時のみ

9. 本機に読み込んだ情報（文書 / 画像）や受信した情報、または設定 / 登録した情報（アドレス帳など）は、お客さまの責任において管理してください。万が一、本機の不都合によって消失した場合、復元は不可能です。その内容の保証についてはご容赦ください。

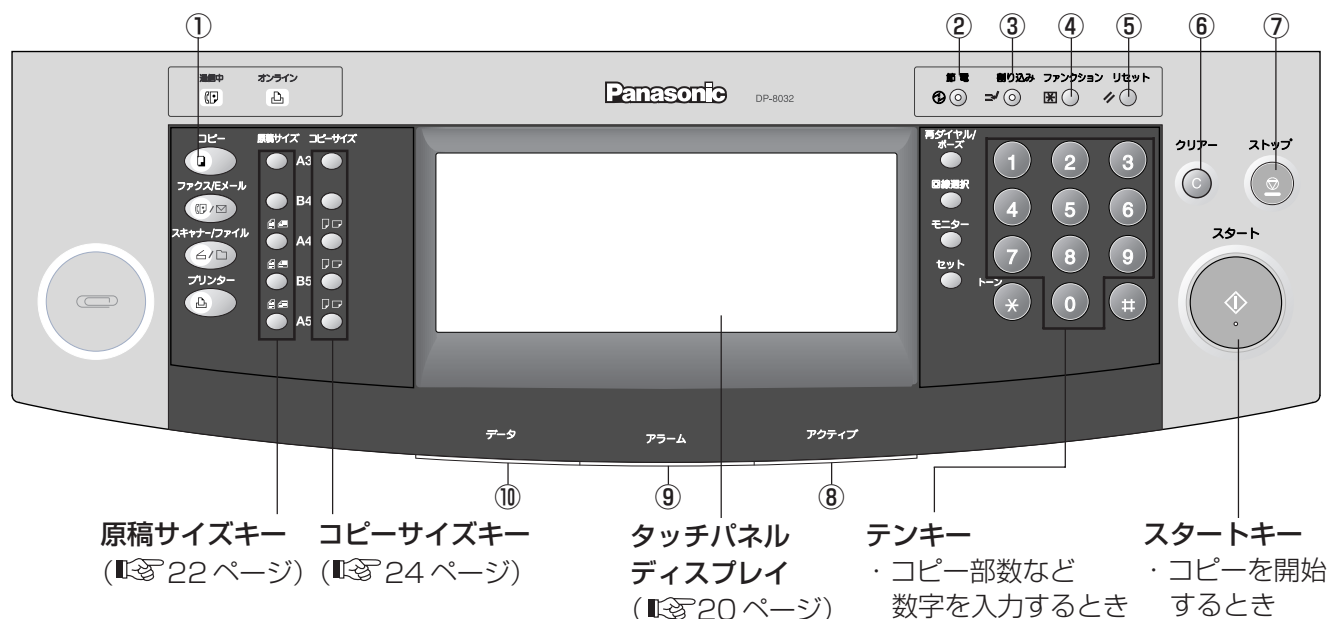
10. 本機の設定内容を誤るとお客さまの情報が意図せず外部に漏洩したり、本機のご使用に支障をきたす場合があります。各種設定を行う際は内容をご確認ください。

※ 本機のセキュリティー設定には、キーオペレーターが設定するパスワード（8 桁）の入力が必要です。初期値は00000000（8 桁）です。パスワードを設定することにより、キーオペレーター以外によるセキュリティー設定の変更を防護します。

また、パスワードは任意に設定することができます。

キーオペレーターの選定には十分にご考慮ください。取扱説明書の記述内容を理解し、上記対応を確実に実行していただける方をおすすめします。

各部の名前と働き

コントロールパネル

No.	内　容
①	**コピーキー** ●コピー機能を選択するとき。他の機能が選択されているときのみ押します。
②	**節電キー** ●本機を未使用時に、消費電力を節約したいとき。 節電モード（スリープ／シャットダウン）から復帰させたいとき。*
③	**割り込みキー** ●コピーの途中で、他のコピーを割り込ませたいとき。
④	**ファンクションキー** ●紙サイズや各機能の初期設定値（デフォルト値）をファンクション設定モードで確認・変更したいとき。
⑤	**リセットキー** ●設定したコピー／スキャナーの各モードを解除したいとき。
⑥	**クリアーキー** ●コピー部数などの数字入力を訂正・クリアーしたいとき。
⑦	**ストップキー** ●コピー動作を途中で止めたいとき。
⑧	**アクティブ LED（緑）** ●本機が動作中のときに点滅します。
⑨	**アラーム LED（赤）** ●本機が異常なときに点灯します。**
⑩	**データ LED（緑）** ●プリントデータをパソコンより受けたときに点灯します。

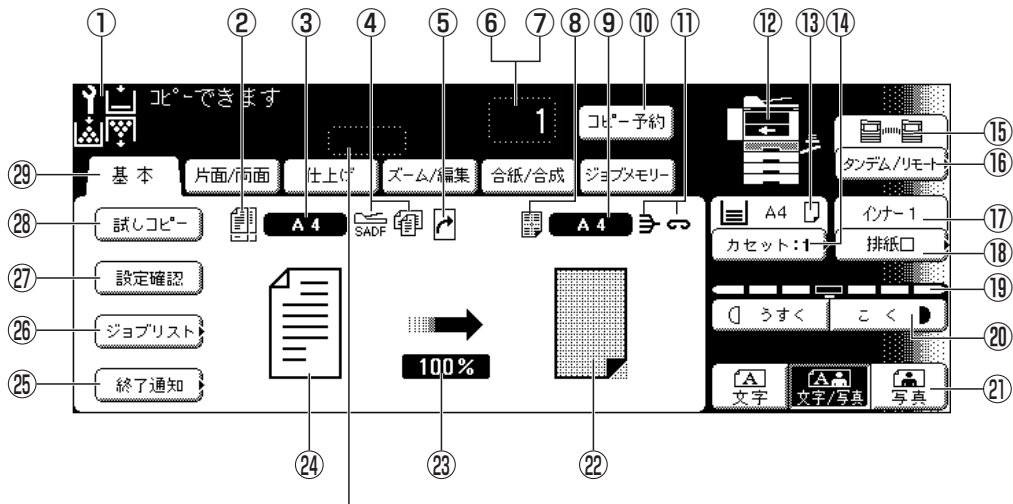
お知らせ

* ジョブリストにいずれかのジョブがある時は、節電キーの操作が無効となります。（☞27 ページ）

** 本機が異常なとき、その状態によって⑨のアラーム LED が点灯または点滅します。
LED 点灯：　トナーなし、紙づまりなどで動作停止のとき
LED 点滅：　本機が警告状態になったとき（動作は停止しません）
・トナーの残量が少なくなったとき
・一部の用紙カセットの紙が無いとき

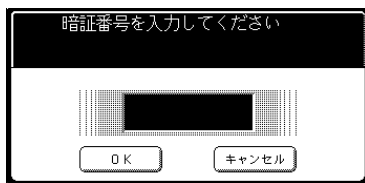
● 本コントロールパネルの説明は、コピー機能に沿った内容となっております。
ファクス /E メール、プリンター使用時のキー名称とはたらきについては、
本機に添付のそれぞれの取扱説明書をご参照ください。（☞2 ページ）

各部の名前と働き

タッチパネルディスプレイ

コピー進行表示

例： 3部ソートコピー時

0/3 → 1/3 → 2/3 → 3/3

のようにコピーされている状況が表示されます。

● 部門カウンター機能が設定されているときは、タッチパネルディスプレイ上に暗証番号（部門コード）の入力用画面が表示されます。部門毎に設定された「暗証番号」を入力しないとコピー／ファクス／スキャナー等の操作ができません。部門毎の暗証番号については、キーオペレーターにお問い合わせください。

お 願 い

● タッチパネルディスプレイの操作は、必ず指で行ってください。
爪やシャープペンの先などの尖ったもの･硬いもので押しますと、パネルの表面が破損することがあります。

お知らせ

● **タッチパネルのコントラスト調整のしかた**
クリアーキーを押しながら、原稿サイズのA3キーまたは、コピーサイズのA3キーを押してお好みの明るさに調整できます。押すごとに明るさが変化します。
暗くする場合　：クリアーキーを押しながら、原稿サイズのA3キーを押してください。
明るくする場合：クリアーキーを押しながら、コピーサイズのA3キーを押してください。

■タッチパネルディスプレイの表示

No.	内　　容	参照ページ
①	警告表示 用紙補給 ・下記の場合は、サービス実施会社にて補給および交換等を行います。 サービス実施会社に連絡してください。 トナー補給　廃トナー容器交換　サービスコール	106
②	原稿イメージアイコン	—
③	原稿サイズ表示	22
④	原稿混載モード表示／SADF モード	36, 37
⑤	回転モード表示	—
⑥	コピー枚数／原稿読み込み枚数表示	—
⑦	マシンエラー／ユーザーエラー表示（E1-01、U13 など）	113, 114
⑧	コピーイメージアイコン	—
⑨	コピーサイズ表示	24
⑩	コピー予約ボタン	57
⑪	フィニッシャー（仕上げ）モード表示	39, 103
⑫	給紙カセット選択位置表示／排紙トレイ選択位置表示	—
⑬	用紙残量／用紙サイズ表示	—
⑭	給紙カセット選択ボタン	24
⑮	タンデム／リモートコピー表示	26
⑯	タンデム／リモートコピーボタン	26
⑰	コピー排紙口選択表示	22
⑱	コピー排紙口選択ボタン	22
⑲	濃度表示（7 段階）	22
⑳	コピー濃度調整ボタン（うすく・こく）	22
㉑	原稿種類選択ボタン（文字、文字／写真、写真）	22
㉒	コピー／用紙イメージ表示	—
㉓	複写倍率表示	24
㉔	原稿（イメージ）表示	—
㉕	終了通知ボタン	28
㉖	ジョブリストボタン	27
㉗	設定確認ボタン ・設定されたコピーモード（片面／両面、仕上げ、ズーム／編集、合紙／合成など）を タッチパネルディスプレイの右側に表示させたいとき	—
㉘	試しコピーボタン	25
㉙	モード選択タブ	22 - 61

基本モード

原稿と同じサイズでコピーしたいとき

■ 等倍コピー

原稿サイズ、コピーサイズ、コピー濃度が自動的にセットされます。

1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

2 コピー部数
（連続コピーは 999 枚まで）

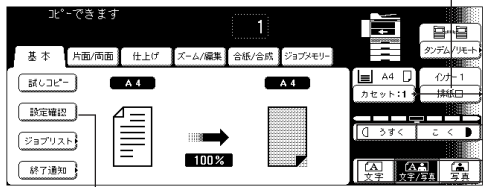
3 スタート

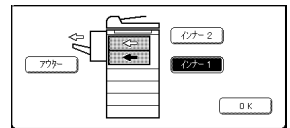
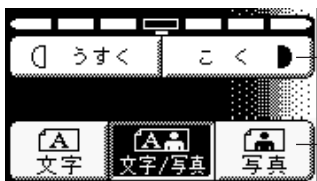
■ 基本画面

（A4 サイズ原稿の例）

コピー排紙口選択ボタン
･オプション装着時にコピーの排紙先を切り替えたいとき。
インナー１： 通常排紙先
インナー２： インナートレイ装着時
アウター ： アウタートレイまたは、フィニッシャー装着時

給紙カセット選択ボタン

コピー濃度調整ボタン

原稿種類選択ボタン

設定確認ボタン
●設定した各コピー機能が一覧表示される。

■ 手動で原稿種類やコピー濃度、原稿サイズをセットしたいとき

① コピー濃度を調整する。
「うすく」または、「こく」を押して調整する。

② 原稿種類を選ぶ。
文字　　　：文字が主体の原稿
文字／写真：文字と写真が混在している原稿
写真　　　：写真が主体の原稿

原稿サイズキー

- 本機はADFまたは、原稿台ガラスに原稿をセットすると自動で原稿サイズ／コピーサイズが設定されます。
  原稿サイズが正しく自動設定されないとき、または、定型サイズ外の原稿のときは、手動で原稿サイズを設定します。
  - 定型サイズ：A3、B4、A4、B5、A5
- A4、B5、A5 はヨコ・タテ（R）方向が交互に切り替わります。

■自動原稿送り装置（ADF）使用時のお願い

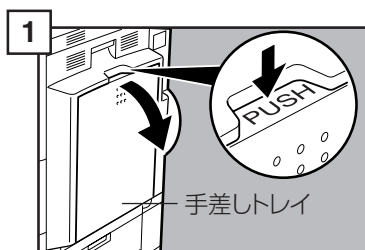
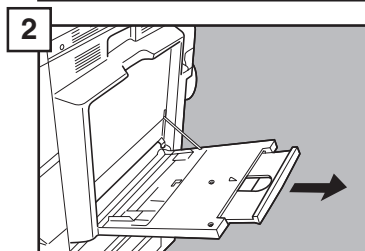
・次の特殊な原稿は使用できません。原稿台ガラスよりコピーしてください。
はがき用紙、画用紙、OHP フィルム、半紙、ラベル用紙、厚紙・薄紙、アート紙、フィルム、感熱紙、和紙など
・また、次のような原稿は使用しないでください。
破れ、大きな穴やとじ穴（コンピュータ用紙）のある原稿、大きくカールしたり折れのある原稿

■手差しトレイの使いかた

はがき、OHP フィルム、ラベル用紙や不定形サイズ（A3、B4、A4、B5、A5 以外）にコピーするとき。（はがきは両面コピーできません。）

1

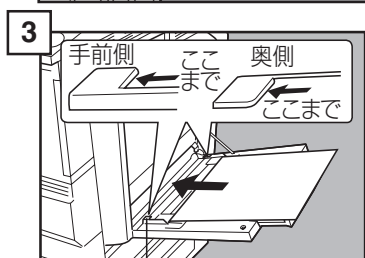
手差しトレイを開く

2

トレイを止まるまで引き出す

・A5 やはがきをセットするときは、「給紙カセット選択」ボタンで手差しトレイを選び、用紙サイズを指定する。＊

● 不定形サイズにコピーするときは、コピー排紙先を「インナー１」にしてください。（☞22 ページ）

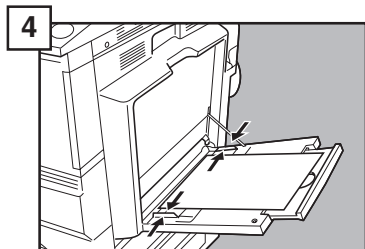
● 用紙をセットする前に、リセットキーを押すと指定した用紙サイズが解除されます。

3

用紙枚数上限規制板
・用紙ガイド(手前・奥側)の上部

用紙をセットする

・印字（コピー）する面を下にする。
・用紙が止まるまで差し込む。
・セットできる枚数は、当社の複写機用推薦紙にて同じサイズ・紙質で 50 枚まで、用紙枚数上限規制板を目安にセットする（はがきは、10 枚まで）。
・はがきは、タテ送り（□）方向にセットする。

● 用紙を継ぎ足すときは、手差しトレイに残った用紙を一度取り出し、継ぎ足す用紙ときちんと揃えてから用紙をセットし直してください。

4

用紙ガイドを調整する

用紙の左右に正しく合わせる。
用紙ガイドを正しく調整しないと斜行、紙しわ、紙づまりの原因になります。

● セットした用紙のサイズが検知されないときは、用紙を取り除き、リセットキーを押した後に再度用紙をセットしてください。

お 願 い

● 紙づまりの原因となりますので、用紙のそりを直してセットしてください。（はがきは5 mm以下）

お知らせ

＊ 紙サイズ指定をしないと手差しトレイのオート検知では、A5□・はがきは、B5□または A4□と検知されます。最初に検知するサイズは、ファンクション設定モードで切り替えできます。（☞70 ページ）
● OHP フィルムは「3MPP2500 」／住友スリーエム社製を推奨します。
● ファクス受信では、手差しトレイにセットされている用紙に印刷できません。

基本モード

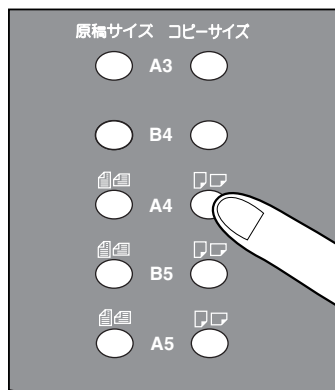
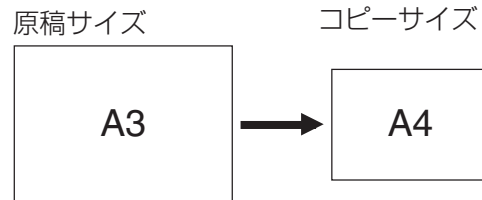
固定倍率で縮小・拡大コピーしたいとき

■縮小・拡大コピー

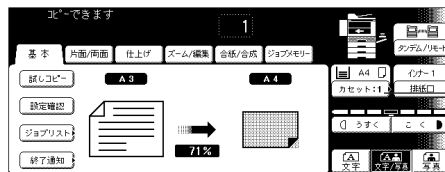
1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

2 コピーサイズを選ぶ

3 コピー部数

4 スタート

例：縮小コピー

コピー倍率は自動的に選択されます。

コピー倍率表示（%）

原稿サイズ	コピーサイズ A3	B4	A4	B5	A5
A3	100	87	71	61	50
B4	115	100	82	71	58
A4R	141	122	100	87	71
B5R	163	141	115	100	82
A5R	200	173	141	122	100

（R はタテ( )送り方向）

●用紙サイズを変えるときは、給紙カセット選択ボタンを押します。

お願い

お知らせ

● コピーサイズと同じサイズの用紙が給紙カセットに無いときは、手差しトレイにコピーサイズの用紙をセットしてください。(☞23 ページ)

● 縮小・拡大コピーを解除するときは、リセットキーを押します。

複数部コピー前に、１部のみ試しのコピーをしたいとき

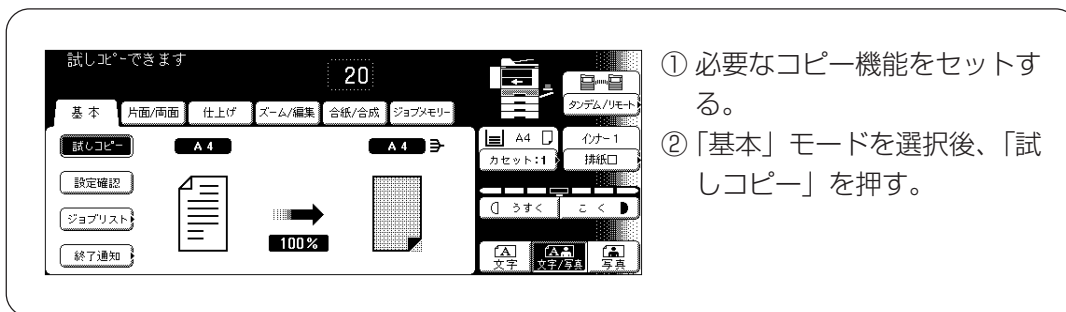
■試しコピー

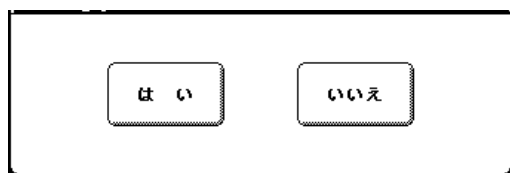
1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

(2) コピーサイズ（縮小・拡大時）

4 必要なコピー機能をセットして、試しコピーを選択する

3 コピー部数

5 スタート

① 必要なコピー機能をセットする。
②「基本」モードを選択後、「試しコピー」を押す。

6

●試しのコピーがOKの場合、「はい」を選択すると残りの部数がコピーされる。
●試しのコピーがダメな場合、「いいえ」を選択する。基本画面に戻るので、設定を変更し、再度コピーする。

お知らせ　● 試しコピーを解除するときは、もう一度「試しコピー」ボタンを押します。

基本モード

他の複合機と部数を分けてコピーまたは、他の複合機でコピー出力したいとき

■タンデム／リモートコピー

タンデム／リモートコピー使用時は、ネットワーク、タンデム自機情報の設定（☞85ページ）とオプションのハードディスクユニット（DA-HD31)、メモリーボード（DA-SM16B/SM64B/SM28B）の増設が必要です。（ネットワークの設定は、ネットワーク責任者にお問い合わせください）

- ●タンデムコピー：コピー部数の半分を本機､残りの半分を同じネットワーク内に接続されている他の弊社デジタル複合機（DP-8032/8025/3030/2330/3010/2310）で印刷することができます。
- ●リモートコピー：コピー部数のすべてを同じネットワーク内に接続されている他の弊社デジタル複合機（DP-8032/8025/3030/2330/3010/2310）で印刷することができます。

①「基本」モードを選択後、「タンデム／リモート」を押す。

② ネットワーク内に接続されている他のデジタル複合機を選ぶ。
他のデジタル複合機が表示されないときは、86、87ページの手順にしたがって他の弊社デジタル複合機を登録する。

③「タンデム」または「リモート」を選択する。

④「OK」を押す。

お知らせ

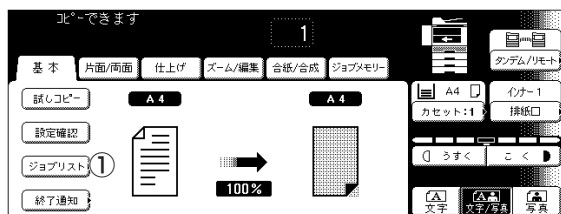
- ● タンデム／リモートコピーとして選択することができる弊社デジタル複合機は、DP-8032/8025/3030/2330/3010/2310のいずれかです。また、対象のデジタル複合機にもタンデム／リモートコピー機能用に事前にタンデム自機情報を登録しておく必要があります。（☞85 ページ）
- ● タンデム／リモートコピーを解除するときは、リセットキーを押します。

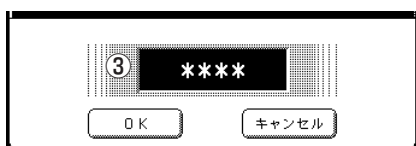
コピー／プリントの進行状況を確認したいとき

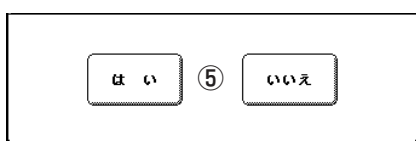
■ジョブリスト

・プリント印刷（順位）を変更したり、コピー／プリントジョブを削除することが可能です。

操作手順

例：プリントジョブ削除

①「ジョブリスト」を押す。

②「プリントジョブ」を選択する。

③ 管理操作パスワード（4桁）を入力し、「OK」を押す。

④ 削除したいプリントジョブを選択し、「削除」を押す。

⑤ 削除確認の「はい」、または「いいえ」を選択する。

⑥「閉じる」を2回押すと基本画面に戻る。
削除したいプリントジョブがまだある場合には手順④、⑤と繰り返す。

お願い

● 複数のプリントジョブかすべてのプリントジョブを一括消去することが可能ですが、一度消したジョブは、復帰できませんので、十分確認して消去してください。

お知らせ

● 優先印刷（順位）を変更できるのは、プリントジョブのみです。また、オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）、メモリーボード（DA-SM16B/SM64B/SM28B）装着時のみ有効です。

●「管理操作パスワード」の設定を変更する際は、サービス実施会社にご相談ください。（初期値 0000）

基本モード

コピー完了をネットワーク上のパソコンに通知表示させたいとき

■終了通知

ネットワーク上のパソコン名は、自動的に本機のタッチパネルディスプレイ上に表示されます。
(もし、パソコン名が表示されないときは、ネットワーク管理者にご相談ください。)

- 本機能を使用するためには、あらかじめ Job Status Utility のインストールと設定が必要です。
また、コミュニケーションユーティリティを使用することで、お使いのパソコンの情報を本機へ登録が簡単に行えます。
詳細は、Panasonic Document Management System CD-ROM 内の取扱説明書(『コミュニケーションユーティリティ編』・『Printer Driver 編』)を参照してください

1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

2 コピー機能をセットし、「終了通知」を選択する

①「終了通知」を押す。
・左下画面のようにネットワーク上のパソコン名が、表示されます。

② 終了通知を表示させたいパソコンを選択する。
③「OK」を押す。

3 コピー部数

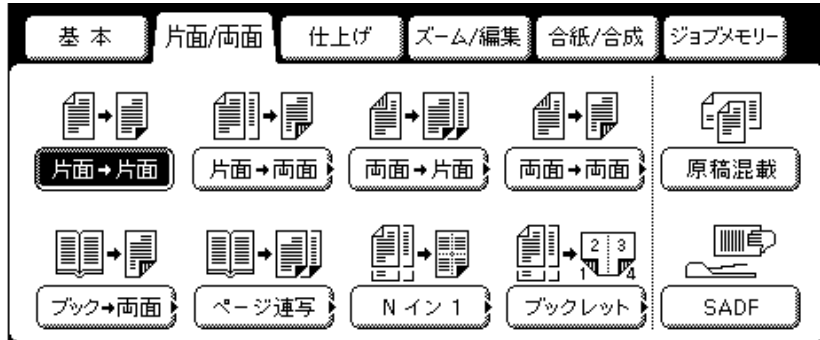
4 スタート
・コピー終了後、ポップアップ画面が指定したパソコンに表示される。

お知らせ

- 終了通知機能は、本機がネットワークに接続されているときのみ使用可能です。
- 終了通知モードを解除するときは、リセットキーを押します。

片面／両面モード

片面／両面モード選択タブ

■ 初期画面

● ボタンを押して設定する機能を選びます。

片面→片面：両面コピー機能を解除したいとき。	片面→両面：片面原稿を両面にコピーしたいとき。（☞ 30 ページ）
両面→片面：両面原稿を片面にコピーしたいとき。（☞ 30 ページ）	両面→両面：両面原稿を両面にコピーしたいとき。（☞ 30 ページ）
ブック→両面：ブック原稿を両面にコピーしたいとき。（☞ 31 ページ）	ページ連写：ブック原稿をページ毎にコピーしたいとき。（☞ 32 ページ）
N イン 1：複数枚原稿（2、4 または 8 枚）を 1 枚の用紙に並べて縮小コピーしたいとき。（☞ 33 ページ）	ブックレット：複数枚原稿（4 枚単位）をブック形式で両面コピーしたいとき。（☞ 35 ページ）
原稿混載：サイズの異なる原稿（2種）をADFに一度にセットしコピーしたいとき。（☞ 36 ページ）	SADF：重ねて給紙しにくい薄い原稿を ADF から連続してコピーしたいとき。（☞ 37 ページ）

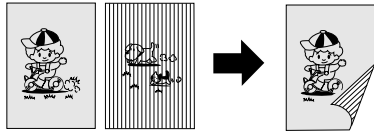
お 願 い

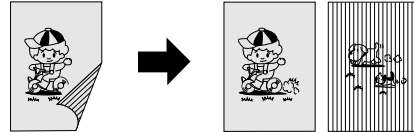
● 原稿の両面自動読取りは、両面 ADF を装着している場合に可能です。
● 自動両面コピーは、自動両面ユニットを装着している場合に可能です。

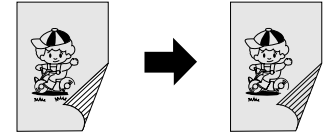
片面／両面モード

両面コピー／両面原稿を片面または両面でコピーしたいとき

■片面 ➡ 両面コピー

2 枚の片面原稿を 1 枚に両面でコピーしたいとき
（原稿台ガラス、ADF 使用時）

■両面 ➡ 片面コピー

両面原稿を片面でコピーしたいとき
（両面 ADF 使用時のみ）

■両面 ➡ 両面コピー

両面原稿を両面でコピーしたいとき
（両面 ADF 使用時のみ）

■操作手順

1
原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

(2)
コピーサイズ
（縮小・拡大時）

3
①片面／両面モードを選択する
②両面の機能を選択する
③原稿の方向を選択する
④出来上がりのとじ位置または、原稿のとじ位置を選択する
⑤「両面印刷ﾏｰｸ」の印字あり・なしを設定する（必要に応じ）
⑥「OK」を押す

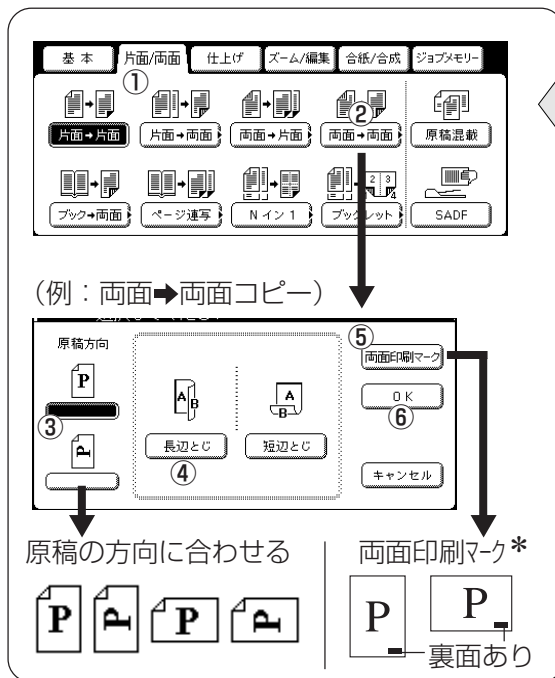
4
コピー部数

5
スタート

基 本　片面/両面　仕上げ　ズーム/編集　合紙/合成　ジョブメモリー
片面→片面　片面→両面　両面→片面　両面→両面　原稿混載
ブック→両面　ページ連写　N イン 1　ブックレット　SADF

（例：両面➡両面コピー）

原稿方向　長辺とじ　短辺とじ　両面印刷ﾏｰｸ　ＯＫ　キャンセル

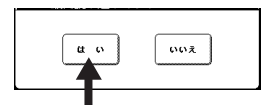
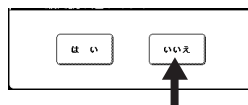
原稿の方向に合わせる

両面印刷ﾏｰｸ＊

裏面あり

原稿台ガラスからの片面 ➡ 両面コピー時のみ：
・ディスプレイのメッセージ指示にしたがい操作する。

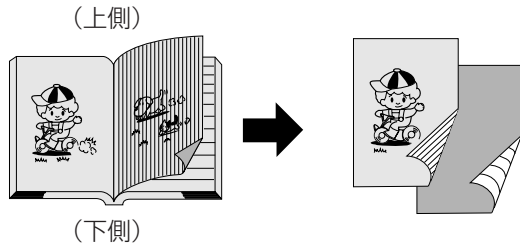
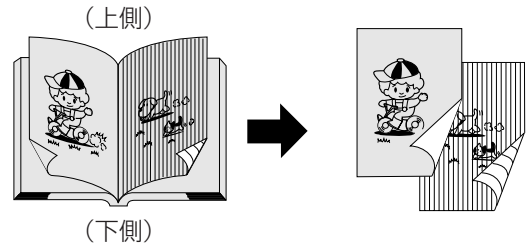
6
次の原稿があるなら「いいえ」を選択する

7
「継続中です...」が表示されたら次の原稿をセットしスタート

8
次の原稿がないなら「はい」を選択する

お知らせ

＊「両面印刷ﾏｰｸ」ボタンを押すとコピー右下に「裏面あり」と印字されます。
● 原稿の両面自動読取りは、両面 ADF を装着している場合に可能です。
● 自動両面コピーは、自動両面ユニットを装着している場合に可能です。

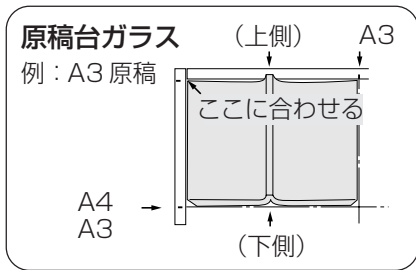
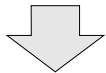
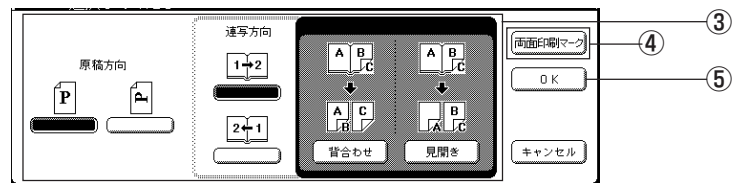
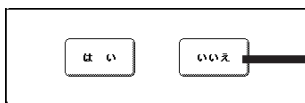
ブック原稿を両面コピーしたいとき

■ ブック➡両面コピー

〈背合わせ：ブックの左右ページを背合わせでコピーします〉

〈見開き：ブックの左右ページを見開きでコピーします〉

■ 操作手順

1 原稿をセット
・原稿台ガラス

(2) コピーサイズ（縮小・拡大時）

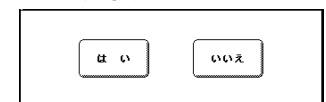
4
①片面／両面モードを選択する
②「ブック➡両面コピー」を選択する（☞ 29 ページ）
③コピー形態を指定する
④「両面印刷ﾏｰｸ」の印字あり・なしを設定する（必要に応じ）
⑤「OK」を押す

3 コピー部数

5 スタート

6 次の原稿（ページ）があるなら「いいえ」を選択する。または、次の原稿（ページ）がないなら「はい」を選択する

「いいえ」を選択時のみ

7 「継続中です...」が表示されたら他のページをめくり、セットしスタート

8 次の原稿（ページ）がないなら「はい」を選択する

お知らせ

＊「両面印刷ﾏｰｸ」ボタンを押すとコピー右下に「裏面あり」と印字されます。（☞ 30 ページ）

● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

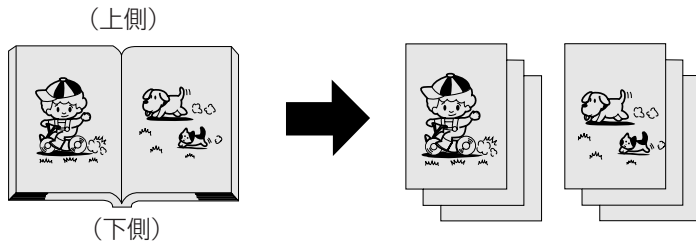
片面／両面モード

ブック原稿をページ毎にコピーしたいとき

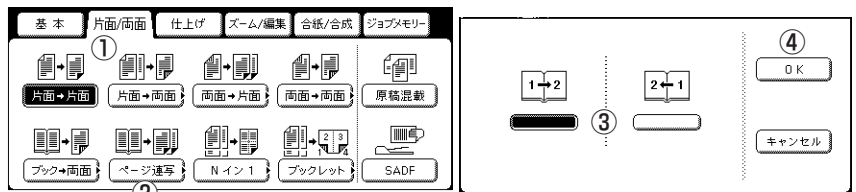
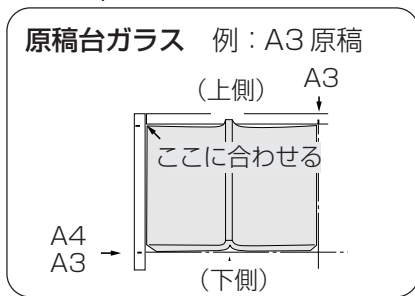
■ページ連写コピー

■操作手順

1
原稿をセット
・原稿台ガラス

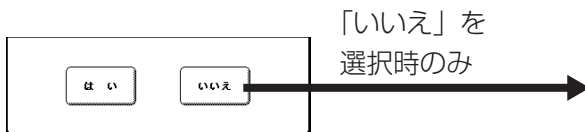
(2)
コピーサイズ
（縮小・拡大時）

4
①片面/両面モードを選択する
②「ページ連写」を選択する
③コピー形態を指定する
④「OK」を押す

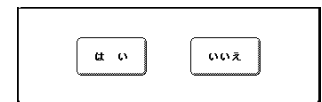
3
コピー部数

5
スタート

原稿台ガラス 例：A3 原稿

（上側） A3
ここに合わせる
A4
A3
（下側）

6 次の原稿（ページ）があるなら「いいえ」を選択するまたは、次の原稿（ページ）がないなら「はい」を選択する

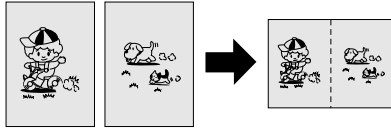
「いいえ」を選択時のみ

7 「継続中です...」が表示されたら他のページをめくり、セットしスタート

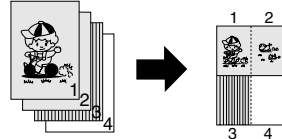
8 次の原稿（ページ）がないなら「はい」を選択する

お知らせ

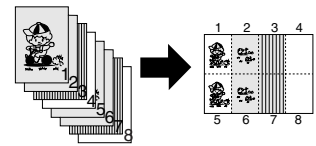
● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

複数枚の片面原稿を 1 枚の片面または両面にコピーしたいとき

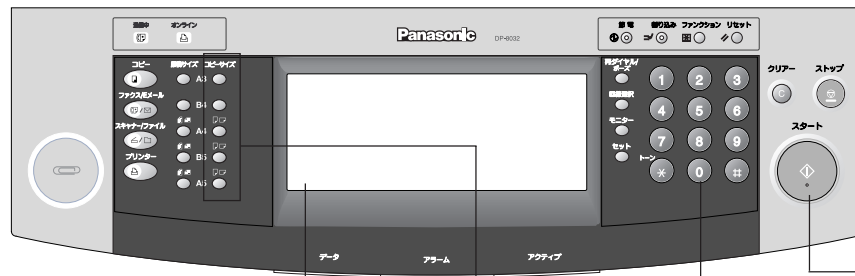
■2 イン 1 コピー

2 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき

■4 イン 1 コピー

4 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき

■8 イン 1 コピー

8 枚の片面原稿を 1 枚の片面にコピーしたいとき

■両面記録コピー

4/8/16 枚の片面原稿を 1 枚の両面にコピーしたいとき

■操作手順

1
原稿をセット
・原稿台ガラス
または ADF

2
①片面／両面モードを選択する
②「N イン 1」を選択し、
(☞29 ページ)
③-⑤ 機能を指定する
⑥「OK」を押す

(3)
①「基本」モードを選択し
② コピーサイズを設定＊
(コピーサイズを手動で変えたいとき)

● コピー縮小倍率は自動設定されます。
例：A4 から A4 サイズに
N イン 1 コピー時
2 イン 1 ：71 ％
4 イン 1 ：50 ％
8 イン 1 ：35 ％

4
コピー部数

5
スタート

原稿台ガラスから読み込みのときは：
☞30 ページの手順 6 ～ 8 を参照

③N イン 1 モードを選択する
④原稿方向を選択する
⑤コピーレイアウトを選択する
⑥「OK」を押す
N イン 1 を両面コピーで行うとき
出来上がりのとじ位置を選択する
選択すると「裏面あり」がコピー片面の右下に印字される。

お願い

＊ コピーサイズを変えるときは、コピーサイズキーでサイズを変更してください。(タッチパネルディスプレイ上の給紙カセット選択ボタンで、変更すると正しく N イン 1 コピーされません。)

片面／両面モード

複数枚の片面原稿を 1 枚の片面または両面にコピーしたいとき

■N イン 1 コピーイメージ一覧

原稿方向とＮイン１の各モード毎のレイアウト（コピーイメージ）は、下記のいずれかになります。

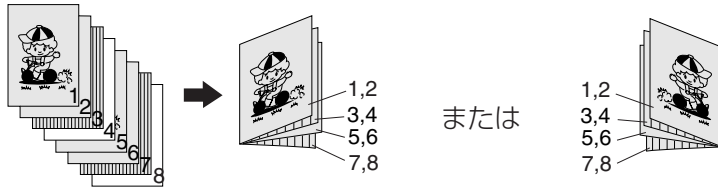
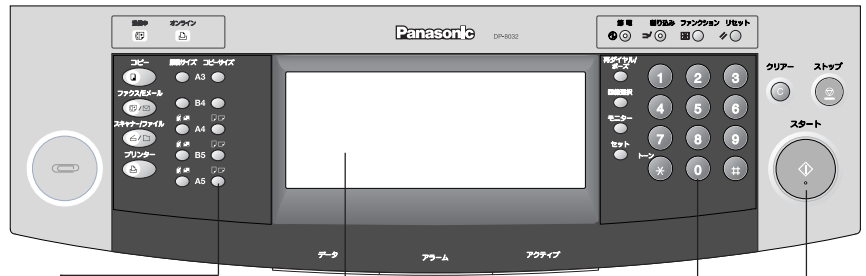
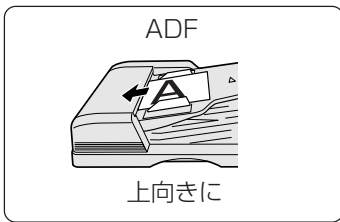
モード	原稿方向	レイアウト（コピーイメージ）
２イン１	1 2	1 2, 2 1
	1 2	1 / 2, 2 / 1
	1 2	
	1 2	1 2, 2 1
４イン１	1 2 3 4	1 2 / 3 4, 1 3 / 2 4, 2 1 / 4 3, 3 1 / 4 2
	1 2 3 4	1 2 / 3 4, 1 3 / 2 4, 2 1 / 4 3, 3 1 / 4 2
	1 2 3 4	
	1 2 3 4	1 2 / 3 4, 1 3 / 2 4, 2 1 / 4 3, 3 1 / 4 2
８イン１	1 2 ••• 8	1 2 3 4 / 5 6 7 8, 1 3 5 7 / 2 4 6 8, 4 3 2 1 / 8 7 6 5, 7 5 3 1 / 8 6 4 2
	1 2 ••• 8	1 2 / 3 4 / 5 6 / 7 8, 1 5 / 2 6 / 3 7 / 4 8, 2 1 / 4 3 / 6 5 / 8 7, 5 1 / 6 2 / 7 3 / 8 4
	1 2 ••• 8	
	1 2 ••• 8	1 2 3 4 / 5 6 7 8, 1 3 5 7 / 2 4 6 8, 4 3 2 1 / 8 7 6 5, 7 5 3 1 / 8 6 4 2

複数枚原稿（4 枚単位）をブック形式で両面コピーしたいとき

■ ブックレットコピー

■ 操作手順

ADF

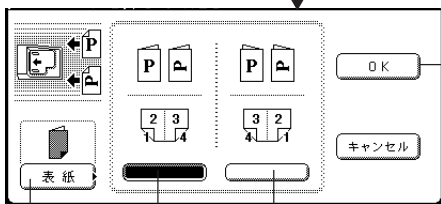
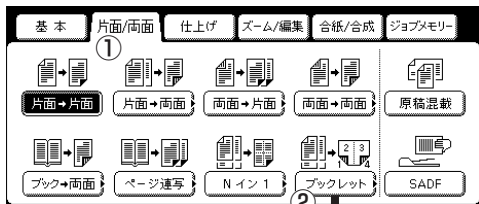
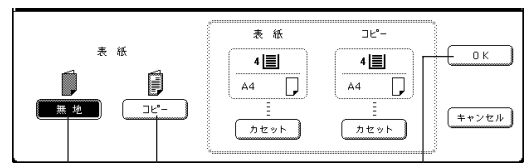
上向きに

1
原稿をセット
・ADF

(2)
コピーサイズ＊
（手動でコピーサイズを変更したいとき）

3
①片面 / 両面モードを選択する
②「ブックレット」を選択する
③-⑦ ブックレットコピーを設定する

4
コピー部数

5
スタート

④「表紙」を選択する
③ ページレイアウトを選択する
⑦「OK」を押す
⑤表紙のモードを選択する
⑥「OK」を押す

・「表紙」を選択しないときは、手順⑦へ進む。

お知らせ

＊ コピーの初期設定値は、100%（等倍）になる用紙が選ばれますが縮小を選択できます。（☞65 ページ）

- ブックレットコピー時の原稿は、A4、B5、A5 のみです。
- 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。
- 両面原稿からのブックレットコピーはできません。

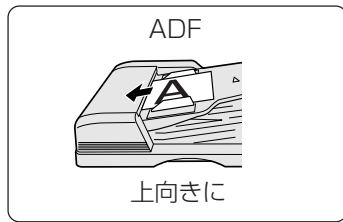
片面／両面モード

サイズの異なる原稿（2 種）を ADF に一度にセットしコピーしたいとき

■ 原稿混載

■ 操作手順

ADF

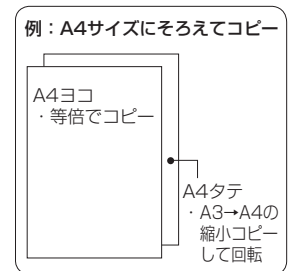
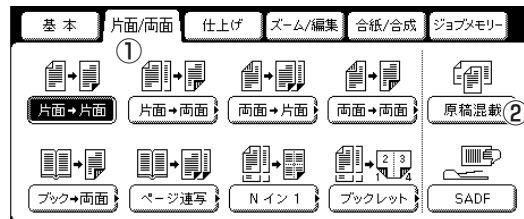
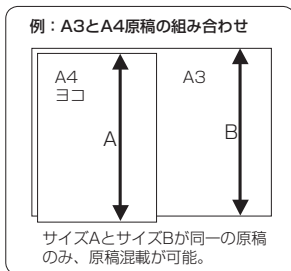
上向きに

1 原稿をセット
・ADF

(2) コピーサイズ
（縮小・拡大時）＊

＊ 異なった原稿サイズを同サイズでコピーしたいとき。

3 ①片面／両面モードを選択する
②「原稿混載」を選択する

4 コピー部数

5 スタート

(2) 下記の組み合わせの等倍および縮小／拡大コピーができます。
この組み合わせ以外はできません。

組み合わせ原稿	コピー組み合わせ	
	等倍コピー	等倍と縮小／拡大コピー
A3	A3	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□
A4	A4	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□
B4	B4	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□
B5	B5	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□
A4	A4	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□
A5	A5	A4/A4□、B5/B5□、A5/A5□

お知らせ

● 原稿混載機能は、片面／両面モードの各機能と組み合わせて使用はできません。
（☞ 62 ページ）

重ねて給紙しにくい薄い原稿を ADF から連続してコピーしたいとき

■ SADF モード

薄い原稿：50 ～ 60g/m² の薄紙など

■ 操作手順

最終原稿の読み込みが完了したら、「いいえ」を選択する。

＊ 5 秒を過ぎると上図と同様な確認メッセージ表示されます。

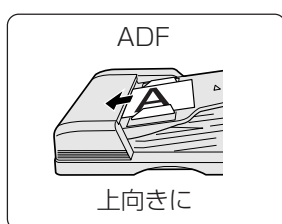
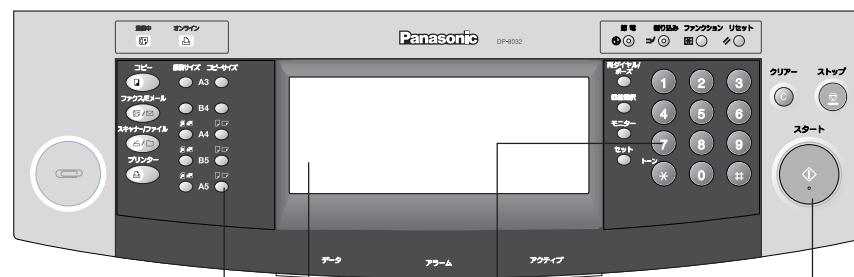
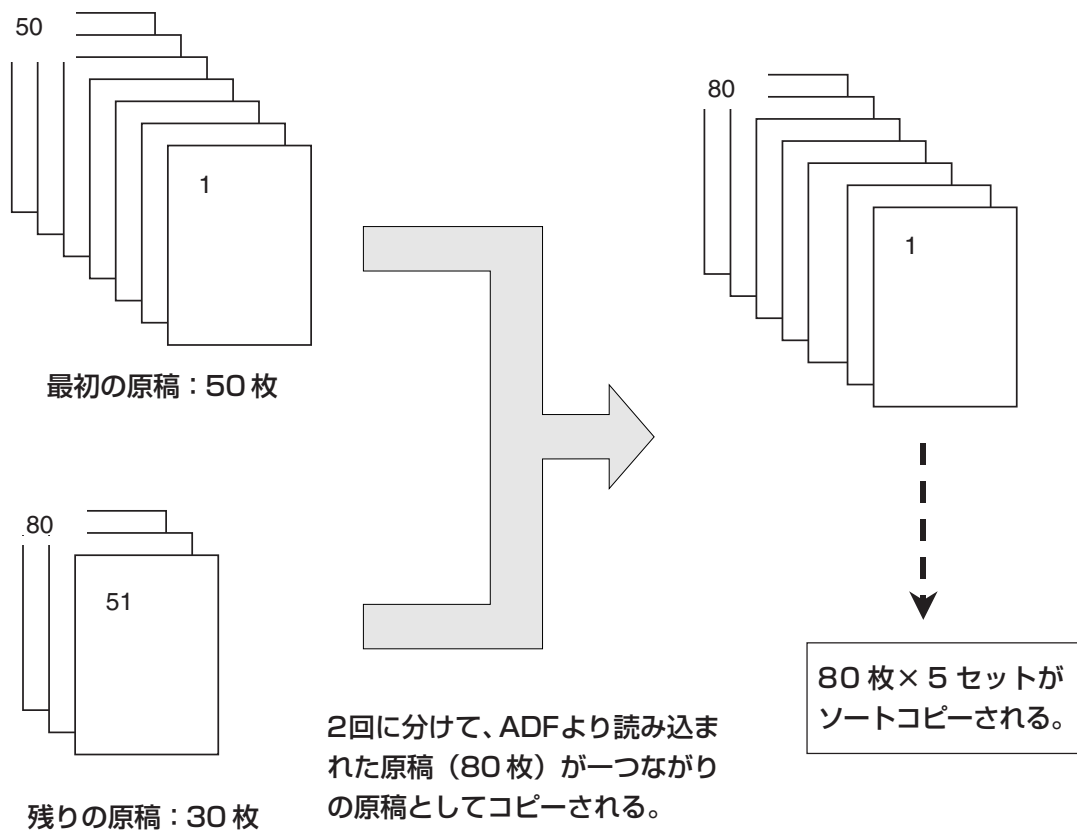
お知らせ

- SADF 機能は、両面 ➡片面、両面 ➡両面と組み合わせての使用はできません。
- タッチパネルディスプレイに「SADF」ボタンが表示されないときは、キーオペレーターにご相談のうえ、ファンクション設定モードの「SADF 機能」を “機能あり” にしてください。（☞ 76 ページ）

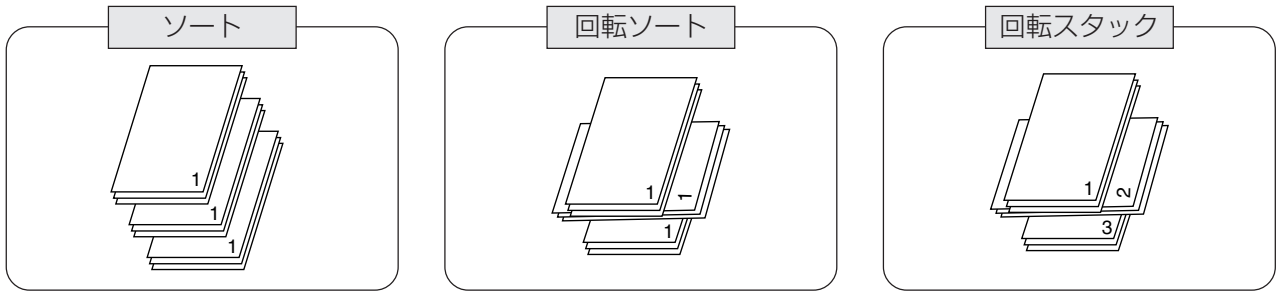
片面／両面モード

SADF モードの便利な使いかた

■ **SADF 機能を活用すると ADF の原稿給紙上限枚数（50 枚：75g/m²）以上の原稿も連続してコピーすることが可能です。**

例：80 枚の原稿を 5 セット、ソートコピーする。

①最初の原稿（50 枚）を ADF 原稿台にセットする。
②片面 / 両面モードを選択する。
③「SADF」を選択する。（☞ 37 ページ）
④仕上げモードを選択する。
⑤「ソート」を指定する。（☞ 39 ページ）
⑥コピー部数（例：5）をセットし、スタートキーを押す。
⑦最初の原稿（50 枚）の読み込みが終了したら、残りの原稿（30 枚）を ADF 原稿台にセットする。
⑧ 1 回目の原稿が給紙された後、次の原稿を 5 秒以内にセットする。
・5 秒を過ぎると次の原稿の確認メッセージ表示される。（☞ 37 ページ）
このときは、「はい」を押す。
⑨残りの原稿の読み込みが開始される。
⑩最終原稿の読み込みが完了したら、「いいえ」を押す。

仕上げモード

複数部のコピーを自動丁合い（電子ソート）させたいとき

■仕上げモード選択タブ
（オプションのフィニッシャー未装着時）

■操作手順

1 原稿をセット
・原稿台ガラス
または ADF

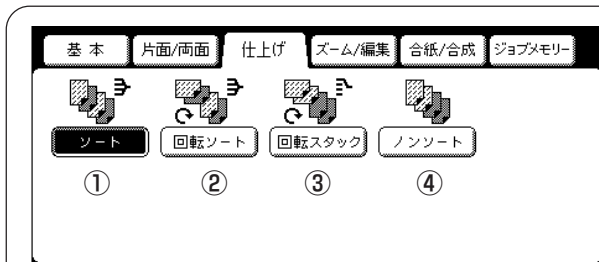
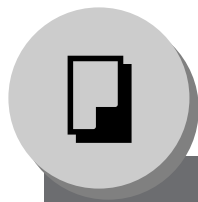
(2) コピーサイズ
・必要に応じ

3 仕上げモード
を選択する

4 仕上げモード機能
を選択する

5 コピー部数

6 スタート

原稿台ガラスから
読み込みのときは：
☞ 30 ページの手順 6 ～ 8 を参照。

① **ソート**
複数部のコピーが自動丁合いされる。

② **回転ソート＊**
複数部のコピーが自動丁合いされ、丁合毎に90度回転してトレイに収納される。

③ **回転スタック＊**
複数部のコピーが原稿毎に90度回転してトレイに収納される。

④ **ノンソート**
コピーをそのままトレイに収納する。

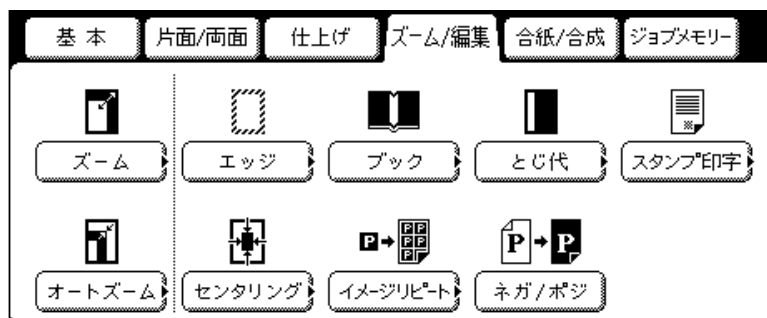
お知らせ

＊ 回転ソートと回転スタックは、A4/B5/A5 サイズのみです。また、タテ・ヨコ両方の用紙がセットされている必要があります。

● オプション装着時の仕上げモードは（ ☞ 103 ページ）を参照ください。

ズーム／編集モード

ズーム／編集モード選択タブ

■ 初期画面

● ボタンを押して希望する機能を選びます。

ボタン	説明	ボタン	説明
ズーム	任意の倍率で縮小･拡大コピーしたいとき。 ・ 最小25%から最大400%まで1%きざみで倍率設定が可能。 （☞ 41 ページ）	オートズーム	用紙サイズに合わせて自動変倍でコピーしたいとき。 （☞ 42 ページ）
エッジ	周囲の汚れをとるための余白を付けたいとき。 （☞ 43 ページ）	ブック	コピー中央部の影を白く抜きたいとき。 （☞ 43 ページ）
とじ代	上下左右の端にパンチ穴などの余白を付けたいとき。 （☞ 43 ページ）	スタンプ印字	コピーにページ番号や日付、管理番号を印字したいとき。 （☞ 44-46 ページ）
センタリング	用紙の中央に等倍でコピーしたいとき。 （☞ 47 ページ）	イメージリピート	一つのイメージを並べて 1 枚の用紙にコピーしたいとき。 （☞ 47 ページ）
ネガ／ポジ	ネガ／ポジ反転でコピーしたいとき。 （☞ 47 ページ）		

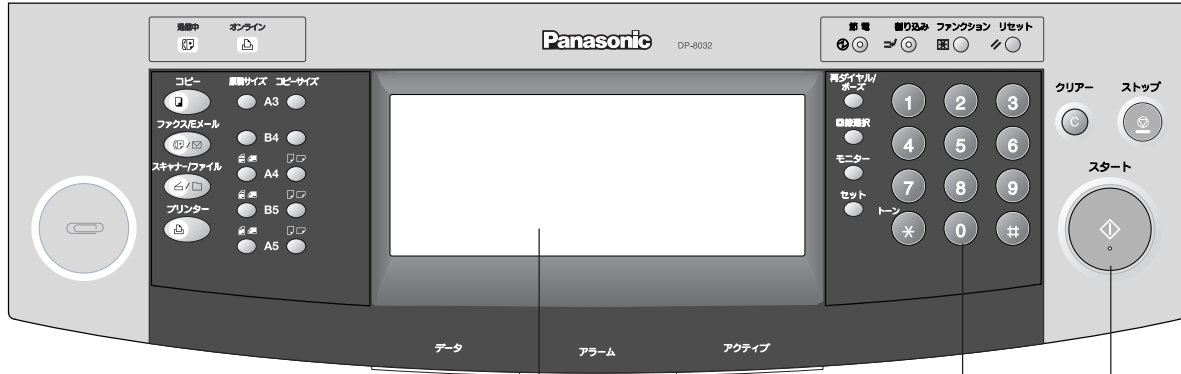
お知らせ

● ズーム／編集モードと他のモードの組み合わせについては、（☞ 62ページ）を参照ください。

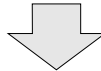
● ズーム／編集モードを解除するときは、リセットキーを押します。

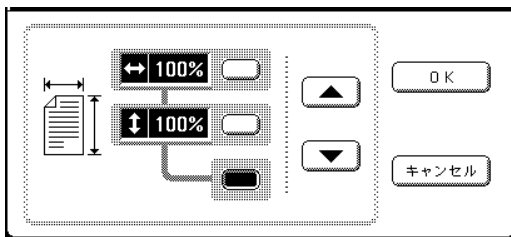
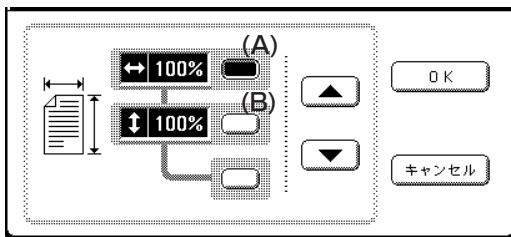
任意の倍率で縮小・拡大コピーしたいとき

■ズームコピー

・最小 25% から最大 400% まで 1% きざみで倍率設定が可能です。

1 原稿をセット
・原稿台ガラス
または ADF

2 ズーム／編集モード
のズームを選択する
（☞ 40 ページ）

3 ズーム倍率を
設定する

4 コピー部数

5 スタート

〈用紙の長さと幅方向の倍率を同率で設定するとき〉
一番下の ボタンが選択（自動反転）されていることを確認してから、コピー倍率を▲・▼ボタンまたはテンキーで設定し、「OK」を押す。

〈用紙の長さと幅方向のコピー倍率を個々に設定するとき〉
長さ（A)ボタンまたは、幅（B）ボタンを押して▲・▼ボタンまたは、テンキーで倍率を設定し、「OK」を押す。

お願い
● ズーム倍率設定後、用紙サイズを変えるときは「給紙カセット選択」ボタンで変更してください。
コピーサイズキーで用紙を選択すると設定された倍率が変わってしまいます。

お知らせ
● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。
● テンキーでズーム倍率を入力するときには、はじめにクリアーキーを押してズーム倍率を一旦 100% にリセットしてください。

ズーム／編集モード

用紙サイズに合わせて自動変倍でコピーしたいとき

■オートズームコピー

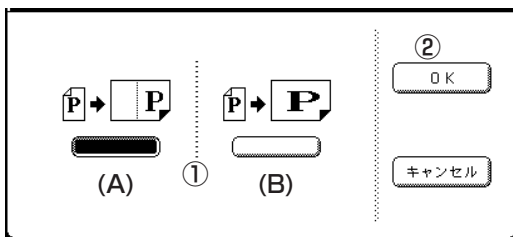
コピーする用紙に合わせてコピー倍率が自動的に設定されます。
オートズームでは、ADF／原稿台カバーを開けた状態でコピーします。

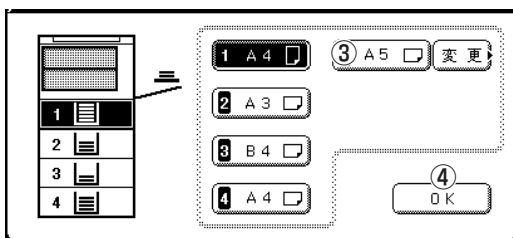
1 原稿をセット
・原稿台ガラス

2 ズーム／編集モードのオートズームを選択する（☞ 40ページ）

3 オートズームのモードと用紙を選択する

4 コピー部数

5 スタート

①用紙の高さか幅(A)または、用紙の高さと幅(B)に合わせるかを選ぶ。
・用紙の高さか幅(A)を選択したとき：
高さまたは、幅のいずれかに合うコピー倍率のうち、小さいコピー倍率が設定されます。
・用紙の高さと幅(B)を選択したとき：
用紙の高さ方向と幅方向で個別に、用紙のサイズに合わせてコピー倍率が設定されます。

②「OK」を押す。

③用紙を選ぶ。

④「OK」を押す。

お知らせ

● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。
● オートズームモードは、スカイショットモード機能（☞ 60ページ）を併用しコピーします。原稿台ガラスの上または周囲の光の影響を受けると、原稿画像を誤検知することがありますのでご注意ください。また、原稿に黒い外縁があると黒い部分が正しくコピーされない（白く抜ける）ことがあります。

コピーの周囲／中央／端に余白を付けたいとき

■エッジ／ブック／とじ代

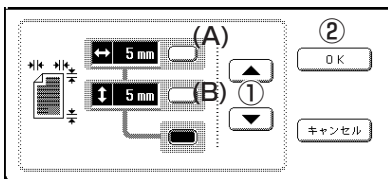
1
原稿をセット
・原稿台ガラス
　または ADF

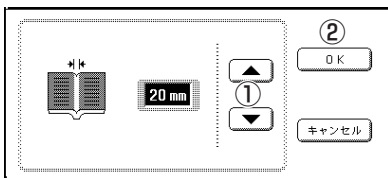
2
ズーム／編集モード
を選択する
（☞ 40 ページ）

3
エッジ、ブック
またはとじ代を選択する
（☞ 40 ページ）

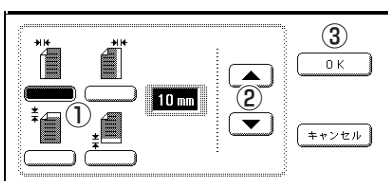
4
コピー部数

5
スタート

エッジ

①白抜き幅を設定する。
・周囲の白抜き幅を同じにするときは、
▲・▼ボタンまたは、テンキーで調整し､「OK」を押す。
・周囲の白抜き幅を前後、左右で個別に設定するときは、
前後(A)、左右(B)それぞれの選択ボタンを押し、
▲・▼ボタンまたは、テンキーで白抜き幅を個別に設定する。
②「OK」を押す。
＊初期設定値：5mm

ブック

①▲・▼ボタンまたは、テンキーで中央の白抜き幅を設定する。

②「OK」を押す。
＊初期設定値：　20 mm

とじ代

①とじ代の位置を選ぶ。

②▲・▼ボタンまたは、テンキーで白抜き幅を設定する。
設定された白抜き幅分だけ画像が左右上下にシフトする。＊＊

③「OK」を押す。
＊初期設定値：　10 mm

お知らせ

＊ 初期設定値は、ファンクション設定モード機能により変えることができます。
（☞ 65 ページ）

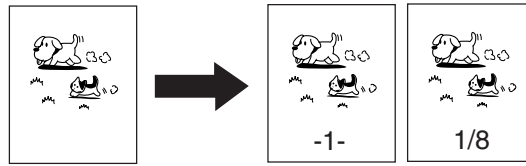
＊＊ 画像が欠けるときは、ファンクション設定モードでとじ代縮小「あり」に設定（☞ 65 ページ）するか、ズームコピーで縮小コピーしてください。

● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

ズーム／編集モード

コピーにページ番号を印字したいとき

■スタンプ印字（ページ付け）

1
原稿をセット
・ADF のみ*

2
ズーム／編集モードのスタンプ印字を選択する（ ☞ 40 ページ）

3
「ページ付け」を設定する

4
コピー部数

5
スタート
・ソートモードでコピーされます。

①「ページ付け」を選択する。
②原稿方向を選択する。
③ページ番号の印字位置を選択する。
④印字を開始するページを選択する。
・1 、2 、または、3 枚目から開始できます。
⑤「OK」を押す。

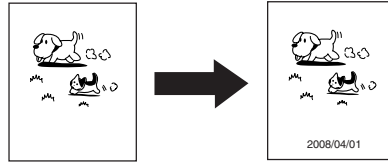
お知らせ

＊ N イン 1 機能と同時に使用したときは、原稿台ガラスからのコピーが可能です。

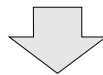
● ページ印字形式は、2 種類あります。(-n-、n/m) ファンクション設定モードで選択できます。（ ☞ 66 ページ）
「n/m」設定時は、すべての原稿を読み込むまで、コピー出力（印刷）を開始しません。

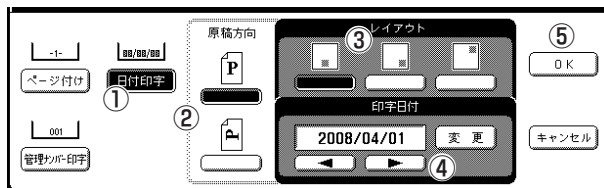
● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

コピーに日付を印字したいとき

■スタンプ印字（日付印字）

1 原稿をセット
・ADF のみ

2 ズーム／編集モードのスタンプ印字を選択する
（☞ 40 ページ）

3 「日付印字」を設定する

4 コピー部数

5 スタート
・ソートモードでコピーされます。

①「日付印字」を選択する。
②原稿方向を選択する。
③日付の印字位置を選択する。
④必要に応じ、印字する日付を設定する。
「変更」を押し、テンキーと◄ ► で入力する。
⑤「OK」を押す。

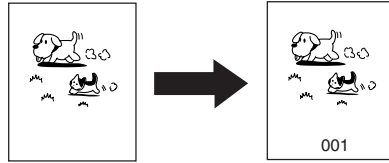
お知らせ

● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

ズーム／編集モード

コピーに管理番号を印字したいとき

■スタンプ印字（管理ナンバー印字）

1
原稿をセット
・ADF のみ

2
ズーム／編集モードのスタンプ印字を選択する
（☞ 40 ページ）

3
「管理ナンバー印字」を設定する

4
コピー部数

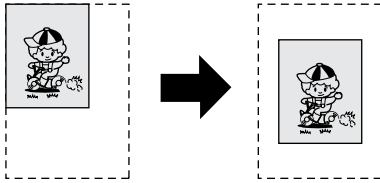
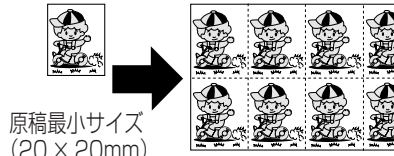
5
スタート
・ソートモードでコピーされます。

①「管理ﾅﾝﾊﾞｰ印字」を選択する。
②原稿方向を選択する。
③管理番号のレイアウトを選択する。
④管理番号*
管理番号の開始番号を「▲・▼」ボタンまたは、テンキーで設定する。
⑤「OK」を押す。

＊ 複数部コピー時は、指定した番号より連番で最大999まで印字されます。「999」の次は「001」に戻ります。

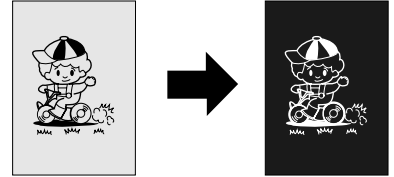
お知らせ
● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

用紙の中央／一つのイメージを並べて／ネガ・ポジ反転でコピーしたいとき

■センタリング
用紙の中央にコピーしたいとき

■イメージリピート
一つのイメージを並べて 1 枚の用紙にコピーしたいとき

原稿最小サイズ
(20 × 20mm)

ミシン目

● ミシン目の有無は、ファンクション設定で選択可能。（☞66ページ）

■ネガ／ポジ
ネガ／ポジ反転でコピーしたいとき

■操作手順

1 原稿をセット＊
・原稿台ガラス
（ネガ・ポジは ADF からも可）

2 ズーム／編集モードを選択する

3 センタリング、イメージリピートまたはネガ / ポジを選択する

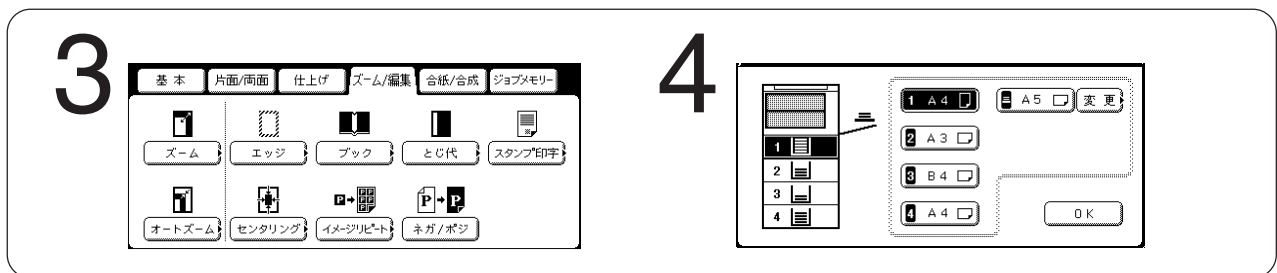
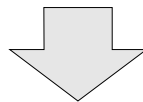
4 給紙カセットを選択し「OK」を押す（センタリング、イメージリピートのみ）

5 コピー部数

6 スタート

＊ センタリング、イメージリピート時は原稿を原稿台ガラスにセットし、原稿押さえ／ADF を開けたままでコピーします。

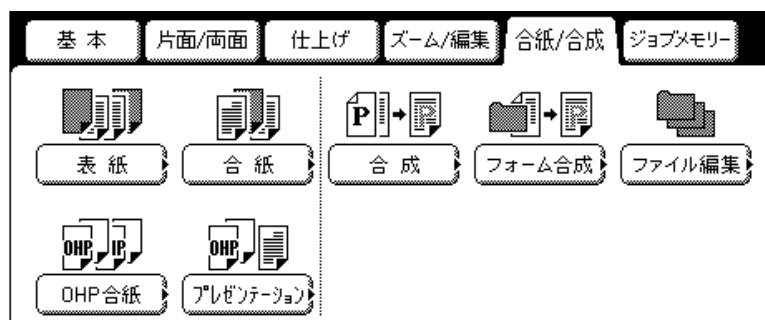
3

4

お 願 い

● センタリング、イメージリピートモードを選択する前に ADF の原稿を取り除いてください。
● センタリング、イメージリピートモードは、原稿台ガラスの上に周囲の光の影響を受けると、原稿画像を誤検知することがありますのでご注意ください。また、原稿に黒い外縁があると黒い部分が正しくコピーされない（白く抜ける）ことがあります。

合紙／合成モード

合紙／合成モード選択タブ

■ 初期画面

● ボタンを押して希望する機能を選びます。

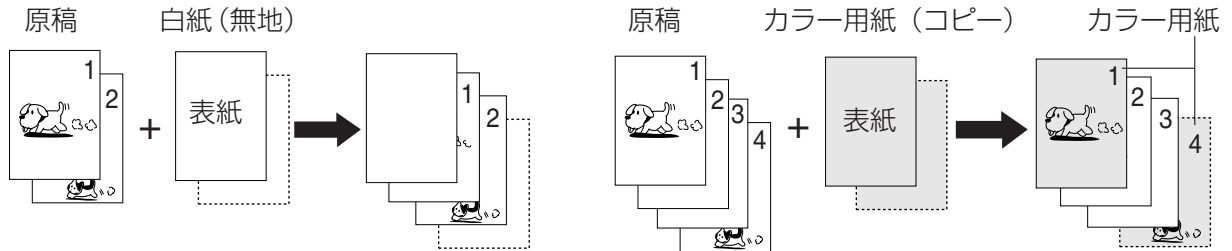
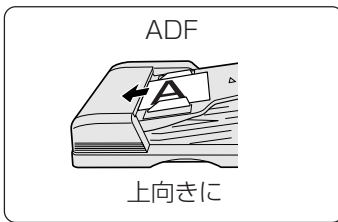
	コピーに表紙を付けたいとき。 （ ☞ 49 ページ）		コピーの間に色紙などの合紙を挿入したいとき。（無地またはカラーペーパーなどを仕切りや中トビラなどとして挿入） （ ☞ 50 ページ）
	コピーされたOHPフィルムの間に合紙を挿入したいとき。 （ ☞ 51 ページ）		OHP フィルムと別に普通紙に同時コピーしたいとき。 （ ☞ 52 ページ）
	1ページ目の原稿を2枚目以降の原稿に重ねてコピーしたいとき。 （ ☞ 53 ページ）		登録されたイメージを重ねてコピーしたいとき。 （ ☞ 55 ページ）
	合成コピーするためのイメージを登録／タイトルの編集／削除をしたいとき。 （ ☞ 54 ページ）		

お知らせ

● 合紙／合成モードを解除するときは、リセットキーを押します。

コピーに表紙（裏表紙）を付けたいとき

■表紙

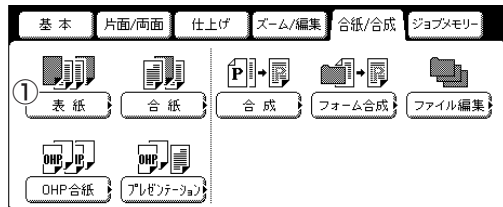
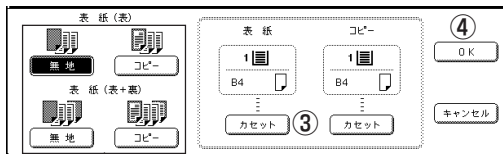
（無地またはコピーで）

■操作手順

1 原稿をセット
・ADFのみ

2 合紙／合成モード
を選択する

3 表紙機能を設定する

4 コピー部数

5 スタート

3

①「表紙」を選択する。

②表紙（表）または表紙（表＋裏）の
　無地またはコピーを選択する。
③必要に応じて、給紙カセットを選択する。
④「OK」を押す。

お知らせ

● 用紙のサイズ・方向は、「表紙」と「コピー」で同じになります。

合紙／合成モード

コピーの間に色紙などの合紙を挿入したいとき

■合紙

（無地、カラーペーパー、コピーなどで）

■操作手順

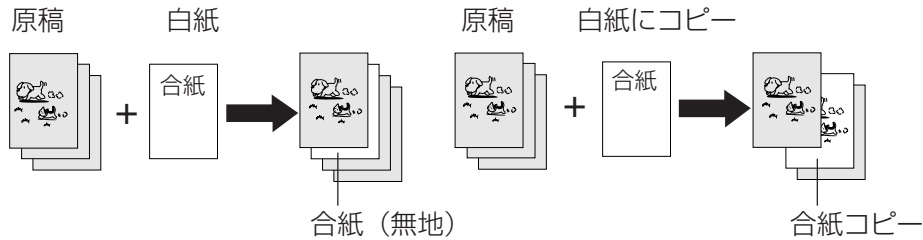
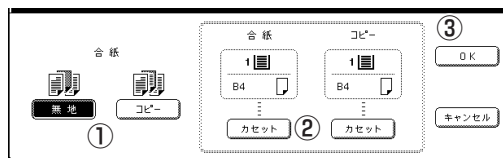
1 原稿をセット
・ADF のみ

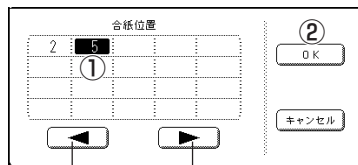
2 合紙／合成モードを選択する
（ ☞ 48 ページ）

3 合紙機能を設定する

4 合紙を入れる位置を指定する

5 コピー部数

6 スタート

3

①無地／コピーを選択する。
②必要に応じて、給紙カセットを選択する。
③「OK」を押す。

4

合紙位置
2 5
OK
キャンセル
カーソルボタン

①合紙を入れる位置をテンキーで入力する（最大 20 カ所）
- 無地を挿入するときの合紙位置は、指定した原稿のページ番号の 1 つ前となります。
- 複数個所に合紙を挿入するときは、カーソルボタンで入力位置をずらして位置を指定します。

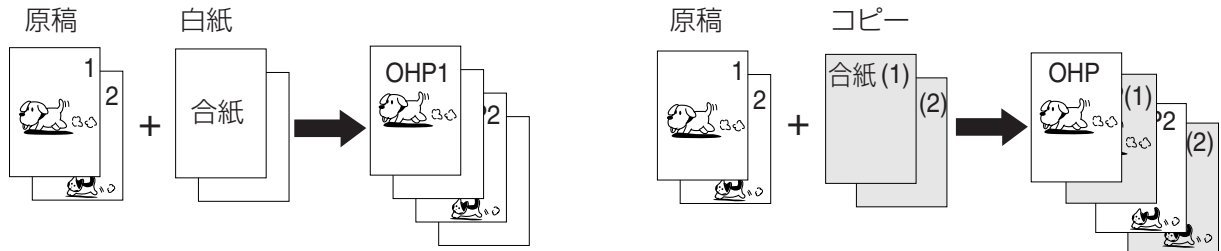
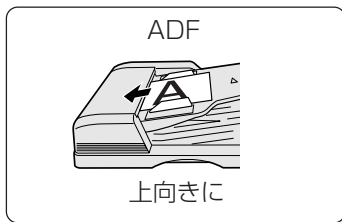
②「OK」を押す。

お知らせ

- 用紙のサイズ・方向は、「合紙」と「コピー」で同じになります。

コピーされたOHPフィルムの間に合紙を挿入したいとき

■ OHP 合紙

（無地またはコピー）

■ 操作手順

1 OHP をセット（手差しトレイへ）（ ☞ 23 ページ）

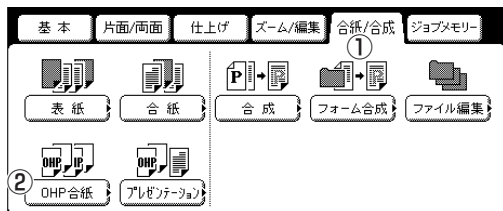
2 原稿をセット・ADF のみ

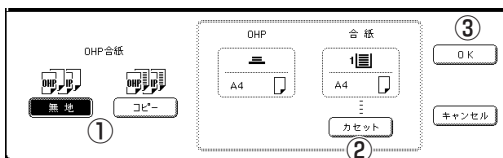
3 ① 合紙／合成モードを選択する
② 「OHP 合紙」を選択する

4 OHP 合紙機能を設定する

5 コピー部数

6 スタート

3

①合紙／合成モードを選択する。
②「OHP 合紙」を選択する。

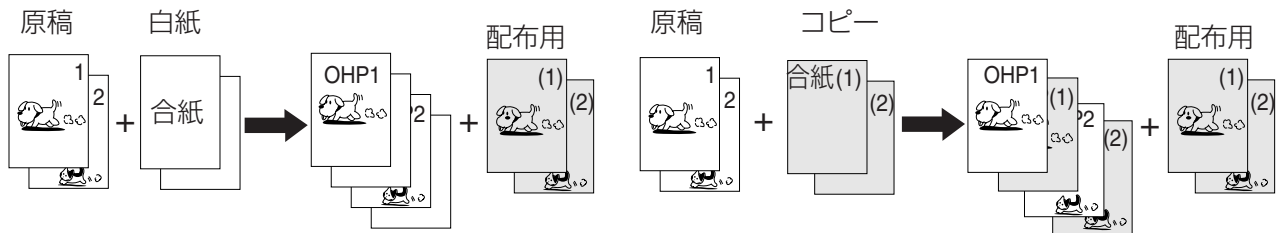
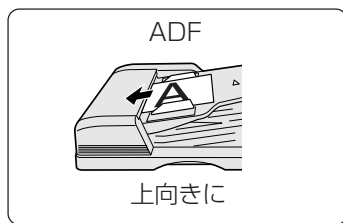
4

①無地／コピーを選択する。
②必要に応じて、給紙カセットを選択する。
③「OK」を押す。

お知らせ

- OHP フィルムは、手差しトレイ以外にセットできません。
- OHP フィルムは「3MPP2500 」／住友スリーエム社製を推奨します。
- 用紙のサイズ・方向は、「合紙」と「コピー」で同じになります。

合紙／合成モード

OHP フィルムと別に普通紙で同時コピーしたいとき

■ プレゼンテーション

■ 操作手順

1 OHP をセット（手差しトレイへ）（ ☞ 23 ページ）

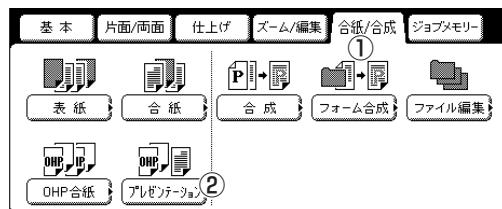
2 原稿をセット・ADF のみ

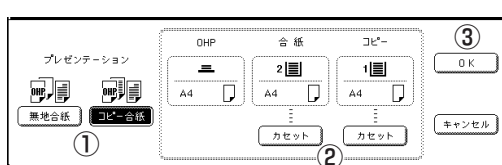
3 ① 合紙／合成モードを選択する ②「プレゼンテーション」を選択する

4 プレゼンテーション機能を設定する

5 コピー部数（配布用）

6 スタート

3

①合紙／合成モードを選択する。
②「プレゼンテーション」を選択する。

4

①無地合紙／コピー合紙を選択する。
②必要に応じて、給紙カセットを選択する。
③「OK」を押す。

お知らせ

- OHP フィルムは、手差しトレイ以外にセットできません。
- OHP フィルムは「3MPP2500 」／住友スリーエム社製を推奨します。
- 用紙のサイズ・方向は、「合紙」と「コピー」で同じになります。

1 枚目の原稿を 2 枚目以降の原稿に重ねてコピーしたいとき

お知らせ

- 合成用に保存されたイメージは、スタンバイスイッチ（本機左側面）や電源スイッチ（本機背面）を切ると消去されてしまいます。（オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）を未装着時）
- 合成用のイメージとして処理および保存できるのは、A4 サイズのみです。
- 新しいイメージは、保存されているイメージに上書き保存されます。
- 保存されているイメージは、ファイル編集モードで消去することができます。（☞ 54 ページ）
- 1 枚目の原稿（合成元）には、コピー機能（N イン 1、ズーム他）を設定しても反映されないものがあります。（☞ 62 ページ）
- 合成用イメージが保存されているときは、節電の設定を「シャットダウン」にしてもシャットダウン状態に移行しません。

合紙／合成モード

合成コピーするためのイメージを登録／タイトル編集／消去したいとき

■ファイル編集

登　録	消　去	タイトル編集
新しいイメージの追加	保存したイメージの削除	イメージタイトルの変更

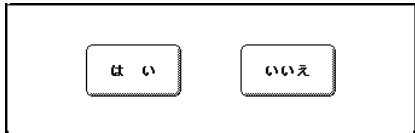
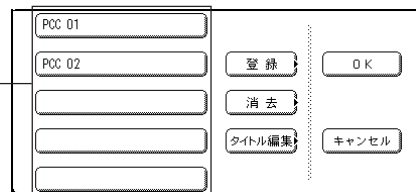
■操作手順

1 原稿をセット（登録時のみ）

2 合紙／合成モードを選ぶ（ 48ページ）

3 ファイル編集モードとそれぞれの機能を選ぶ

(4) スタート（登録時のみ）

3（ハードディスク未装着時の画面例）
・消去確認の画面のみ表示

（ハードディスク装着時の画面例）

イメージタイトルボタン

登　録＊

①イメージタイトルボタン（5個の内、1つ）を選択し、「登録」を押す。
②登録する原稿濃度を「うすく」・「こく」ボタン調整し、「OK」を押す。
③スタートキーを押す。
中止のときは、「キャンセル」を押す。
④「はい」を選択する。
⑤イメージタイトルを入力する。

消　去＊

①イメージを選択する。
②「消去」を押す。
③「はい」を押す。

タイトル編集＊

①イメージを選択する。
②「タイトル編集」を押す。
③イメージタイトルを変更入力する。
新しいタイトルを入力する。＊＊
④「OK」を押す。

＊＊ **イメージタイトルの入力・変更入力のしかた**
文字入力のしかた〈英字入力用画面〉を参照し、入力してください。（94, 95ページ）

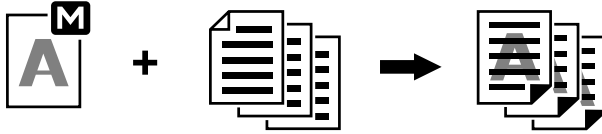
＊ 登録保存やタイトル編集できるイメージは、最大5個までです。（オプションのハードディスクユニットおよびイメージメモリー装着時のみ有効）
選択されたイメージタイトルボタンに既にイメージが登録されていたときは、新しく登録したイメージが上書きされます。

お知らせ

● 保存されたイメージを選択できるのは、オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）とメモリーボード（DA-SM16B/SM64B/SM28B）を装着しているときのみです。

登録されたイメージを重ねてコピーしたいとき

■フォーム合成

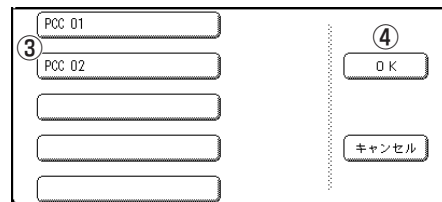
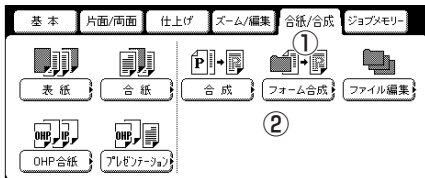
保存イメージ

■操作手順

1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは
ADF（A4/A4R のみ）

2 フォーム合成を設定する

3 コピー部数

4 スタート

2
①「合紙／合成」を選択する。
②「フォーム合成」を選択する。
③合成したいイメージを選択する。
④「OK」を押す。

5 **原稿台ガラスからコピー時のみ：**
① 次の原稿があるなら「はい」を選択する。
② 「継続中です...」が表示されたら次の原稿をセットしスタート
③ 次の原稿がないなら「いいえ」を選択する。

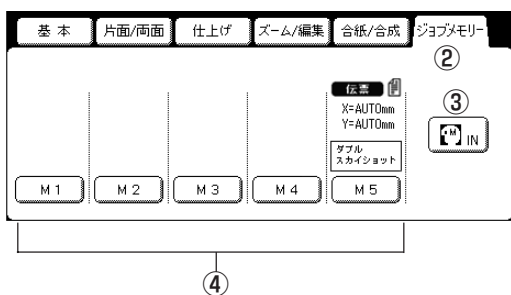
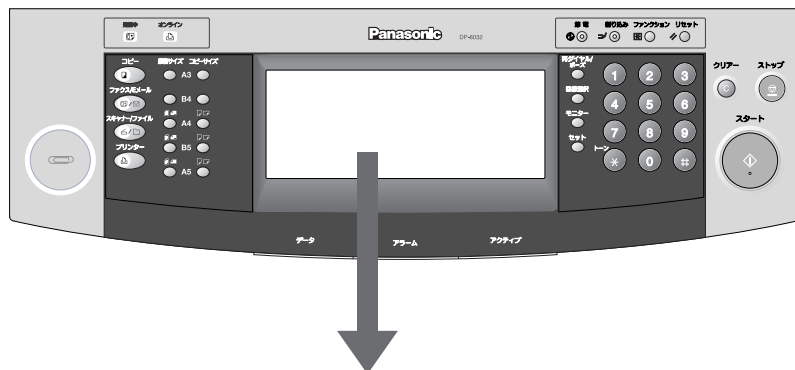
お知らせ

● 保存されたイメージを選択できるのは、オプションのハードディスクユニット(DA-HD31)とメモリーボード(DA-SM16B/SM64B/SM28B)を装着しているときのみです。ハードディスクの装着がないときは、1 イメージのみで一覧表示はされません。
● イメージが前もって保存されていないときは、フォーム合成を選べません。
● 合成用のイメージには、コピー機能（Nイン1、ズーム他）で反映されないものがあります。（☞ 62 ページ）

ジョブメモリーモード

■設定したコピーモードを本体に記憶させたいとき（最大５種類）

使用頻度の高い複雑なコピーモードを記憶させておくと便利です。

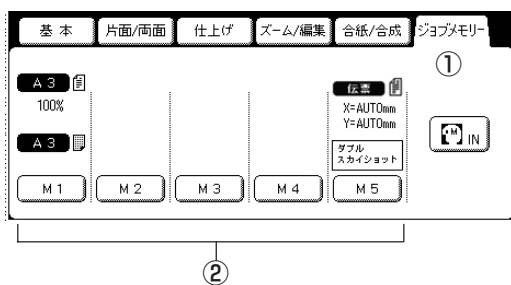
■操作手順

ジョブの記憶のさせかた

① 記憶させるコピーモードを設定する。

②「ジョブメモリー」タブを選択する。

③「メモリー入力」を押す。（ ）

④「M1」、「M2」、「M3」、「M4」または「M5」を選択する。

・ 登録したコピージョブが上記ボタンの上側に表示されます。

記憶ジョブを呼び出しコピーする

①「ジョブメモリー」タブを選択する。

②「M1」、「M2」、「M3」、「M4」または「M5」を選択する。

③ 原稿（例：A3）をセットする。

④ スタートキーを押す。

お知らせ

● 記憶させたコピーモードは、スタンバイスイッチ（本機左側面）を切っても保存されます。

● 新たにモードを設定すると、新しいモードが前のモードに上書きされ、記憶されます。

●「M1」および「M2」は、ファンクション設定モードのコピー機能「No.09 伝票ﾓｰﾄﾞ切り替え」を「M1, On または、 M2, On 、 M1, M2, On」（☞65ページ）としているときは、別ジョブの記憶はできません。

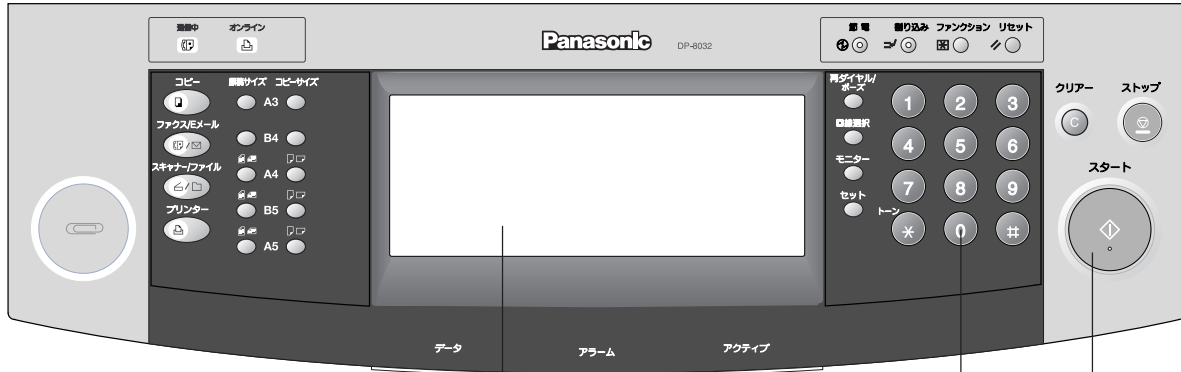
●「M5」は、ファンクション設定モードのコピー機能「No.16 ﾀﾞﾌﾞﾙｽｶｲｼｮｯﾄ」で「あり」（☞66ページ）としているときは、別ジョブの記憶はできません。

さらに便利な機能

コピー印刷中に次のコピー原稿を読み込ませたいとき

■ コンカレントコピー

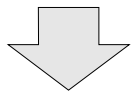
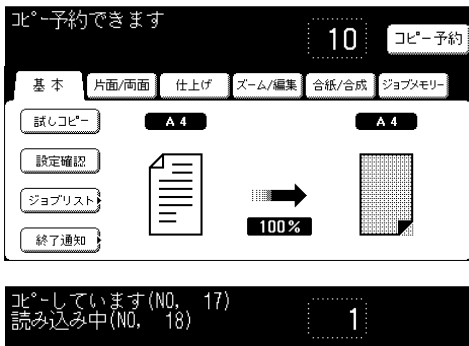
コピースタートし、原稿の読み込みが完了した時点で、次のコピーが予約できます。
本機能をご使用になるときは、オプションのハードディスクユニット（DA-HD31)とメモリーボード（DA-SM16B/SM64B/SM28B）が必要です。

■操作手順

1 原稿をセット
・原稿台ガラス
　または ADF

2 コピー機能を設定する
（☞ 22～61 ページ）

3 コピー部数

4 スタート

5 次のコピー予約

5 次のコピー予約

①原稿台ガラス時：
「コピー予約」を押し、次の原稿をセットする。

ADF 時：
次の原稿をセットする。

②コピー機能をセットし、スタートキーを押す。
・次のコピー原稿の読み込みが開始されます。

お知らせ

- コピー待ちのジョブリストは、ジョブリスト機能にて確認できます。
（☞ 27 ページ）
- コピーの終了通知を終了通知機能にて、ご自分のパソコンで確認できます。
（☞ 28 ページ）

さらに便利な機能

本機の節電機能を設定／コピー中に割り込んで他のコピーをしたいとき

節電キー　割り込みキー

■節電

節電

■コピー機を長時間使用しないときに、消費電力を節約できる機能です。

低電力モード

コピー後 7 分経過すると自動的に低電力モードとなります。

①キー操作による低電力モードへの入りかた
　節電キーを押す。
　キーのランプが点滅します。

②低電力モードの解除のしかた
　コントロールパネルのキーを押す。または、ADF へ原稿をセットする。

スリープ／シャットダウンモード＊

①コピー後 15 分経過すると自動的にスリープ／シャットダウンモードとなります。
　キーのランプが点灯します。

②解除するときは、節電キーを押す。または、ADF へ原稿をセットする。

■割り込みモード

割り込み

●コピー中に、割り込んで他のコピーをしたいとき

①割り込みキーを押す。
　キーのランプが点滅します。

②キーのランプが点灯に変わったら、割り込みのコピーが可能です。

③割り込みキーを再度押す。
　もとのコピー状態に戻り、スタートキーを押すとコピーが再開します。

お知らせ

● 低電力モード、スリープ／シャットダウンモードに自動移行する時間は、変更することができます。キーオペレーターにご相談ください。（☞ 71 ページ）

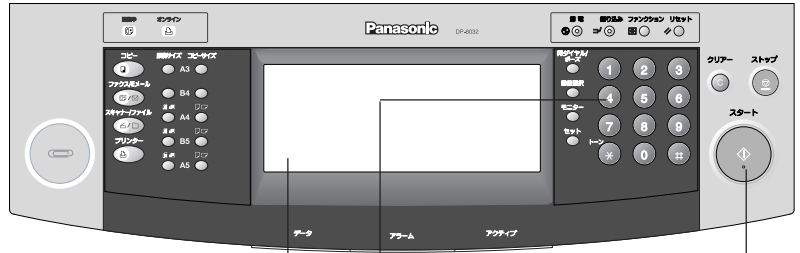
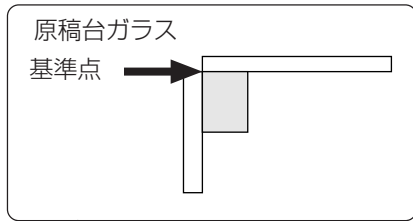
● スリープモードとシャットダウンモードは、どちらかを切り替えて使用します。
　キーオペレーターにご相談ください。（☞ 71 ページ）

モード	消費電力＊＊		レディまでの復帰時間
	P モデル	V/VA モデル	
通常待機時	約 130 W	約 135 W	0 秒
低電力モード時	約 28 W	約 33 W	約 30 秒（20℃）
スリープモード時	約 18 W	約 18 W	35 秒以内（20℃）
シャットダウンモード時	約 3 W	約 3.5 W	35 秒以内（20℃）

＊ ウィークリータイマー機能でスリープ／シャットダウン解除時刻と開始時刻が設定されているとき、その時間帯内では、低電力モードへの移行のみです。スリープ／シャットダウンモードになりません。

＊＊ 上記消費電力は、ヒータースイッチ「オフ」時です。ヒータースイッチ「オン」時は、それぞれにプラス 12W されます。

両面原稿（A5 サイズ以下）を片面ずつ読み取り、片面 1 枚に並べてコピーしたいとき

■ダブルスカイショットモード

2

ダブルスカイショットモードを選択する

①「ジョブメモリー」タブを選択する。

②「M5」を選択する。

5

「いいえ」を選択する

8

「はい」を選択する

- 次の両面原稿を続けてコピーしたいときは、「はい」を選択し、手順1と5〜7を繰り返す。

お知らせ

原稿台カバーか ADF を開放したまま、または、閉じた状態のどちらでもコピーできます。開放したままでコピーすると、下記のような現象が出ることがあります。そのときは、原稿台カバーか ADF を閉じてコピーしてください。

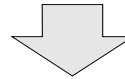
- 原稿台ガラス上が周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがあります。
- 黒い外縁（白い縁がない）がある原稿は、黒い部分を正しくコピーしない（白く抜ける）ことがあります。

機能設定にダブルスカイショットがある場合にのみ「M5」に表示されます。

さらに便利な機能

ADF／原稿台カバーを開けたままコピーしたいとき<スカイショットモード>

■スカイショットモード

ADFまたは原稿台カバーを開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒く汚れないスカイショットモード機能がご使用になれます。

スカイショットモードは 2 種類指定できます。（逐次またはページ）

なし
逐次　：スカイショットの範囲を検出しながらコピーする。
ページ*：「逐次」よりも高精度にスカイショットします。色地原稿やコピー濃度を調整してスカイショットするときに適します。

初期設定は、スカイショットモード機能「逐次」です。
ファンクション設定モードで指定してください。（☞ 78 ページ）

お知らせ

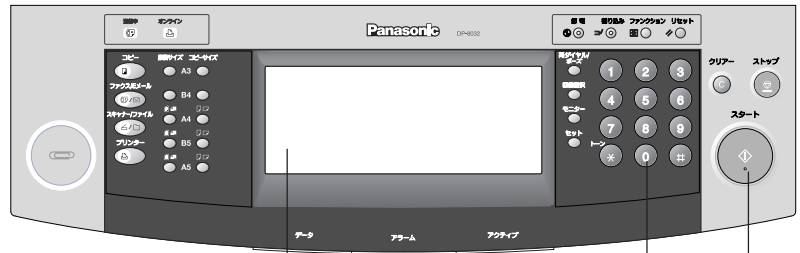
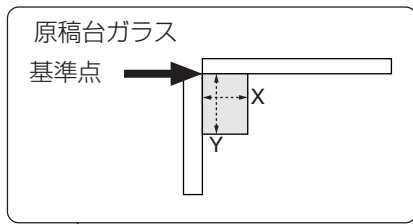
＊ 下記コピー機能と組み合わせてコピーしたときは、「ページ」を設定しても「逐次」で動作します。片面→両面、ブック→両面、N イン 1、ページ連写

- スカイショットモードでは、黒い外縁がある原稿では、黒い部分を正しくコピーしない（白く抜ける）ことがあります。このような場合にはADF／原稿台カバーを閉じてコピーするか、スカイショットモードを「なし」にしてください。（☞78 ページ）
- スカイショットモードは、原稿台ガラス上または周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤検知することがありますのでご注意ください。
- スカイショットモードでは、原稿の原点位置近くで濃度検出を行いますので、原稿を左上に詰めてセットしてください。

ADF／原稿台カバーを開けたままコピーしたいとき<伝票モード>

■伝票モード

名刺、伝票などをコピーをするときに、あらかじめ原稿サイズを登録しておくと、ADF または原稿台カバーを開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒く汚れない伝票モード機能がご使用になれます。
原稿サイズの登録は、ジョブメモリー機能（M1、M2）を利用して行います。（☞76 ページ）

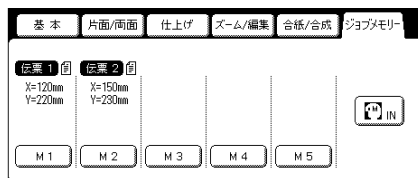
最初に、ファンクション設定モード「ｺﾋﾟｰ機能設定の（09 伝票ﾓｰﾄﾞ切り替え）」で M1、M2 が On（オン）になっていることを確認ください。**（☞ 65 ページ）**

1 原稿をセット*
・原稿台ガラスまたはADF

2 ジョブメモリータブを選択する

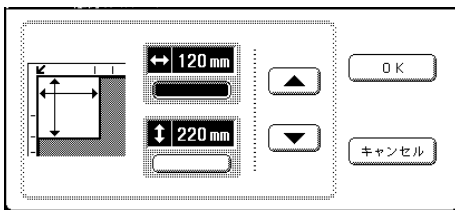
3 原稿サイズ（M1、M2）を選択する

4 コピー部数

5 スタート

2·3

伝票（原稿）サイズは、初期設定値は下記の通りです。

M1： X=120、Y=220 mm
M2： X=150、Y=230 mm

原稿サイズを変更するとき

設定はキーオペレーターの方が行ってください。
①ファンクション設定モードのコピー機能設定を選ぶ。
②LCD画面をスクロールさせて、04/04 画面を表示させる。
③「19 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ専用」を選択する。
④キーオペレーター用パスワードを入力し、「OK」を押す。
⑤LCD 画面をスクロールさせて、03/04 画面を表示させる。
⑥「12 伝票ｻｲｽﾞ M1」または、「13 伝票ｻｲｽﾞ M2」を選択し、左図の画面にて原稿サイズを変更し、「OK」を押す。
（☞ 76 ページ）

お知らせ

＊ ADF を使って伝票モードでコピーするときは、手順 3 での X と Y は、原稿の繰り込み方向が X 方向・原稿ガイドの幅方向が Y 方向です。
● M1 および M2 の伝票（原稿）サイズを登録・変更をするときは、キーオペレーターにご相談ください。
● 伝票モードが On（オン）の間は、先に登録されていたジョブメモリー（M1 、M2）のコピージョブが無効となります。
● 各モードの設定を途中でやめるときは、「キャンセル」ボタンを押します。

コピー動作組み合わせ

後の機能指定／最初の機能指定		片面／両面										仕上げ							ズーム／編集									合紙／合成							その他					
		1→1	1→2	2→1	2→2	B→2	ページ連写	Nイン1	ブックレット	原稿混載	SADF	ソート	シフトソート	回転ソート	ステープルソート	シフトスタック	回転スタック	ノンソート	ズーム	オートズーム	エッジ	ブック	とじ代	スタンプ印字	イメージリピート	センタリング	ネガポジ	表紙	合紙	OHP合紙	プレゼンテーションモード	合成	フォーム合成	ファイル編集	割り込み	試しコピー	タンデムコピー	伝票	スカイショット	ダブルスカイショット
片面／両面	1→1	A	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A
	1→2	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	A	A	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	2→1	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	×	A	◎	◎	A	×	A
	2→2	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	A	A	◎	◎	×	A	◎	◎	A	×	A
	B→2	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	◎	A	A	A	A	×	×	×	A	◎	◎	A	◎	A
	ページ連写	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	◎	A	A	A	A	×	×	×	A	◎	◎	A	◎	A
	Nイン1	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	ブックレット	A	A	A	A	A	A	A	A	×	◎	／	／	／	／	／	／	／	◎	×	◎	×	×	×	×	×	◎	A	A	A	A	×	×	×	A	◎	◎	A	×	A
	原稿混載	◎	×	×	×	×	×	×	×	R	×	◎	◎	△	◎	◎	△	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	×	×	◎	A	◎	◎	A	A	A
	SADF	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	R	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	×	A
仕上げ	ソート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	◎	A
	シフトソート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	◎	A
	回転ソート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	△	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	A	A	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	◎	A
	ステープルソート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	◎	A
	シフトスタック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	A	A	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	◎	A
	回転スタック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	△	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	×	A
	ノンソート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	◎	A	◎	◎	◎	A	◎	◎	◎	◎	A
ズーム／編集	ズーム	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	オートズーム	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	A	A	×	×	×	×	◎	◎	◎	A	A	A	A	A	A	×	A	◎	◎	A	◎	A
	エッジ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	◎	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	ブック	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	A	◎	◎	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	とじ代	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	A	◎	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	A	◎	A
	スタンプ印字	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	A	A	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	◎	◎	A	×	A
	イメージリピート	◎	A	A	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×	R	A	◎	A	A	A	A	A	A	×	A	◎	◎	A	◎	A
	センタリング	◎	◎	A	A	A	A	A	A	A	A	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×	A	R	◎	A	A	A	A	A	A	×	A	◎	◎	A	◎	A
	ネガポジ	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	R	◎	◎	◎	◎	×	×	×	A	◎	◎	A	◎	A
合紙／合成	表紙	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	◎	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	◎	A	A	◎	◎	×	A	◎	×	A	×	A
	合紙	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	◎	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	◎	A	A	A	◎	◎	×	A	◎	×	A	×	A
	OHP合紙	◎	×	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	◎	◎	×	A	◎	×	A	×	A
	プレゼンテーションモード	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	×	◎	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	A	A	A	A	◎	◎	×	A	◎	×	A	×	A
	合成	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	A	A	×	×	◎	×	A	◎	A
	フォーム合成*	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	A	A	×	×	◎	×	A	◎	A
	ファイル編集	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	◎	／
その他	割り込み	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	R	◎	◎	×	◎	×
	試しコピー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	A	R	A	◎	◎	◎
	タンデムコピー	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	A	×	A	◎	◎	◎
	伝票	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	◎	◎	◎	◎	×	×	◎	×	×	×	×	×	×	×	A	◎	◎	A	×	A
	スカイショット	◎	◎	×	×	◎	◎	◎	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	／	A
	ダブルスカイショット	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	◎	×	◎	×	◎	◎	×	×	◎	×	×	×	×	×	×	×	A	◎	◎	A	×	A

* フォーム合成
オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）が
装着されていないときは、動作の組み合わせは、
「R」となります。

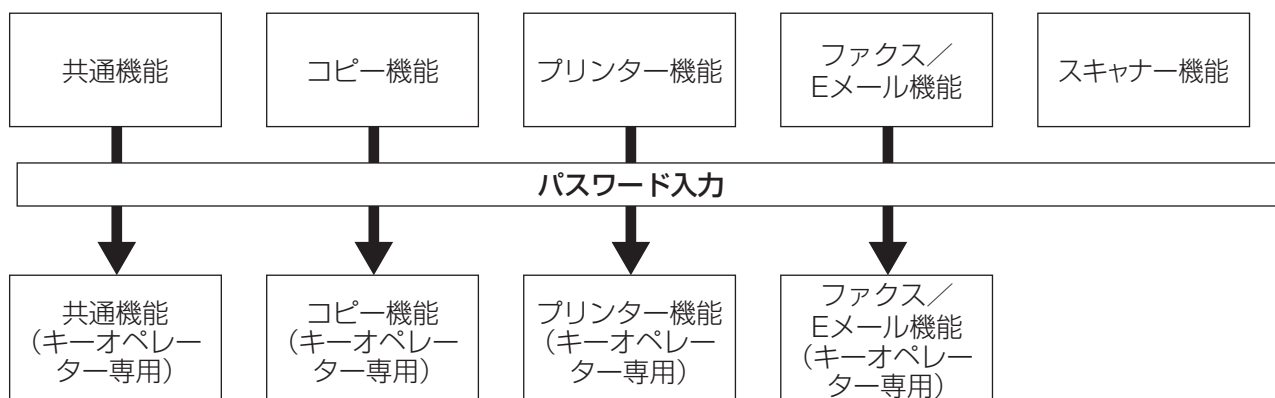
◎：組み合わせて使用できる。
△：設定は可能ですが、等倍コピーでは、機能しません。
×：組み合わせての使用はお勧めいたしません。
A：後から指定した機能が優先される。
R：最初に選択して、次にもう一度同じ機能を選択すると
機能そのものがキャンセルされる。
／：組み合わせそのものが存在しません。

お知らせ

上記機能組み合わせ項目の中で
グレーアミ部分は、合成元の
イメージに反映されません。

ファンクション設定モード

概要／基本設定手順

■各機能の初期設定値（デフォルト値）は、ファンクション設定モードにより変更することができます。
使用されるモード毎に、使用頻度の高い機能を初期設定値として設定しておくと便利です。
ファンクション設定は、機能毎に設定でき、それぞれ一般用とキーオペレーター専用の設定があります。

■基本設定手順

①ファンクションキーを押す。
②設定したい機能名を選択する。
③タッチパネルディスプレイには、設定モードが 5 個ずつ表示される。「↑、↓」を押して画面を切り替え設定したいモードを選択する。
④画面の表示にしたがい、指定を行い「OK」を押す。
キーオペレーター専用の設定画面に切り替えるとき：
・各機能の設定モードの最後にある、「キーオペレーター専用」を選択し、キーオペレーター専用のパスワードを入力する。
⑤ファンクション設定モードを解除するときは、リセットキーを押す。

お知らせ
● 機能拡張オプションのファンクション設定は、各オプションの取扱説明書をご覧ください。
● キーオペレーター専用設定の内容を変更する場合は、キーオペレーターにご相談ください。

ファンクション設定モード

共通機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■共通機能

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 02	00　電源投入時ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	電源投入時のモード＊1 ●ｺﾋﾟｰ、ﾌｧｸｽ、ﾌﾟﾘﾝﾀｰ、ｽｷｬﾅｰ （ｽｷｬﾅｰ：オプション装着時に有効）	ｺﾋﾟｰ
	01　画質自動調整動作実行	自動画質調整を強制実行したいとき。 ●Off（動作せず）、On（動作）	Off
	02　ﾄﾅｰ手動補給	急速にトナーを手動で補給したいとき。 ●Off（動作せず）、On（動作）	Off
	03　ｿｰﾄﾒﾓﾘｰ使用状況表示	ソート用内部メモリーの使用状況(%)を表示させたいとき。 ●なし、あり	なし
	04　部門ｶｳﾝﾀｰｶｳﾝﾄ値	指定部門のカウント枚数と制限枚数および全部門のカウントとを表示させたいとき。＊2	
02 / 02	05　ｾｷｭﾘﾃｨｰ設定表示	セキュリティーキットのバージョンや設定状態を表示させたいとき。	
	09　ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ専用	キーオペレーター専用画面を開きたいとき。 ・キーオペレーター専用のパスワード入力画面が開きます。パスワード入力後、キーオペレーター専用の各設定画面が表示されます。	

お知らせ

＊1　使用頻度の高いモードを設定しておくと便利です。
＊2　部門カウンターをご利用のときは、事前にサービス実施会社にご相談ください。

コピー機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■ コピー機能

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 04	00　とじ代デフォルト値	● 5 mm、10 mm、15 mm、20 mm	10 mm
	01　エッジデフォルト値	● 5 mm、10 mm、15 mm、20 mm	5 mm
	02　ブックデフォルト値	ブック白抜き幅 ● 15 mm、20 mm、25 mm、30 mm	20 mm
	03　とじ代縮小	とじ代機能時の縮小印刷 ●なし、あり	なし
	04　両面デフォルトモード	●非選択、1→2、2→2、B→2 （1：片面原稿／コピー、 2：両面原稿／コピー、B：ブック原稿）	非選択
02 / 04	05　Nイン1デフォルトモード	●2イン1、4イン1、8イン1	2イン1
	06　Nイン1時余白の有無	●なし、あり	なし
	07　ブックレット時のデフォルト倍率	●等倍、縮小	等倍
	08　スカイショットモード切り替え	●なし、逐次、ページ	逐次
	09　伝票モード切り替え	伝票モード ●Off、M1, On、M2, On、M1, M2, On	Off

ファンクション設定モード

コピー機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■コピー機能

画面番号	設定モード	設 定 内 容	初期設定値
03 / 04	10 自動濃度調整	●なし（手動）、あり（自動）	あり
	11 ADFｺﾋﾟｰ仕上げﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ	●ﾉﾝｿｰﾄ、ｿｰﾄ、ｼﾌﾄｿｰﾄ＊、ｿｰﾄ/Stpl(ｽﾃｰﾌﾟﾙ)＊、ｼﾌﾄｽﾀｯｸ＊	ｿｰﾄ
	12 FBｺﾋﾟｰ仕上げﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ	●ﾉﾝｿｰﾄ、ｿｰﾄ、ｼﾌﾄｿｰﾄ＊、ｿｰﾄ/Stpl(ｽﾃｰﾌﾟﾙ)＊、ｼﾌﾄｽﾀｯｸ＊（FB： 原稿台ガラス）	ﾉﾝｿｰﾄ
	13 ｽﾀﾝﾌﾟ印字ﾃﾞﾌｫﾙﾄﾓｰﾄﾞ	スタンプモードの種類 ●ﾍﾟｰｼﾞ付、日付印字、管理ﾅﾝﾊﾞ	ページ付
	14 ﾍﾟｰｼﾞ印字形式	●-n-、n/m	-n-
04 / 04	15 ｲﾒｰｼﾞﾘﾋﾟｰﾄ時のﾐｼﾝ目	イメージリピートモード時のミシン目印刷 ●なし、あり	あり
	16 ﾀﾞﾌﾞﾙｽｶｲｼｮｯﾄ	●なし、 あり（ジョブメモリーのM5ボタンがﾀﾞﾌﾞﾙｽｶｲｼｮｯﾄボタンに切り替わります。）	あり
	19 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ専用	キーオペレーター専用画面を開きたいとき。 ・キーオペレーター専用のパスワード入力画面が開きます。パスワード入力後、キーオペレーター専用の各設定画面が表示されます。	

＊ ｼﾌﾄｿｰﾄ、ｿｰﾄ/Stpl(ｽﾃｰﾌﾟﾙ)、ｼﾌﾄｽﾀｯｸは、オプションの１ビンフィニッシャー（DA-FS300）が装着され、排紙口の設定が「ｱｳﾀｰ」になっているときのみ有効となります。（☞ 22、70ページ）

プリンター機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■ プリンター機能

● 本プリンター機能は、使用されているアプリケーションソフトウェアで印刷設定をしますので、通常設定する必要はありません。
MS-DOS 上より、直接プリンターへテキストデータの印刷を行う場合のような特殊印刷時のみ、設定が必要となる場合があります。

画面番号	設定モード	設 定 内 容	初期設定値
01 / 04	00　ﾌﾟﾘﾝﾄ枚数	● 1 ～999	1
	01　用紙ｻｲｽﾞ	● A3、B4、A4、B5、A5、LEDGER、LEGAL、LETTER、INVOICE、8 × 13、8.5 × 13	A4
	02　給紙口選択	プリント時に選択される給紙カセット ● 自動＊1、手差し、ｶｾｯﾄ1、ｶｾｯﾄ2、ｶｾｯﾄ3、ｶｾｯﾄ4	自動
	03　印刷方向	● ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ、ﾗﾝﾄﾞｽｹｰﾌﾟ（ランドスケープ）	ﾎﾟｰﾄﾚｰﾄ
	04　紙無し時給紙段自動切り替え	指定された給紙カセットに用紙が無いときに、同サイズで方向違いの用紙が他の給紙カセットにあった場合に自動的に給紙カセットを切り替えたいとき。 ● しない、する	する
02 / 04	05　両面印刷	● しない、する	しない
	06　両面時のとじ方向指定	● 長辺とじ（例：左右見開き原稿）、短辺とじ（例：上下開き見開き原稿）	長辺とじ
	07　解像度	単位は、dpi ＊2 ● 1200×600、600×600、300×300	600×600
	08　PCLﾌｫﾝﾄ	PCL® フォントを指定したいとき。 通常設定する必要は、ありません。 ● 0 ～99	0
	09　PCLｼﾝﾎﾞﾙﾃｰﾌﾞﾙ	PCL® シンボルテーブルを指定したいとき。 通常設定する必要は、ありません。 ● 0 ～35	11

お知らせ

＊1　自動を選択時は、プリントデータに合わせ給紙カセットが自動選択されます。
＊2　dpi とは、ドット・パー・インチのことです。解像度を表わす一般的な単位です。数字が大きいほど、より精密な印刷が可能となります。
例：600 × 600 dpi ＝ 1 インチ四方内を 600 × 600=360000 個の点で印刷が可能です。
● No.08、09 は、オプションの PDL ユニット装着時のみ有効なモードです。

ファンクション設定モード

プリンター機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■ プリンター機能

● 本プリンター機能は、使用されているアプリケーションソフトウェアで印刷設定をしますので、通常設定する必要はありません。
MS-DOS 上より、直接プリンターへテキストデータの印刷を行う場合のような特殊印刷時のみ、設定が必要となる場合があります。

画面番号	設定モード	設 定 内 容	初期設定値
03 / 04	10 PCLﾋﾟｯﾁ	印刷行のピッチを手動調整したいとき。＊ ● 0.44 - 99.99	10.00
	11 PCLﾎﾟｲﾝﾄｻｲｽﾞ	文字ポイント（サイズ）を手動調整したいとき。＊ ● 4.00 - 999.75	012.00
	12 PCL 行数	１ページあたりの印刷行数を手動調整したいとき。＊ ● 5 - 123	60
	13 PCL 復帰文字	行改行指示を手動で入力したいとき。＊ ● CR、CR＋LF	CR
	14 A4, LTR 代替印刷	Letter（レター）サイズの印刷データを A4 に自動変換させ印刷したいとき。 ● しない、する	しない
04 / 04	15 ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾒﾓﾘ使用状況	オプションのハードディスクユニット装着時にメールボックス機能のメモリー使用状態を表示させたいとき。	
	16 ﾌﾟﾘﾝﾄ強制排出	● 中止、実行	実行
	19 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ専用	キーオペレーター専用画面を開きたいとき。 ・ キーオペレーター専用のパスワード入力画面が開きます。パスワード入力後、キーオペレーター専用の各設定画面が表示されます。	

お知らせ

＊ No.10 ～ 13 は、オプションの PDL ユニット装着時のみ有効なモードです。

スキャナー機能（一般用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■スキャナー機能

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 02	00　ｽｷｬﾅｰ機能設定印刷	上記の設定内容一覧を印刷 ● 中止、開始	開始
	01　画質ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	読み取り原稿モード（種類） ● 文字、文字写真、写真	文字写真
	02　圧縮形式ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	画像のデータ圧縮方式＊1 ● MH、MR、MMR、JBIG	MMR
	03　解像度ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	読み取り解像度 ● 150dpi、300dpi、600dpi	300dpi
	04　SADF 機能	● なし、あり	なし
02 / 02	05　両面原稿のとじ方向	両面原稿読み取り時の原稿とじ方向 ● 長辺とじ（左右見開き原稿）、短辺とじ（上下開き見開き原稿）	長辺とじ
	06　ｱﾄﾞﾚｽの登録	下記のアドレスを登録・追加 ● PC、DD、FTP	0.0.0.0
	07　ｱﾄﾞﾚｽの変更	登録済みアドレスを変更	
	08　ｱﾄﾞﾚｽの削除	登録済みアドレスを削除	
	09　送信ﾌｧｲﾙﾀｲﾌﾟ	送信するファイルの種類を選択 ● TIFF、PDF	PDF

お知らせ

＊1 使用するパソコンのアプリケーションによっては、画像の圧縮形式をサポートしていない場合があります。詳しくは、ご使用のアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。

ファンクション設定モード

共通機能（キーオペレーター専用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■共通機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 10	00　共通機能設定印刷	共通機能で設定されている内容を印刷したいとき。 ● 中止、開始	開始
	01　用紙ｻｲｽﾞ設定	各給紙カセットの紙サイズを変更したいとき。 ● A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5、LEDGER、LEGAL、LETTER、LETTER、INVOICE、8 × 13、8.5 × 13	
	02　手差し A4R/A5 ﾃﾞﾌｫﾙﾄ選択	手差しトレイのデフォルト（初期）用紙選択を変更したいとき。 ● A4R、A5	A4R
	03　手差し B5R/A5R ﾃﾞﾌｫﾙﾄ選択	手差しトレイのデフォルト（初期）用紙選択を変更したいとき。 ● B5R、A5R	B5R
	04　自動選択禁止段 1	ある指定の給紙カセットで色紙などをセットしてある場合、その給紙カセットを自動選択しないように設定するとき。 ● なし、ｶｾｯﾄ1、ｶｾｯﾄ2、ｶｾｯﾄ3、ｶｾｯﾄ4、手差し	なし
02 / 10	05　自動選択禁止段 2	ある指定の給紙カセットで色紙などをセットしてある場合、その給紙カセットを自動選択しないように設定するとき。 ● なし、ｶｾｯﾄ1、ｶｾｯﾄ2、ｶｾｯﾄ3、ｶｾｯﾄ4、手差し	なし
	06　紙なし時自動回転機能	コピーサイズと同じサイズ・方向の給紙カセットに用紙がないとき、方向違いの同じ用紙サイズが他の給紙カセットにあれば、コピーイメージを回転し、印刷されるようにしたいとき。 ● しない、する	しない
	07　ｺﾋﾟｰ排出口ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	オプション（インナートレイ、アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー）装着時にコピーの排出先を変更したいとき。 ● ｲﾝﾅｰ 1、ｲﾝﾅｰ 2（インナートレイ装着時）、ｱｳﾀｰ(アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー装着時)	ｲﾝﾅｰ 1
	08　ﾌﾟﾘﾝﾀｰ排出口ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	オプション（インナートレイ、アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー）装着時にプリンターの排出先を変更したいとき。 ● ｲﾝﾅｰ 1、ｲﾝﾅｰ 2（インナートレイ装着時）、ｱｳﾀｰ(アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー装着時)	ｲﾝﾅｰ 1
	09　ﾌｧｸｽ/Eﾒｰﾙ排出口ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	オプション（インナートレイ、アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー）装着時にファクス / E メールの排出先を変更したいとき。 ● ｲﾝﾅｰ 1、ｲﾝﾅｰ 2（インナートレイ装着時）、ｱｳﾀｰ(アウタートレイか 1 ビンフィニッシャー装着時)	ｲﾝﾅｰ 1

■共通機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
03 / 10	10 ｵｰﾄｸﾘｱﾀｲﾑ	コントロールパネル上の設定自動クリア時間を変更したいとき。 ● なし、30秒、1分、2分、3分、4分	1分
	11 低電力ﾓｰﾄﾞﾀｲﾏｰ	動作なし時の低電力モードへの自動移行時間を変更したいとき。 ● 1 - 240分	7
	12 ｽﾘｰﾌﾟ/ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ選択	節電モード時の機能を切り替えたいとき。 ● ｽﾘｰﾌﾟ、ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝ＊1	ｽﾘｰﾌﾟ
	13 ｽﾘｰﾌﾟ/ｼｬｯﾄﾀﾞｳﾝﾀｲﾏｰ	動作なし時のスリープ／シャットダウンモードへの自動移行時間を変更したいとき。 ● なし、1 - 240分	15
04 / 10	15 言語切り替え機能	本内容は、変更できません。	日本語
	16 ﾊﾟﾈﾙﾀｯﾁ音の設定	タッチパネルを操作したときの操作音を調整したいとき。 ● なし、音量小、音量大	音量小
	17 原稿ｾｯﾄ音の設定	原稿台ガラスに原稿をセットしたときにセット確認音を出したいとき。 ● なし、あり＊2	なし
	18 ADFｾｯﾄ音の設定	ADF に原稿をセットしたときにセット確認音を出したいとき。 ● なし、あり＊2	あり
	19 部門ｶｳﾝﾀｰ管理	コピー枚数の管理および変更をしたいとき。 (1) 部門毎のカウント値 (2) 部門毎のトータルカウント枚数制限値 (3) 部門毎の暗証番号（部門コード）	本モードを設定の場合はサービス実施会社にご相談ください。
05 / 10	20 日付時刻の設定	日付時刻を設定し直したいとき。 ● 年、月、日、時、分の順に設定可 ● 本機内部の時計は、月に約 1 ～ 2 分程度のずれが生じることがあります。	
	21 ｳｨｰｸﾘｰﾀｲﾏｰ	曜日毎にスリープ／シャットダウンモードの解除時刻、開始時刻を設定したいとき。 ● なし（時刻指定をしない場合） ● あり（曜日毎に時刻設定をする場合）	なし
	23 DHCP 機能	DHCP サーバー機能を使用したいとき。＊3（☞ 72ページ） ● なし、あり	あり
	24 TCP/IP IPｱﾄﾞﾚｽ	IP アドレスを設定したいとき。＊3（☞ 72ページ） ● 3 桁× 4 カ所	0.0.0.0

お知らせ

＊1 節電モードでシャットダウンが選択されているときは、一部の機能が動作しません。（☞ 16 ページ）

＊2 No.17 および 18 を「あり」に設定したときに、「16 ﾊﾟﾈﾙﾀｯﾁ音の設定」が「なし」に設定されているときは、確認音が出ません。また、「音量小、音量大」も連動して設定されます。

ファンクション設定モード

■共通機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
06 / 10	25 TCP/IP ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	サブネットマスクアドレスを設定したいとき。＊3 ● 3桁×4カ所	0.0.0.0
	26 TCP/IP ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	ゲートウェイアドレスを設定したいとき。＊3 ● 3桁×4カ所	0.0.0.0
	27 DNS ｻｰﾊﾞｰｱﾄﾞﾚｽ	DNS サーバーを利用するとき。＊3 ● なし、あり	あり
	28 MACｱﾄﾞﾚｽ表示	MAC アドレスを表示させたいとき。	
	29 ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸ初期化	● ﾌｫｰﾏｯﾄ、ﾃﾞｰﾀ削除 「ﾃﾞｰﾀ削除」選択時は、更に「ﾚﾍﾞﾙ1」と「ﾚﾍﾞﾙ2」の選択があります。「ﾚﾍﾞﾙ1」より「ﾚﾍﾞﾙ2」の方が、より確実にデータを削除できますが、削除に要する時間が長くなります。データ削除中は、本機を使用することができませんので、ハードディスクを交換するときや、本機を廃棄されるとき以外は、「ﾃﾞｰﾀ削除」を選択されないことをお勧めします。＊4（☞ 73ページ） <時間の目安> ﾚﾍﾞﾙ1：2時間程度、ﾚﾍﾞﾙ2：3時間程度	ﾌｫｰﾏｯﾄ
07 / 10	30 ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸｴﾗｰﾁｪｯｸ	ハードディスクの動作が不安定と考えられるとき、動作エラーチェックを実施。＊4（☞ 73ページ） （エラー時は、ハードディスクが故障。） ● 中止、開始	中止
	31 自動登録時のｸﾞﾙｰﾌﾟ ID	アドレス帳（スキャナー・タンデム／リモートコピー・終了通知機能用）自動作成時のグループ ID を変更したいとき。＊4（☞ 73ページ） ● 0～99	0
	32 ﾀﾝﾃﾞﾑ自機情報登録	タンデムコピーを利用するときの自機情報を設定する。＊4（☞ 73ページ）	
	33 ｺﾐｭﾆﾃｨﾈｰﾑ 1	SNMP Community Name (1) を変更したいとき。＊5（☞ 73ページ） ● 読み取り専用で設定。	public
	34 ｺﾐｭﾆﾃｨﾈｰﾑ 2	SNMP Community Name (2) を変更したいとき。＊5（☞ 73ページ） ● 読み取り / 書き込み可で設定可能。	public

お知らせ

＊3 設定モード「23～27」を設定したときは、スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」してください。

● 23 DHCP 機能について
ご使用のネットワーク環境がDHCP サーバーの場合、この設定を変更する必要はありません。DHCP 環境でないときは、設定を変更してください。また、本機をネットワーク共有プリンタとして使う場合には、DHCP を「なし」に設定して、前ページの No.24 と上記 No.25、26 で固定アドレスの設定を行ってください。

■共通機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
08 / 10	35　ﾃﾞﾊﾞｲｽﾈｰﾑ	デバイス名情報が必要な場合に入力する。＊5 （デバイスモニター機能用）	Panasonic DP-8032 または DP-8025
	36　ﾛｹｰｼｮﾝ	デバイス設置場所情報が必要な場合に入力する。 （デバイスモニター機能用）＊5	
	37　ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ配信機能	オプションのドキュメント配信システム装着時のみ有効なモードです。（下記 No. 38 - 39も同様） ● なし、あり	なし
	38　ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ配信ｻｰﾊﾞｰ名	サーバー名を入力する。	
	39　ﾄﾞｷｭﾒﾝﾄ配信ｻｰﾊﾞｰIPｱﾄﾞﾚｽ	● 3 桁× 4 カ所	
09 / 10	40　自動選択禁止段3	ある指定の給紙カセットで色紙などをセットしてある場合、その給紙カセットを自動選択しないように設定するとき。 ● なし、ｶｾｯﾄ1、ｶｾｯﾄ2、ｶｾｯﾄ3、ｶｾｯﾄ4、手差し	なし
	41　自動選択禁止段4	ある指定の給紙カセットで色紙などをセットしてある場合、その給紙カセットを自動選択しないように設定するとき。 ● なし、ｶｾｯﾄ1、ｶｾｯﾄ2、ｶｾｯﾄ3、ｶｾｯﾄ4、手差し	なし
	42　ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾃﾞｰﾀ消去ﾚﾍﾞﾙ	コピー終了後、中止時やその他でハードディスク内のデータを削除するときの削除レベルを設定したいとき。＊4 ●標準、ﾚﾍﾞﾙ1、ﾚﾍﾞﾙ2 「ﾚﾍﾞﾙ1」より「ﾚﾍﾞﾙ2」の方が、より確実にデータを削除できますが、削除に要する時間が長くなります。（時間は、文書のデータ量により異なりますので具体的には記載できません） データ削除中は、本機を使用することができませんので、特に重要な書類を除き、「標準」のまま使用されることをお勧めします。	標準

お知らせ

＊4 オプションのハードディスクユニット（DA-HD31）装着時のみに設定が必要となります。（☞ 101 ページ）

＊5 設定モード「33 ～ 36」を設定したときは、スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」してください。

■共通機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
10/10	45　ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ	キーオペレーター専用のパスワードを設定したいとき。 パスワードは8桁の数字、アルファベット、4種類の記号（@ . _ スペース）の組み合わせで設定します。アルファベットの大文字、小文字は区別されます。	00000000
	46　ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞﾛｯｸ	ハードディスクドライブロックパスワードの設定／変更と、ドライブロックの解除をしたいとき。	

コピー機能（キーオペレーター専用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■ コピー機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 04	00　ｺﾋﾟｰ機能設定印刷	設定されたコピー機能一覧を印刷するとき。 ● 中止、開始	開始
	01　用紙ｻｲｽﾞ優先	不定形サイズ原稿（原稿サイズ検知できない原稿）をセットしたときに、優先される用紙サイズを設定するとき。 ● A3、B4、A4□、A4□、B5□、B5□、A5□、A5□、LEDGER、LEGAL、LETTER□、LETTER□、INVOICE、8 × 13□、8.5 × 13□	A4（□）
	02　画質ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	● 文字、文字写真、写真	文字写真
	03　濃度ﾃﾞﾌｫﾙﾄ(文字)	● 1(うすく)- 7(こく)の 7 段階	4
	04　濃度ﾃﾞﾌｫﾙﾄ(文字写真)	● 1(うすく)- 7(こく)の 7 段階	4
02 / 04	05　濃度ﾃﾞﾌｫﾙﾄ(写真)	● 1(うすく)- 7(こく)の 7 段階	4
	06　濃度ﾃﾞﾌｫﾙﾄ合成	合成モードの濃度を変更したいとき。 ● 1（うすく）-7（こく）の 7 段階	4
	07　OHP 合紙ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	OHP 合紙モードの機能を変更したいとき。 ● 無地、コピー	無地
	08　合紙ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	合紙モードの機能を変更したいとき。 ● 無地、コピー	無地
	09　表紙ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	表紙モードの機能を変更したいとき。 ● 表無地、表コピー、表裏無地、表裏コピー	表無地

■コピー機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
03 / 04	10　SADF 機能	● 機能なし、機能あり	機能あり
	11　設定枚数上限値制限	設定できるコピー枚数を制限したいとき。（0～99）	0（制限なし）
	12　伝票ｻｲｽﾞ M1	伝票モード時の M1 サイズを変更したいとき。 ● X：5～432／Y：5～297㎜ （☞61 ページ）	120×220㎜ (X)　(Y)
	13　伝票ｻｲｽﾞ M2	伝票モード時の M2 サイズを変更したいとき。 ● X：5～432／Y：5～297㎜ （☞61 ページ）	150×230㎜ (X)　(Y)
	14　ﾒﾓﾘｰﾌﾙ時の電子ｿｰﾄ継続	「メモリーフル」エラー表示時のソートコピー動作を指定するとき。 ● 印刷：エラー表示前の読み込み原稿を印刷する。 中断：電子ソートコピー動作を中断する。	印刷
04 / 04	15　ﾀﾝﾃﾞﾑｺﾋﾟｰ相手先登録	タンデムコピーの相手コピー機の IP アドレスを登録するとき。*	
	16　ﾀﾝﾃﾞﾑｺﾋﾟｰ相手先変更	タンデムコピーの相手コピー機を変更するとき。*	
	17　ﾀﾝﾃﾞﾑｺﾋﾟｰ相手先削除	タンデムコピーの相手コピー機を削除するとき。*	

お知らせ

＊ 設定モード「15～17」は、オプションのハードディスクユニット(DA-HD31）装着時に、ネットワークの設定がされているときのみ、利用可能です。

プリンター機能（キーオペレーター専用）の初期設定値（デフォルト値）を変更したいとき

■ プリンター機能・キーオペレーター専用

・本設定モードは、キーオペレーター専用です。
・キーオペレーター専用のパスワードを入力しないと本設定モードは、表示されません。

画面番号	設定モード	設定内容	初期設定値
01 / 03	00　ﾌﾟﾘﾝﾀｰ機能設定印刷	設定されたプリンター機能一覧を印刷するとき。 ● 中止、開始	開始
	01　ｼﾞｮﾌﾞ終端検出ﾀｲﾑｱｳﾄ時間	パソコンからの印刷ジョブ終端検出用信号の受信待機制限時間を変更したいとき。 ● 1～999（秒）	180（秒）
	02　ﾒﾓﾘｰ不足時のLOSSY圧縮	● しない、する	しない
	03　ｴﾗｰﾍﾟｰｼﾞ印刷	● しない、する	する
	04　ｽﾌﾟｰﾘﾝｸﾞ機能	● しない、する＊1	する
02 / 03	05　ﾃｷｽﾄ印刷	文字情報のみデータの印刷を指定したいとき。 ● しない、する	する
	07　ﾌｫﾝﾄﾘｽﾄﾌﾟﾘﾝﾄ、PCL	● 中止、開始＊2	開始
	09　ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾃﾞｰﾀ保持期間	● 無期限、1日、2日、3日、4日、5日、6日、7日＊3	7日
03 / 03	10　ﾒｰﾙﾎﾞｯｸｽﾃﾞｰﾀ手動削除	メールボックス内の印刷データを手動で消去したいとき。＊3 ● 全文書、日付指定	日付指定
	11　ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ削除権限	● ﾌﾘｰ、ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀ	ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀ

お知らせ

＊1 設定モード「04」を変更したときは、スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」してください。
＊2 設定モード「07」は、オプションのPDLユニット（DA-PC302）装着時のみ有効なモードです。
＊3 設定モード「09、10」は、オプションのハードディスクユニット（DA-HD31)装着時のみ有効です。

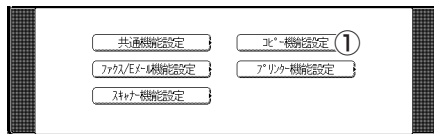
ファンクション設定モード

ファンクション設定のしかた（例１）／一般用

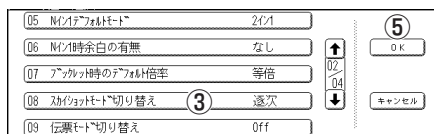
■スカイショットモードの設定を変更したいとき

自動原稿送り装置（ADF）を開けた状態で、原稿台ガラスに原稿をセットし、コピーしてもコピーの縁が黒ずまないスカイショットモードの機能を設定します。

1 ファンクションキーを押す

2

① 「ｺﾋﾟｰ機能設定」を選択する。

② 「⬆、⬇」を押して、表示画面を切り替える。

③ 「08 ｽｶｲｼｮｯﾄﾓｰﾄﾞ切り替え」を選択する。

④ 機能を選択し、「OK」を押す。
- 機能の詳細については、☞60ページを参照してください。

⑤ 「OK」を押す。

3 リセットキーを押して、ファンクション設定モードを解除する

ファンクション設定のしかた（例 2 ）／キーオペレーター専用

■ 用紙サイズを変更したいとき

本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。
給紙カセットの用紙サイズは、固定されていますが、A3・B4・A4・B5・A5（LEDGER、LETTER、INVOICE、8×13インチ、8.5×13インチ）のいずれかに切り替えることができます。
下記の手順で用紙サイズを変更してください。

1 ファンクションキーを押す

ファンクションキー
リセットキー

2 用紙サイズを変更したい給紙カセットの用紙サイズを設定する

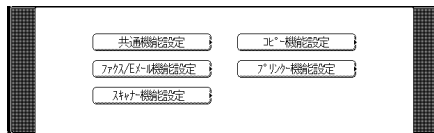
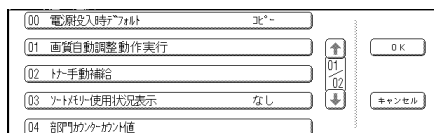
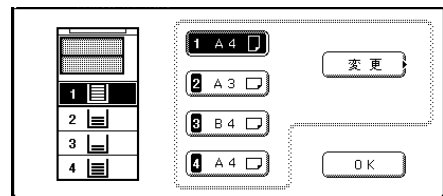
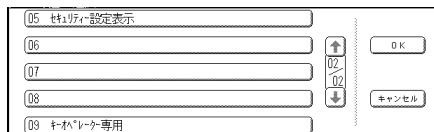
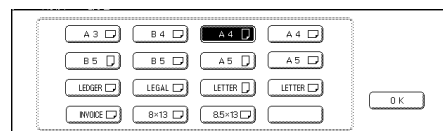
① 「共通機能設定」を選択する。

② 「⬆、⬇」を押して、表示を切り替える。

③ 「09 キーオペレーター専用」を選択する。

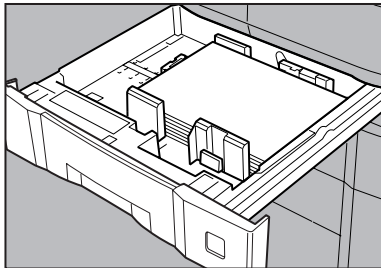
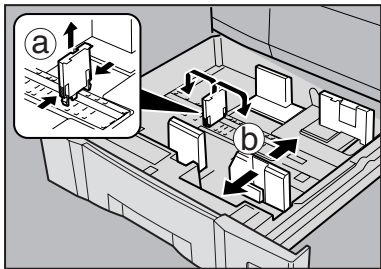
④ 画面のキーボードを使用してパスワード（ 8 桁）を入力し、「OK」を押す。

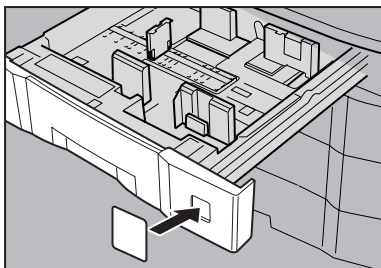
⑤ 「01 用紙サイズ設定」を選択する。

00 共通機能設定印刷
01 用紙サイズ設定
02 手差しA4R/A5Rデフォルト選択 A4R
03 手差しB5R/A5Rデフォルト選択 B5R
04 自動選択禁止段1 なし
OK
キャンセル

⑥ 変更する給紙カセットの表示（用紙サイズが表示されているところ）、「変更」の順に選択する。

⑦ 変更したい用紙サイズを選択し、「OK」を押す。

⑧ 「OK」を押す。

⑨ リセットキーを押して、ファンクション設定モードを解除する。

〈次ページへつづく〉

3 給紙カセットの紙ガイドと紙サイズ表示ラベルを変更する

① 給紙カセットを引き出す。
- 用紙がセットされているときは、用紙を取り出します。

② 紙ガイドⓐを抜いて、変更する用紙サイズ（長さ）に合わせて移動する。

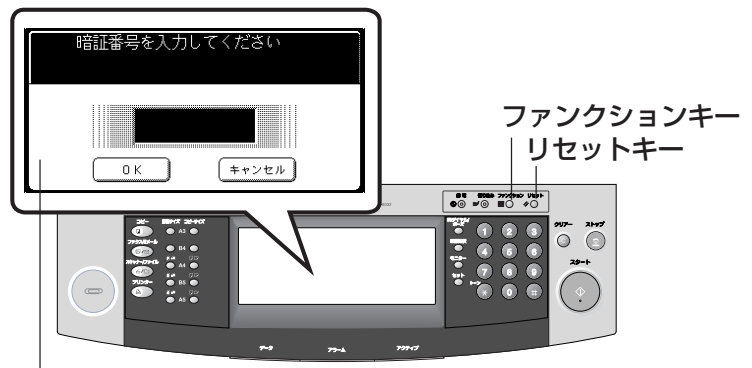
③ 紙ガイドⓑ を変更する用紙サイズ（幅）に合わせて移動する。

④ 給紙カセット前面パネルの紙サイズ表示ラベルを貼り替える。

⑤ 変更した用紙をセットし、給紙カセットを挿入する。

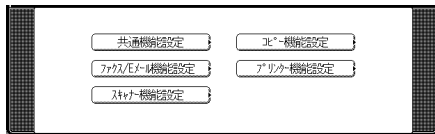
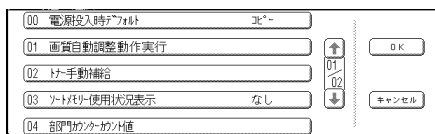
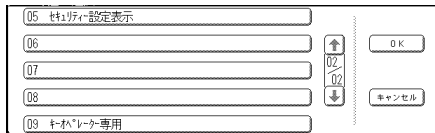
ファンクション設定のしかた（例3）／キーオペレーター専用

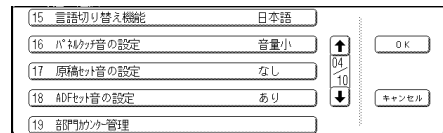
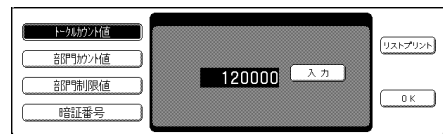
■部門カウンター管理機能を設定したいとき

部門毎の暗証番号（部門コード）の登録・管理や部門毎のコピー枚数の管理ができます。（最大300部門）
本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。

1 ファンクションキーを押す

この画面が表示されますが、ここでは操作しません。
・ 部門カウンターが設定されているときは、部門毎に設定された「暗証番号」を入力しないとコピー/ファクス/スキャナー等の操作ができません。キーオペレーターのかたは、以降の手順で登録された部門毎の暗証番号（部門コード）を各部門へ必ず連絡してください。

2

① 「共通機能設定」を選択する。

② 「🡅、🡇」を押して、表示を切り替える。

③ 「09 キーオペレーター専用」を選択する。

④ 画面のキーボードを使用してパスワード（8桁）を入力し、「OK」を押す。

⑤ 「🡅、🡇」を押して、画面をめくり「19 部門カウンター管理」を選択する。

⑥ 「トータルカウント値」画面が表示される。

● トータルカウント値をクリアーしたいときは、「入力」を押し、テンキーで「0」を入力した後、「OK」を押す。
● 各部門毎のコピーカウント枚数一覧を印刷したいときは、「リストプリント」を選択します。
● 部門毎に設定したいときは、☞82ページの手順3に進む。

暗証番号　：暗証番号（部門コード）の登録／変更
部門カウント値：印刷カウント値の確認またはクリアー
部門制限数：印刷制限枚数の設定または変更

〈次ページへつづく〉

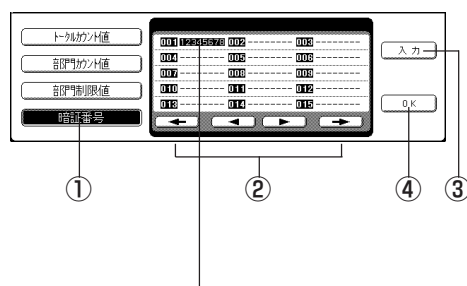
お知らせ

● 部門カウンターをご使用になるときは、別途サービス設定が必要です。サービス実施会社へご依頼ください。
● 部門カウンター管理を途中で止めるときは、「リセット」キーを押してください。

ファンクション設定モード

ファンクション設定のしかた（例３）／キーオペレーター専用（つづき）

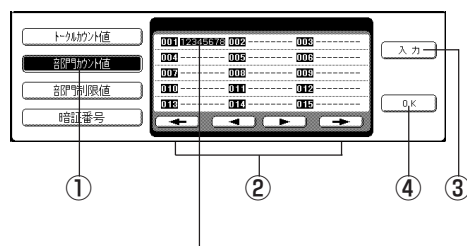
3 **部門毎の暗証番号（部門コード）の登録／変更または、カウント値、制限枚数を変更する。**

・最初に部門毎の暗証番号（部門コード）が登録されていないと、部門毎の印刷カウント値や印刷制限枚数の設定・変更は行えません。

部門毎の暗証番号（部門コード）

①「暗証番号」を選択する。
②登録・変更したい部門番号を選択する。
③「入力」を押し、暗証番号をテンキーで入力する。（最大８桁）
④「OK」を押す。

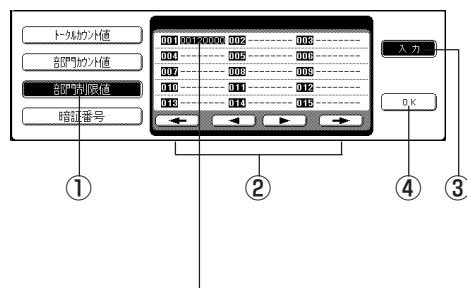
001 12345678

部門番号（３桁）　暗証番号（部門コード）（最大８桁）

⑤部門名を入力し、「OK」を押す。
・文字入力のしかた（☞ 94ページ）（最大 12 文字まで）

部門毎のカウント値

①「部門カウント値」を選択する。
②変更したい部門番号を選択する。
③「入力」を押し、テンキーで「0」を入力してカウント値をクリアーする。
④「OK」を押す。

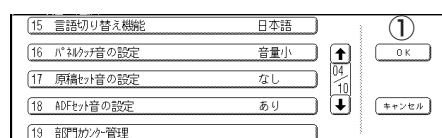
001 12345678

部門番号（３桁）　カウント値（８桁）

部門毎の制限枚数

①「部門制限値」を選択する。
②変更したい部門番号を選択する。
③「入力」を押し、新制限枚数をテンキーで入力する。（最大８桁）
④「OK」を押す。

001 00120000

部門番号（３桁）　制限枚数（最大８桁）"00000000"と入力すると印刷枚数制限は、なしとなります。

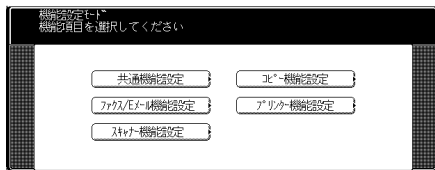
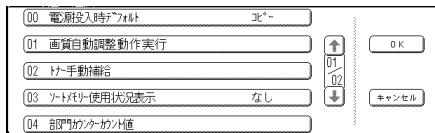
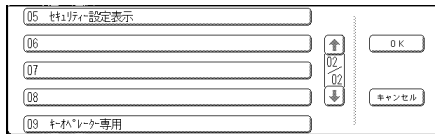
4 **ファンクション設定モードを解除する。**

①「OK」を押す。
②リセットキーを押す。

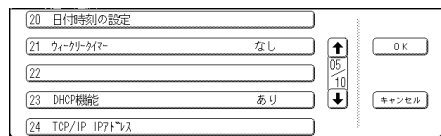
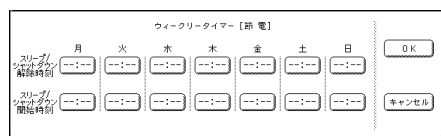
ファンクション設定のしかた（例 4）／キーオペレーター専用

■ ウィークリータイマーを設定したいとき

曜日毎にスリープ／シャットダウンモードの「解除時間」、「開始時間」が設定できます。
本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。

1 ファンクションキーを押す

2 ① 「共通機能設定」を選択する。

② 「⬆、⬇」を押して、表示を切り替える。

③ 「09 キーオペレーター専用」を選択する。

④ 画面のキーボードを使用してパスワード（8 桁）を入力し、「OK」を押す。

⑤ 「⬆、⬇」を押して画面をめくり「21 ウィークリータイマー」を選択する。

⑥ 曜日毎にスリープ／シャットダウンモードの解除時刻、開始時刻を選択し、テンキーで時間（24時間単位）を入力して、「OK」を押す。

・ ウィークリータイマーが設定されると、上記手順⑤の画面表示“21 ウィークリータイマー なし”が“21 ウィークリータイマー あり”に切り替わります。

3 リセットキーを押して、ファンクション設定モードを解除する

■ネットワークの設定をしたいとき

本機をネットワークに接続するときは、下記の手順でネットワークのアドレス等を設定します。
「23 DHCP 機能」の設定が「あり」の場合は、設定の必要がありません。
ネットワークのアドレス詳細は、部門のネットワーク管理者にご相談ください。
本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。

1 ファンクションキーを押す

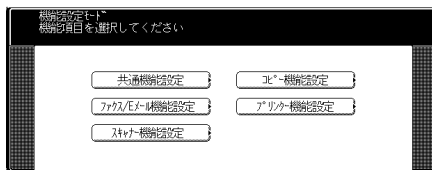
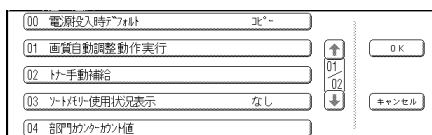
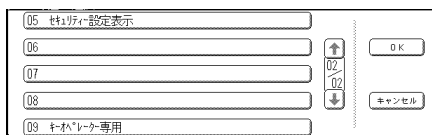
2

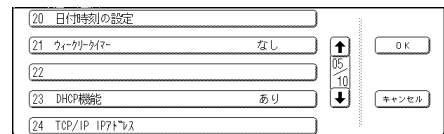
① 「共通機能設定」を選択する。

② 「🠉、🠋」を押して、表示を切り替える。

00 電源投入時デフォルト コピー
01 画質自動調整動作実行
02 トナー手動補給
03 ソートメモリー使用状況表示 なし
04 部門カウンターカウント値

③ 「09 キーオペレーター専用」を選択する。

05 セキュリティー設定表示
06
07
08
09 キーオペレーター専用

④ 画面のキーボードを使用してパスワード（８桁）を入力し、「OK」を押す。

⑤ 「🠉、🠋」を押して画面をめくり、「23 DHCP 機能」を選択する。

⑥ 「23 DHCP 機能」を「なし」にし、「OK」を押す。

⑦ 「24 TCP/IP IPアドレス」を選択する。

⑧ IPアドレスをテンキーで入力し、「OK」を押す。
・アドレスが１桁や２桁の部分は、数字入力後に「＊」キーを押すか、アドレスが１桁のときは、頭に「00」、アドレスが２桁のときは、頭に「0」を付加して３桁で入力してください。（入力した「0」、「00」は表示されません。）

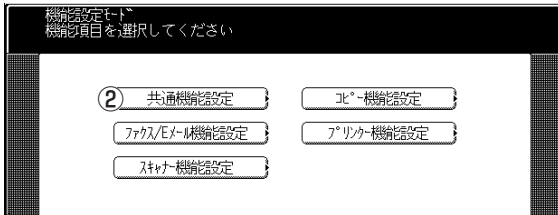
⑨ 「🠉、🠋」を押して画面をめくり表示を切り替え、「25 TCP/IP サブネットマスク」、「26 TCP/IP ゲートウェイアドレス」も同様に上記手順⑧と同様にアドレスを入力する。
● "27 DNS サーバーアドレス" は、必要に応じ、画面の指示にしたがい設定ください。

3 リセットキーを押して、ファンクション設定モードを解除し、スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」して、ネットワーク設定を有効にする

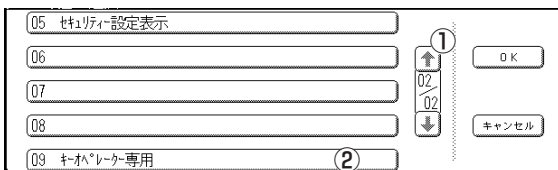
ファンクション設定のしかた（例６）/ キーオペレーター専用

■タンデム自機情報を登録したいとき

本機能の設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。

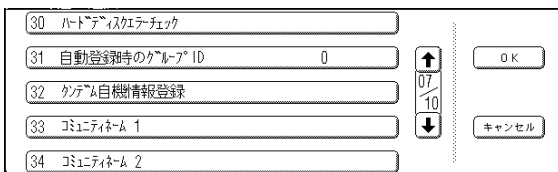
1

① ファンクションキーを押す。
(☞84 ページ)

②「共通機能設定」を選択する。

2

①「⬆、⬇」を押して、表示を切り替え、
② ページをめくり、「09 ｷｰｵﾍﾟﾚｰﾀｰ専用」を選択する。

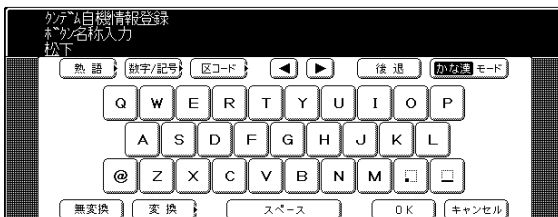
3

画面のキーボードを使用してパスワード（８桁）を入力し、「OK」を押す。

4

「32 ﾀﾝﾃﾞﾑ自機情報登録」を選択する。

5

自機名称（複合機名）を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（最大 20 文字）
例：松下
・ 文字入力のしかた（☞ 94 ページ）

6

ボタン名称を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
ボタン名称は手順５で入力した自機名（複合機名）が表示されます。もし、変更しないのであれば「OK」を押す。
（最大 10 文字）

7

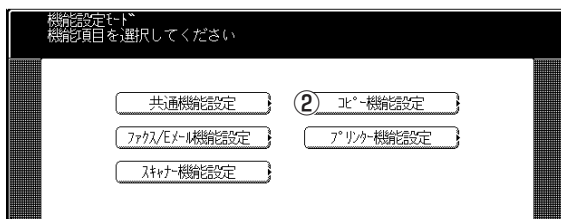
検索文字を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（カタカナで最大 10 文字）

ファンクション設定モード

ファンクション設定のしかた（例7）/ キーオペレーター専用

■ ネットワーク内の同一IPアドレスグループ（サブネットマスク）外に設置されている他の弊社複合機（DP-8032/8025/3030/2330/3010/2310）でタンデム/リモートコピーしたいとき

タンデム / リモートコピー機能（☞26ページ）を使用する前に他の弊社複合機の登録が必要です。
ネットワークのIPアドレスグループ（サブネットマスク）については、ネットワーク管理者へお問い合わせください。
本設定には、キーオペレーター専用のパスワード入力が必要です。

1

① ファンクションキーを押す。
（☞84ページ）

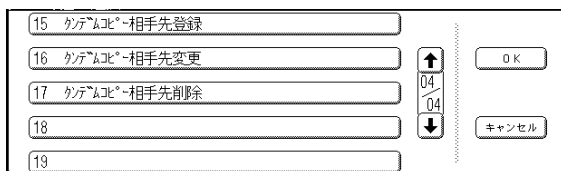
②「コピー機能設定」を選択する。

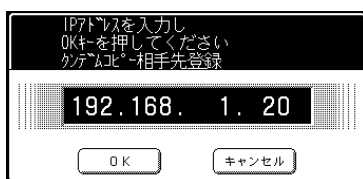
2

①「⬆、⬇」を押して、表示を切り替え、
② ページをめくり、「19 キーオペレーター専用」を選択する。

3

画面のキーボードを使用してパスワード（8桁）を入力し、「OK」を押す。

4

「15 タンデムコピー相手先登録」を選択する。

5

テンキーで出力する複合機のIPアドレスを入力し、「OK」を押す。
例：192.168.1.20

お願い： アドレスが1桁や2桁の部分は、数字入力後に「＊」キーを押すか、アドレスが1桁のときは、頭に「00」、アドレスが2桁のときは、頭に「0」を付加して3桁で入力してください。（入力した「0」、「00」は表示されません。）

6

宛先名（複合機名）を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（最大 20 文字）
例：営業マシン

7

ボタン名称を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
ボタン名称は手順 6 で入力した宛先名（複合機名）が表示されます。もし、変更しないのであれば「OK」を押す。
（最大 10 文字）

8

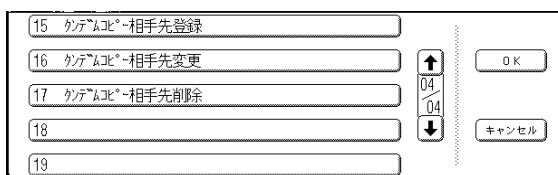
検索文字を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（カタカナで最大 10 文字）

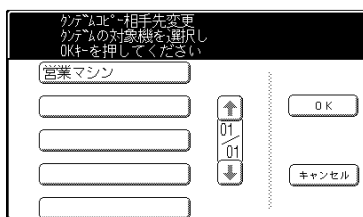
■ 登録した他の弊社複合機（相手先）を変更したいとき

相手先（IP アドレス、複合機名、ボタン名称等）

1-3

☞86 ページの手順 1 ～ 3 を行う。

4

ページをめくり、「16 ﾀﾝﾃﾞﾑｺﾋﾟｰ相手先変更」を選択する。

5

変更する相手先（複合機名）を選択し、「OK」を押す。

6

テンキーで出力する複合機の新しいIPアドレスを入力し、「OK」を押す。

例：192.168.1.20

お願い： アドレスが1桁や2桁の部分は、数字入力後に「＊」キーを押すか、アドレスが1桁のときは、頭に「00」、アドレスが2桁のときは、頭に「0」を付加して3桁で入力してください。（入力した「0」、「00」は表示されません。）

7

新しい宛先名（複合機名）を画面のキーボードを押して訂正・入力し、「OK」を押す。

（最大 20 文字）

例：営業マシン 2

・ 文字入力のしかた（☞ 94 ページ）

8

新しいボタン名称を画面のキーボードを押して訂正・入力し、「OK」を押す。
ボタン名称は手順7で入力した宛先名（複合機名）が表示されます。もし、変更しないのであれば「OK」を押す。
（最大10文字）

9

新しい検索文字を画面のキーボードを押して訂正・入力し、「OK」を押す。
（カタカナで最大10文字）

■登録した他の弊社複合機（相手先）を削除したいとき

1-3

☞86 ページの手順 1 ～ 3 を行う。

4

ページをめくり、「17 ﾀﾝﾃﾞﾑｺﾋﾟｰ相手先削除」を選択する。

5

削除する相手先（複合機名）を選択し、「OK」を押す。

6

「はい」を選択する。
- 削除が実行されます。
- 「いいえ」を選択すると削除を中止します。

ネットワークスキャナー

イメージを取り込みたいとき

■取り込み

ネットワーク経由でご使用のパソコンにイメージの取り込みができます。
ご使用の前に本機のネットワーク設定と同梱CD-ROM内のPanasonic Document Management System のインストールおよび、本機に接続するパソコンを登録する（☞ 92 ページ）必要があります。

1 原稿をセット
・原稿台ガラスまたは ADF

2 スキャナー／ファイルキーを押す

3 アドレス帳でパソコンを選択する（パソコンの事前登録が必要です）（☞ 92 ページ）

4 スキャナーモードを選択する

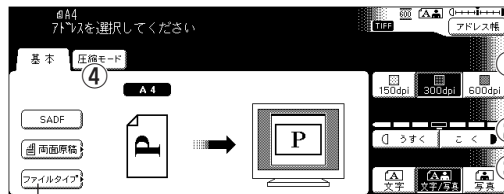
5 スタート

文書が読み込まれ、設定したモードに基づきイメージデータに変換されます。

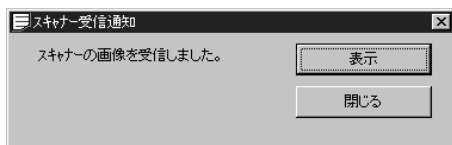
3

①読み込みイメージを送るパソコンを選ぶ。＊
＊イメージを送るパソコンの**Panasonic コミュニケーションユーティリティ**が起動していることを確認してください。

4

⑤ファイルタイプとファイル名を変更したいとき（☞95 ページ）

必要に応じて：
①解像度を設定する。
（150dpi：文字モード時にのみ有効）
②読み取り濃度を調整する。
③原稿モードを設定する。
④圧縮モードを設定する。
・MH、MR、MMR、JBIG の順に圧縮率が高くなります。

パソコンがイメージデータを受信したら、画面上にデータ受信の表示がされます。

6

①データ受信表示がパソコン画面にポップアップ表示される。
②「表示」をクリックする。

7

①Quick Image Navigatorソフトウェアが立ち上がる。
②「インポートフォルダ」にあるスキャナーデータをクリックする。
③「プレビュー」にデータが表示される。

■アドレス帳

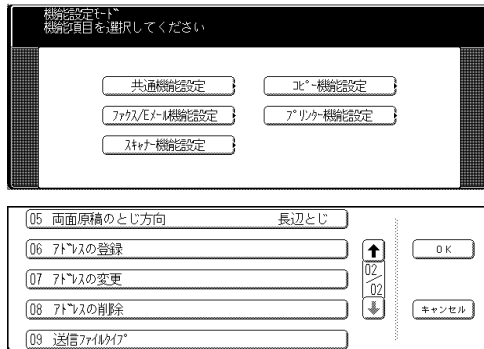
本機に接続するパソコンのIPアドレスを下記の手順で登録してください。

・ 60宛先まで登録できます。
以下の手順で登録するパソコンは、固定のIPアドレスである必要があります。DHCPサーバー環境内のパソコンを登録するとエラーになり、パソコンと本機が接続されません。

1

ファンクション

ファンクションキーを押す。

2

「スキャナー機能設定」を選択し、
「06 アドレスの登録」を選択する。

3

テンキーで接続するパソコンのIPアドレスを入力し、「OK」を押す。

例：192.168.1.10

お願い：IPアドレスの一部が例のように1桁または、2桁のときは、最初に「00」または「0」をつけて3桁にして入力または、数字入力後に「＊」キーを押してください。
（入力した「0」、「00」は表示されません。）

4

宛先名（パソコン名称）を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（最大20文字）

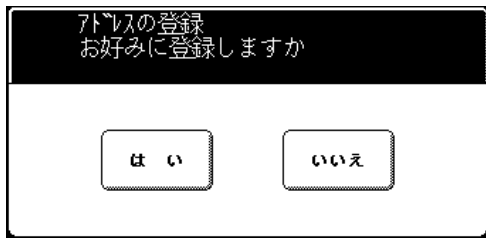
例：営業　01

5

アドレス帳に表示されるボタン名（パソコン名称）を画面のキーボードを押して入力し、「OK」を押す。
（最大 10 文字）
- 初期表示は、手順 4 で入力した宛先名となります。変更しない場合は、そのまま「OK」を押してください。

6

アドレス帳の検索用文字を入力する。
- 文字列の最初の文字により、アドレス帳の登録場所が決まります。（最大 10 文字）

7

アドレス帳の「お好み」に登録するかどうかを選択する。
-「はい」、「いいえ」

頻繁にご使用になるときは「お好み」に登録しておくと便利です。

8

送信先で「PC」（パソコン）を選択し、「OK」を押す。

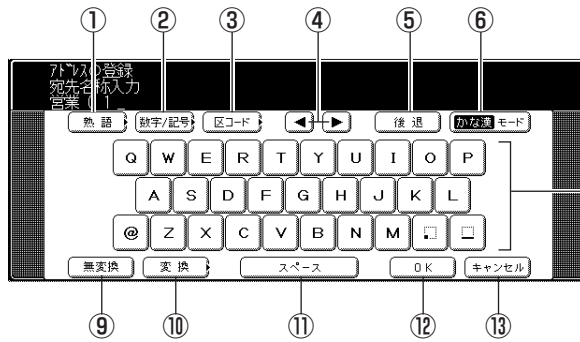
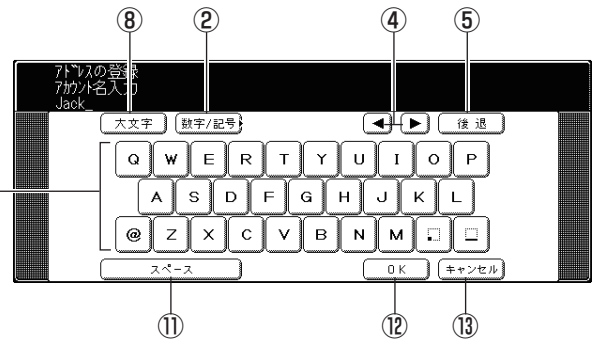
9

「OK」を押す。
- ポート番号は、ネットワーク管理者の指示が無い限り変更しないでください。

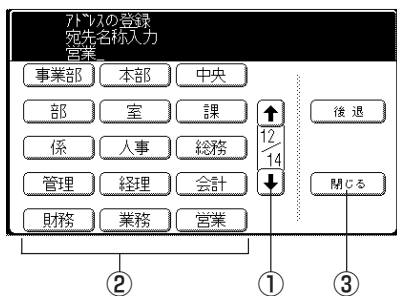
他のパソコンを登録するときは、手順３～９を繰り返します。

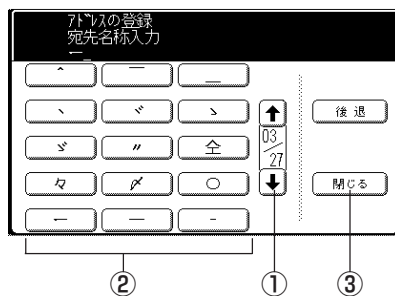
お知らせ

- 「FTP」を選択されるときは、ネットワーク管理者にFTPが使用可能か、確認をしてください。
- 文字入力を間違えたときは、タッチパネルディスプレイ上のキーボードの[◀]または[▶]ボタンでカーソルを訂正する文字の右側に移動させ、「後退」ボタンで削除し、再入力してください。
- 本機がデータ通信中のときは、アドレスブックの変更、消去操作はできません。

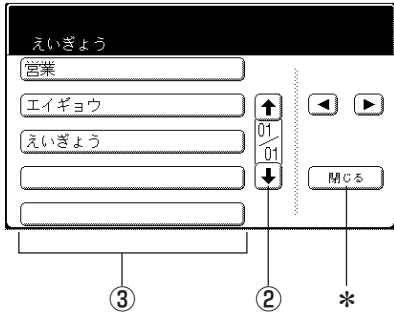
■アドレス帳

〈かな・漢字入力用画面〉　〈英字入力用画面：DD（サーバー）登録時用〉

No.	ボタン名	はたらき
①	熟語 （下図参照）	地名や部署などの熟語を 一覧より選択し入力するとき
②	数字／記号 （下図参照）	数字やハイフンなどを 一覧より選択し入力するとき
③	区コード (95 ページ)	区コード一覧表を別途参照し 文字を入力するとき
④	カーソル 移動	カーソル（_）を左右に移動 させるとき
⑤	後退	入力文字を削除するとき ・カーソルの前の文字が削除される。
⑥	入力モード	入力モードを変更するとき ・かな漢→カナ→英大→英小の順に切り替わる。 ・かな漢：かな／漢字入力 カナ　：全角カタカナ入力 英大　：全角英大文字入力 英小　：全角英小文字入力

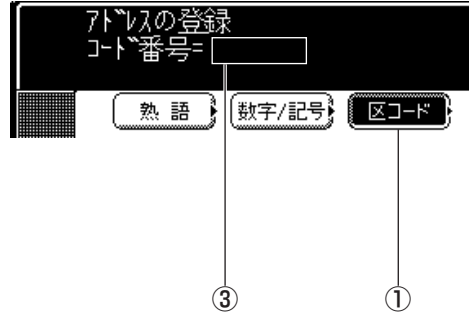
No.	ボタン名	はたらき
⑦	文字	文字を入力するとき
⑧	大文字	半角英大文字を入力するとき
⑨	無変換	かな漢モードで漢字変換しないでひらがなを入力するとき
⑩	変換 (95 ページ)	入力した文字を漢字変換し 入力するとき ・変換一覧より漢字を選択する。
⑪	スペース	スペースを入力するとき
⑫	OK	文字入力を登録するとき
⑬	キャンセル	文字入力をキャンセルするとき

〈熟語一覧画面サンプルと入力手順〉

① 熟語一覧をめくる。（☞119 ページ）
② 対象熟語を選択する。
③ 一覧画面を閉じる。
④ キーボード画面に戻る。

〈数字／記号画面サンプルと入力手順〉

① 数字／記号一覧をめくる。（☞120 ページ）
② 対象記号を選択する。
③ 一覧画面を閉じる。
④ キーボード画面に戻る。

■文字入力のしかた（つづき）

〈漢字一覧画面サンプルと入力手順〉

① かな漢入力モードで文字を入力し、「変換」を押す。
② 複数変換対象があるときは、漢字一覧をめくる。
③ 対象漢字を選択する。
＊「閉じる」ボタン：
途中でキーボード画面に戻るとき。

〈区コードと入力手順〉

①「区コード」を押す。
② 区コード一覧で文字を検索する。
（☞122 ページ）
③ 区コードをテンキーで入力する。

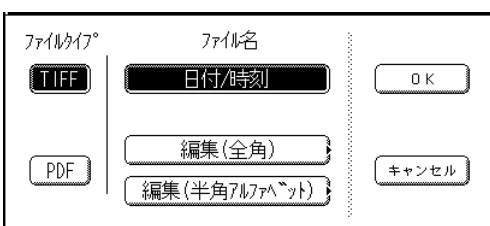
〈文字入力例〉

例１：営業　01

① 入力モードが「かな漢」であることを確認する。
② キーボードで「ＥＩＧＹＯＵ」と入力する。
・「えいぎょう」と表示される。
③「変換」を押す。
・変換対象一覧が表示される。
④「営業」を選択する。
・「営業」と表示される。
⑤「スペース」を押す。
⑥「数字／記号」を押す。
⑦「0」「1」と押す。
⑧「閉じる」を押す。
・「営業　01」と表示される。
⑨「OK」を押す。

例２：セールス

① 入力モードが「カナ」であることを確認する。
② キーボードで「ＳＥ＿ＲＵＳＵ」と入力する。
・「セールス」と表示される。
③「OK」を押す。

■ファイルタイプとファイル名を変更したいとき

① ファイルタイプを選択する。
TIFF または PDF 形式
②「編集」を押す。
③ 表示されたキーボード画面でファイル名を入力し、「OK」を押す。（☞94 ページ）
最大：半角英数字は20字、全角文字は10字
④「OK」を押す。

イメージ取り込み先のパソコンを変更したいとき

■アドレス帳

アドレス帳の内容を変更します。

1

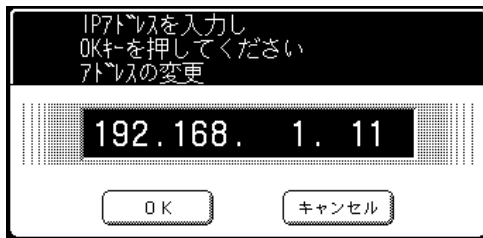
ファンクションキーを押す。

2

「ｽｷｬﾅｰ機能設定」を選択し、
「07 ｱﾄﾞﾚｽの変更」を選択する。

3

変更したい宛先名を選択し、「OK」を押す。
例：営業　01

4

新しいパソコンのIPアドレスをテンキーで入力し、「OK」を押す。
例：192.168.1.11
お願い：IPアドレスの一部が例のように1桁または、2桁のときは、最初に「00」または「0」をつけて3桁にして入力または、数字入力後に「＊」キーを押してください。
（入力した「0」、「00」は表示されません。）

5

カーソル（◀ ▶）ボタンで現在の宛先名の右側にカーソルを移動させ、「後退」ボタンで消し、新宛先名を入力する。
例：営業　01 → 営業

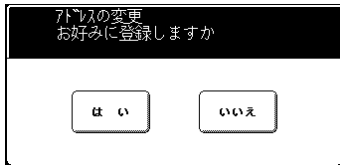
イメージ取り込み先のパソコンを変更したいとき（つづき）

6

カーソル（◀ ▶）ボタンで現在のボタン名（パソコン名称）の右側にカーソルを移動させ、「後退」ボタンで消し、新ボタン名を入力し、「OK」を押す。（最大 10 文字）

7

現在の検索用文字を上記手順と同様に変更し、「OK」を押す。

8

アドレス帳の「お好み」に登録するかどうかを選択する。
・「はい」、「いいえ」

頻繁にご使用になるときは「お好み」に登録しておくと便利です。

9

送信先で「PC」（パソコン）または、「DD」*を選択し、「OK」を押す。

10

「OK」を押す。
・ポート番号は、ネットワーク管理者の指示が無い限り変更しないでください。

お知らせ

＊「DD」は、DD サーバーソフト（オプション）がネットワークの共通サーバーにインストールされているときのみご利用可能です。
「FTP」を選択されるときは、ネットワーク管理者にFTPが使用可能か、否かの確認をしてください。

● 文字入力を間違えたときは、タッチパネルディスプレイ上のキーボードの ◀ または ▶ ボタンでカーソルを移動させ、コントロールパネル上のクリアーキーで文字を消し、再入力してください。

ネットワークスキャナー

イメージ取り込み先のパソコンを削除したいとき

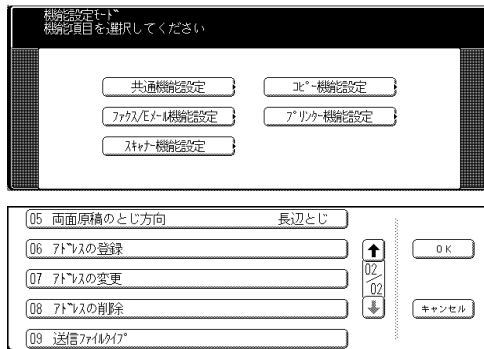
■アドレス帳

アドレス帳の内容を削除します。

1

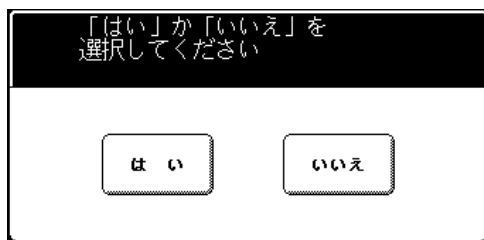
ファンクション

ファンクションキーを押す。

2

「ｽｷｬﾅｰ機能設定」を選択し、
「08 ｱﾄﾞﾚｽの削除」を選択する。

3

削除したい宛先名を選択し、
「OK」を押す。
例：営業　01

4

「はい」を選択する。

イメージ取り込み先のサーバーを登録したいとき

■アドレス帳

アドレス帳へ登録したDDサーバーをご利用になる場合は、DDサーバーソフト（オプション）がネットワークの共通サーバーにインストールされているときのみご利用可能です。

1~9

「イメージ取り込み先のパソコンを本機に登録」の手順1～8（☞ 92ページ）にしたがい設定し、「DD」、「OK」の順に押す。

10

アカウント名を入力し、「OK」を押す。
（最大60文字）

例：Sales

・ネットワークサーバーに登録されているPower User以上のアカウント名を入力する。

11

パスワードを入力し、「OK」を押す。
（最大60文字）

・ネットワークサーバーに登録されているPower User以上のアカウントのパスワードを入力する。

〈次ページへつづく〉

■アドレス帳

12

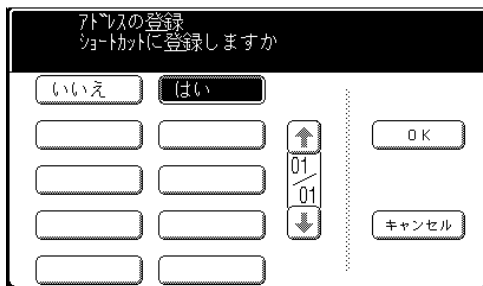
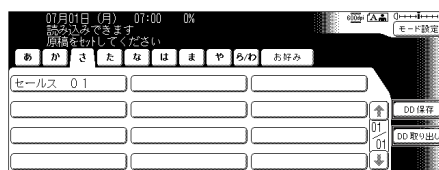
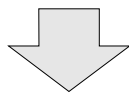
ディレクトリー名を入力し、「OK」を押す。
（最大 64 文字）
例：Sales

13

「OK」を押す。
・ポート番号は、ネットワーク管理者の指示が無い限り変更しないでください。

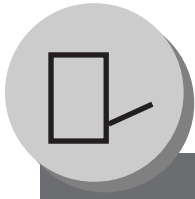
14

「保存」または「取り出し」を選択し、「OK」を押す。

15

アドレス帳のショートカットに登録するか、しないかを選択し、「OK」を押す。

スキャナー初期画面にショートカットが追加される。＊

DD 保存　　：上記手順 14 で「保存」選択時
DD 取り出し：上記手順 14 で「取り出し」選択時

お知らせ

＊ ショートカットが作成されないときは、別途サービス設定が必要な場合があります。サービス実施会社へご連絡ください。

便利なオプション

システム構成

■ オプション

DP-8032/8025は、P/V/VAモデルの3タイプがあります。タイプによっては、一部のオプションが標準装備されております。詳細は、☞ 102ページのオプション装着一覧表を参照ください。

両面ADF（両面自動原稿送り装置）
(DA-AR251)
● VAモデルは、標準装備

ADF（自動原稿送り装置）(DA-AS201)
● Vモデルは、標準装備

原稿台カバー（DA-UC200）
● Pモデル専用

インナートレイ(DA-XN201)
● V/VAモデルは、標準装備

2Wayユニット（DA-FK300）
● インナートレイ装着時に使用
● V/VAモデルは、標準装備

1ビンフィニッシャー
(DA-FS300)
または
アウタートレイ
(DA-XT200)

搬送ユニット（DA-FK315）
● 1ビンフィニッシャー/アウタートレイ装着時に使用
● VAモデルは標準装備

第2給紙ユニット
(DA-DS334)
● 550枚カセットx1段

第2/3給紙ユニット
(DA-DS335)
● 550枚カセットx2段
● 専用台（DA-DA311）

多段給紙ユニット
(DA-DS336)
● 550枚カセットx3段
● 専用台（DA-DA321）

自動両面ユニット
(DA-MD300)
● VAモデルは標準装備

データセキュリティーキット
(DA-SC06)

メモリーボード
(DA-SM16B/SM64B/SM28B)
● 16/64/128 MB
● 電子ソート用

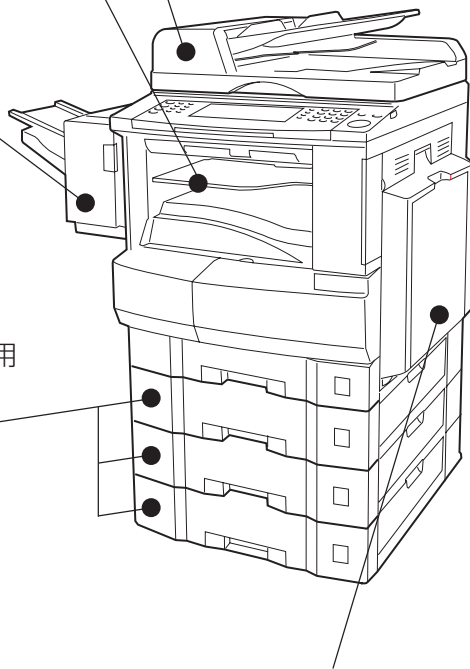
ハードディスクユニット
(DA-HD31)
● ハードディスクユニット装着時は、メモリーボード（16/64/128MB）の装着が必要です。
● 拡張機能用
タンデム／リモートコピー、セキュリティープリント用
メールボックス

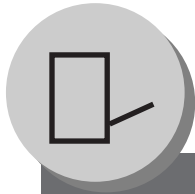
機能拡張ユニット
(DA-EM600)
● DA-PC302装着時に使用

PDLユニット（DA-PC302）
● プリンターコントローラー
PCL6用＊

課金管理ソフトウェア
(DA-WA11)

ドキュメント配信システム
(DA-WR12)

DDサーバーソフトウェア
(DA-WS20)

お知らせ

＊ PCL6は、HP（米国ヒューレットパッカード社）のページプリンター言語です。
● 各オプションおよび組み合わせについての詳細は、お買い上げの販売店または、当社サービス実施会社へお問い合わせください。
● キーカウンターまたは、カード式カウンター（DA-YA205）をご採用のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

オプション装着一覧表／自動原稿送り装置／1 ビンフィニッシャー

■ オプション装着一覧表

モデル タイプ	両面 ADF	ADF	原稿台 カバー	インナー トレイ	2 Way ユニット	搬送 ユニット	自動両面 ユニット
P	OP	OP	OP	OP	OP	OP	OP
V	×	標準	×	標準	標準	OP	OP
VA	標準	×	×	標準	標準	標準	標準

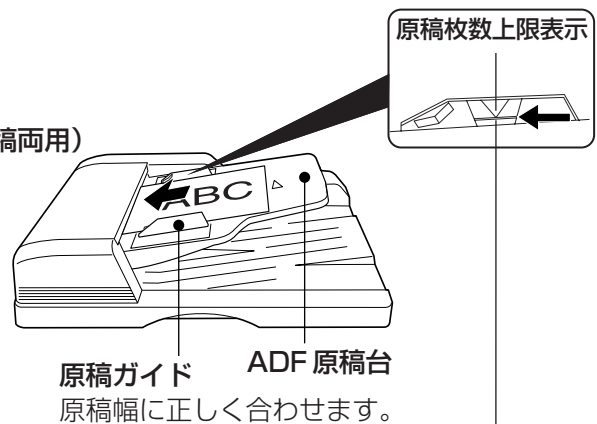
（標準：標準装備、OP：オプション、×：適応外）

● ファクス用拡張オプション（G3/G4 増設ユニットおよび FAX 拡張ユニット）については、取扱説明書（G3 通信／インターネット FAX ／ E メール編）を参照ください。

■ 自動原稿送り装置

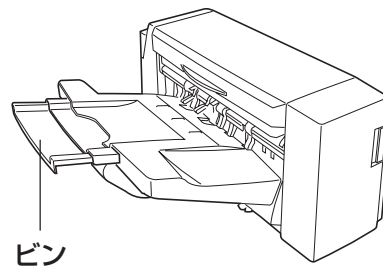
自動原稿送り装置（ADF：片面原稿専用）
(DA-AS201)

両面自動原稿送り装置（両面 ADF：片面 / 両面原稿両用）
(DA-AR251)

原稿幅に正しく合わせます。

50 枚まで：A5/A4/B5
30 枚まで：B4/A3

■ 1 ビンフィニッシャー

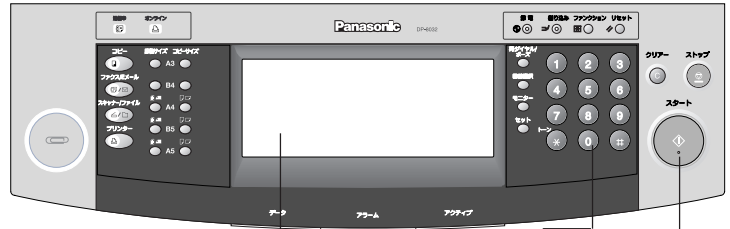
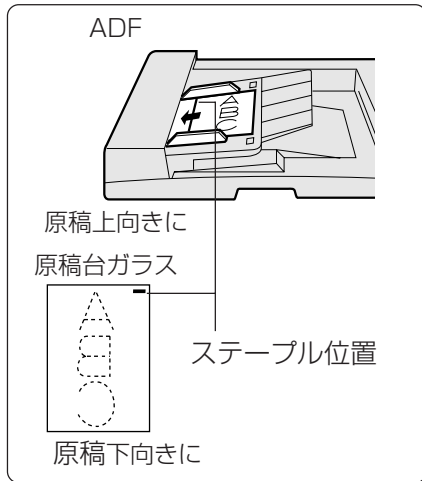
(DA-FS300)

● 自動丁合い
（ソート、スタック）
● 用紙サイズ
A5、B5、B5R、A4、A4R、B4、A3
使用時は、止まるまでビンを引き出す。
● 収納枚数 (80 g/m²)

用紙サイズ	ノンソート／回転	シフト	ステープル＊
A5, B5, B5R A4, A4R	500 枚	500 枚 (最大 30 枚 / シフト束)	綴じ枚数 10 ～ 30 枚→ 45 ～ 16 部
			綴じ枚数 2 ～ 9 枚→ 70 ～ 50 部
B4, A3	250 枚	250 枚 (最大 20 枚 / シフト束)	綴じ枚数 10 ～ 20 枚→ 25 ～ 12 部
			綴じ枚数 2 ～ 9 枚→ 70 ～ 28 部

（A5、B5R はシフトおよびステープルはできません。）

＊例：A4 サイズ
綴じ枚数 10 枚：45 部
綴じ枚数 30 枚：16 部

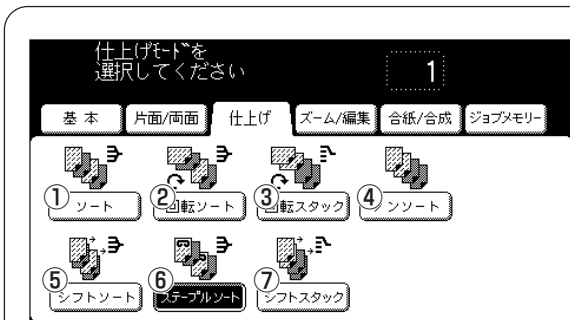
1ビンフィニッシャー（DA-FS300）

1. 使いかた

1 原稿をセット
・原稿台ガラス
　または ADF

2 仕上げモード
タブを選択する

3 仕上げモード
機能を選択する

4 コピー
部数

5 スタート

ソート：　複数枚コピーを自動丁合
スタック：原稿毎に複数枚コピー

①**ソート**
②**回転ソート**
③**回転スタック**
④**ノンソート**
　コピーをそのまま
　ビンに収納する。
⑤**シフトソート**
⑥**ステープルソート＊**
⑦**シフトスタック**

原稿台ガラスから
読み込みのときは：
次の原稿があるなら
「いいえ」を選択する

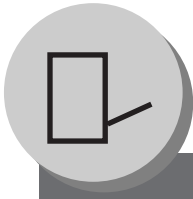
「継続中です...」が
表示されたら次の原稿を
セットしスタート

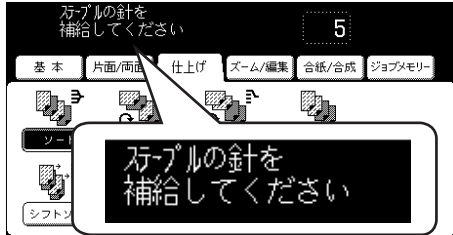
次の原稿がないなら
「はい」を選択する

oF

オーバーフロー oF が表示されたら、フィニッシャービンに留っている用紙を取り除いてください。
ステープルソート時は、用紙を取り除いた後にコントロールパネルのいずれかのキーを押すよう、メッセージが表示されることがあります。そのときは、コントロールパネルのいずれかのキーを押してください。

お知らせ

＊ メモリーオーバーのエラー表示が出たときは、上記のステープルソートは、ソートのみになります。
● メモリーオーバーのエラー表示が出るときは、原稿枚数をわけるか、オプションのメモリーボードを装着してください。またはハードディスクユニットをメモリーボードと合わせて装着してください。（☞ 101 ページ）
● コピーされた用紙がカールしたり不揃いのときは、正常にステープルされない場合があります。これは給紙カセット内の用紙に起因する場合があります。給紙カセット内の用紙を裏返してセットまたは、未開封の用紙をセットしてみてください。

1ビンフィニッシャー(DA-FS300)

2. ステープル針を補給するとき

ステープルの針がなくなると左記のメッセージが表示され、ステープルソートは選択不可となります。

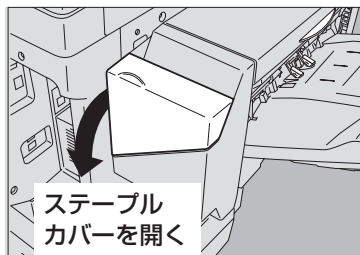
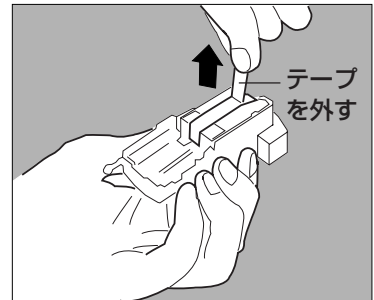
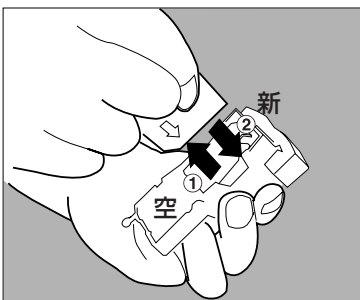
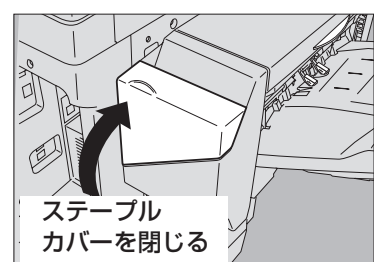
1

2

3

ステープル針ケースを交換する

4

5

6

7

動作の確認
ステープルソートモードを設定し、コピーする。

3. ステープル針を補給してもステープルしないとき

タッチパネルディスプレイに「ステープルできませんでした　ステープル部を確認してください」とメッセージが表示されたときは、ステープル部で針づまりの場合があります。下記の手順でつまった針を取り出してください。

1

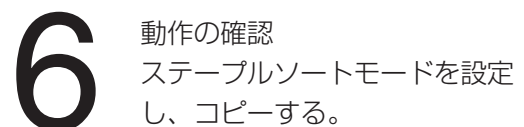
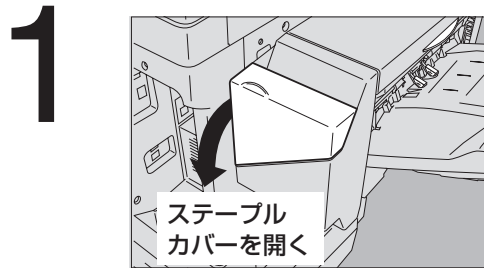
2

3

4

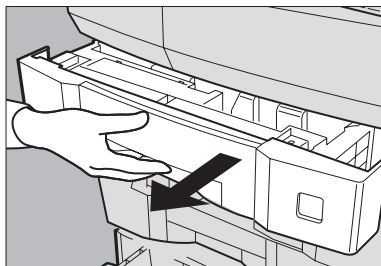
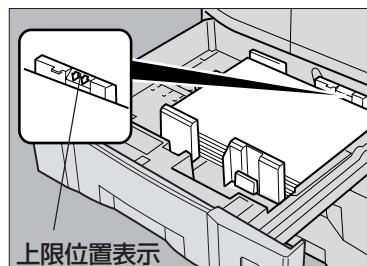
5

6

動作の確認
ステープルソートモードを設定し、コピーする。

コピーができないとき/異常と思われるとき

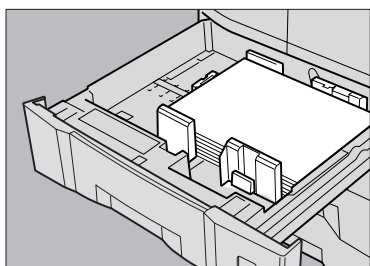
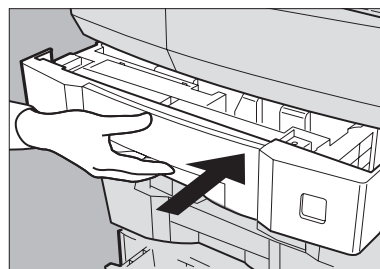
用紙を補給（ ）

■550 枚給紙カセット

1

2

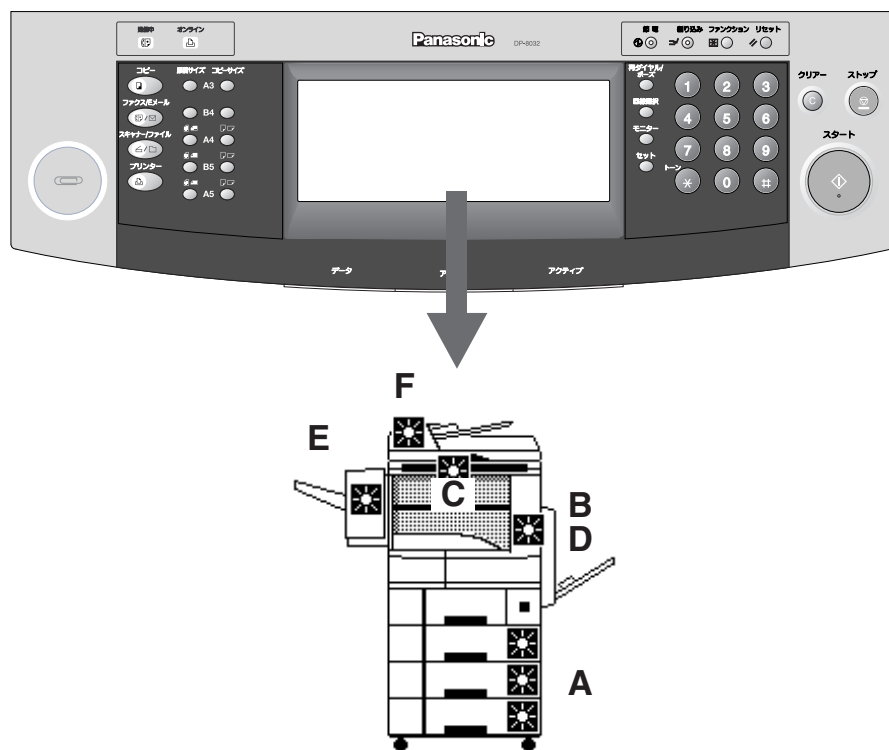
コピーする面を上にして用紙をそろえてセットする

● ラベル紙、OHP フィルム、光沢紙等の特殊な用紙や裏紙は、セットしないでください。
　手差しトレイを使用してください。（☞ 23 ページ）

3

4

お 願 い

● 折り目やしわ、カールした用紙は、使用しないでください。
● 給紙カセットの用紙サイズを変更したいときは、☞ 79ページを参照ください。
● 残った用紙は、必ず、袋に入れ、口を閉じて保管してください。
　そのまま放置するとカールや紙づまり、紙しわ、画質低下の原因となります。

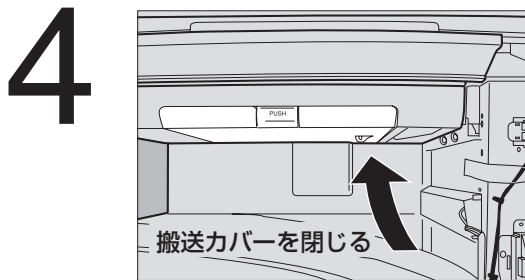
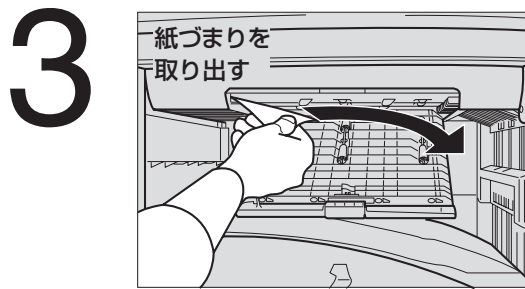
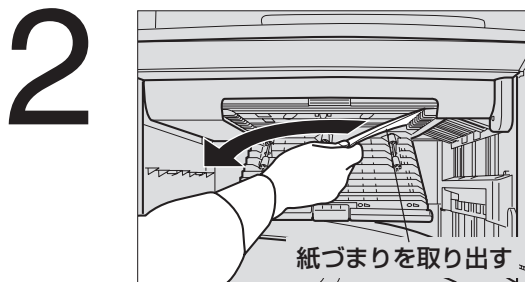
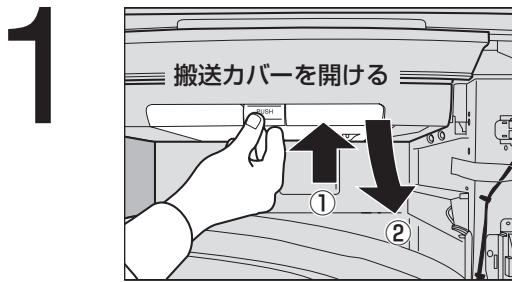
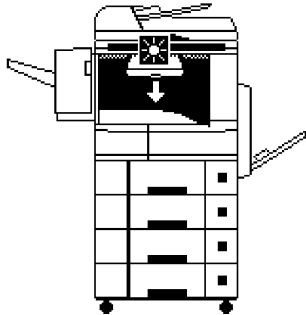
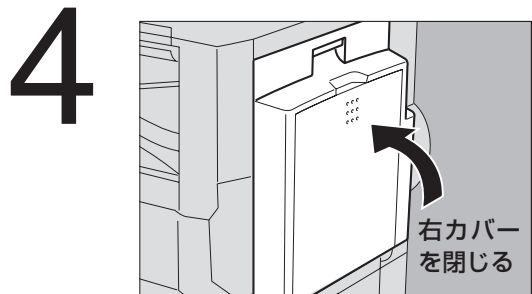
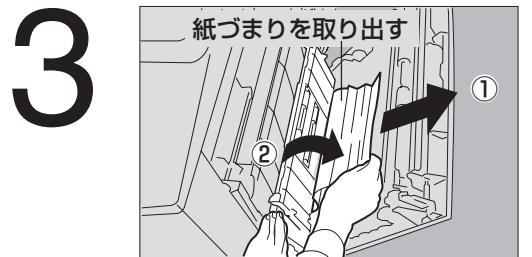
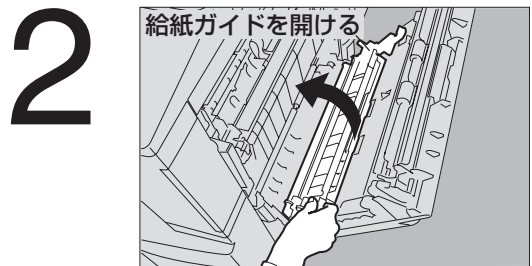
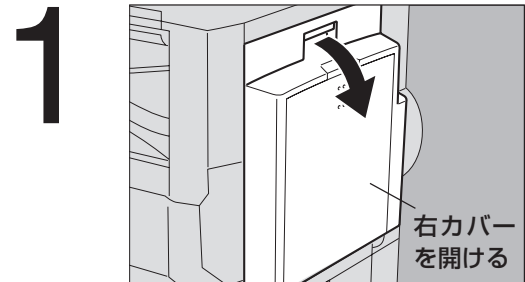
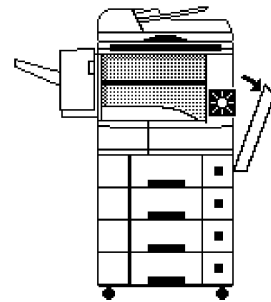
紙づまり処置（8∿）

■紙づまりのときは、紙づまり位置がタッチパネルディスプレイに表示されます。

紙づまり表示／位置表示

● 紙づまり位置が点灯し、表示されますのでつまった紙をすべて取り除いてください。（☞108-112 ページ）

フィニッシャー	E：フィニッシャー（☞ 110 ページ）
本体　および 第 2/3/4 段目給紙カセット部 自動両面部	A：第 2/3/4 段目給紙カセット部（☞ 110 ページ） B：給紙部／第 1 段目給紙カセット部（☞ 109 ページ） C：搬送部（☞ 108 ページ） D：自動両面部（☞ 108 ページ）
両面 ADF/ADF	F：両面 ADF/ADF（☞ 111、112 ページ）

お知らせ

● つまった用紙を取り出し開いたカバーを閉じたあと、紙づまり表示が消えたことを確認してください。用紙がまだ機内に残っていると表示は消えません。再度点検し完全に取り除いてください。
● 紙づまりが続く時は、用紙サイズを確認してください。（☞ 79 ページ）

紙づまり処置（⁂）

■搬送部

1

2

3

4

■自動両面部

1

2

3

4

■給紙部／第１段目給紙カセット部

1

2

3

4

5

6

紙づまり処置（ ）

■第2/3/4段目給紙カセット部

1

2

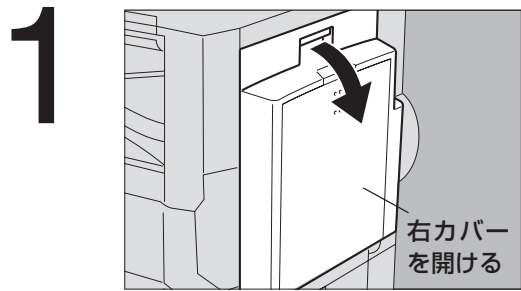
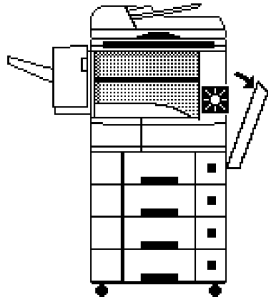
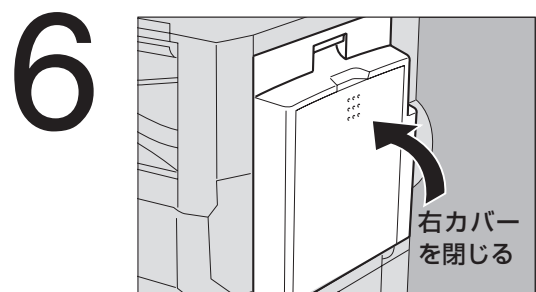
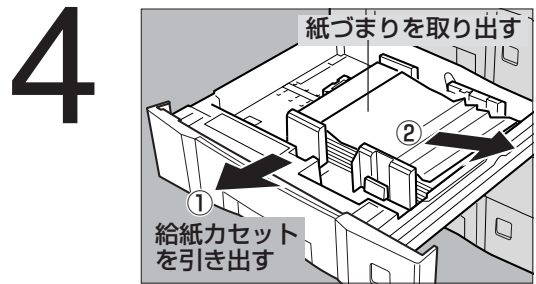
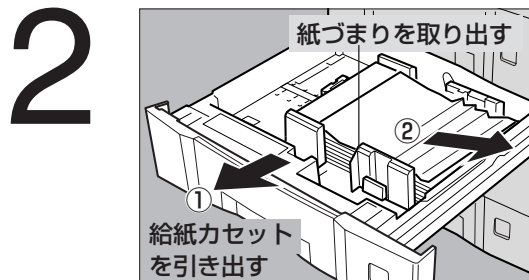
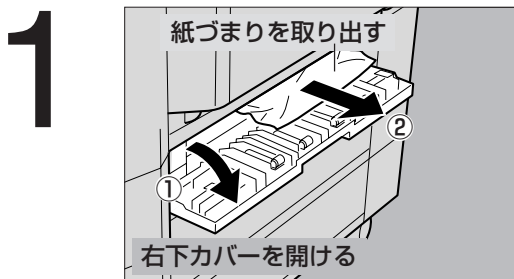
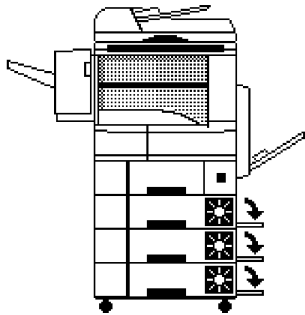
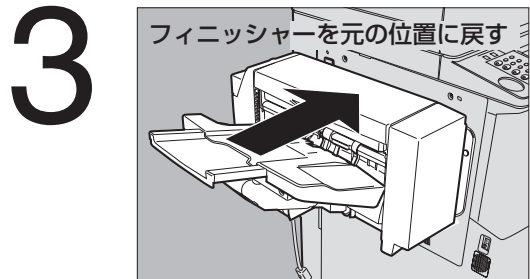
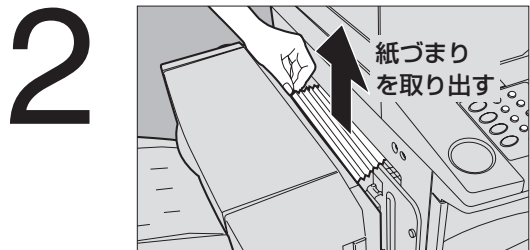
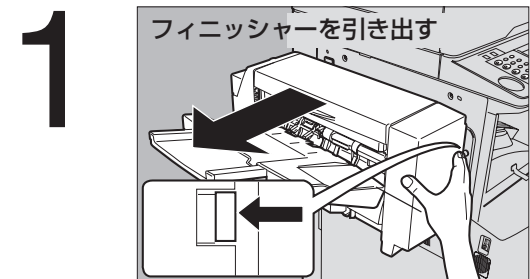
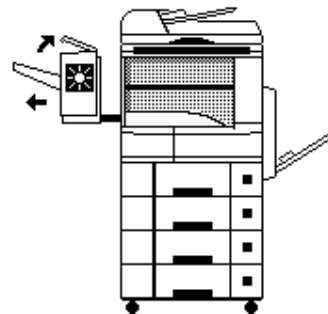
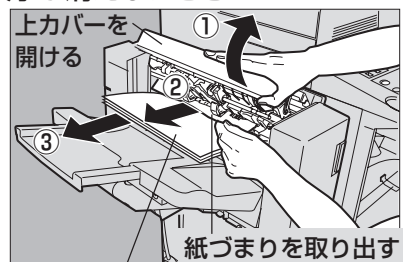
3

4

■フィニッシャー部

1

2

3

紙づまり表示が消えないとき：

残ったコピーを取り出す

お知らせ

● ステープルソートやシフトソート／スタックコピー時に
上カバーを開け、紙づまりを取り除いたときは、フィニッシャー
排紙口に残っているコピーをすべて取り除いてください。

■ 自動両面原稿送り装置（両面 ADF）部

1

2

3

4

5

6

7

8

紙づまり処置（ ）

■ 自動原稿送り装置（ADF）部

1

2

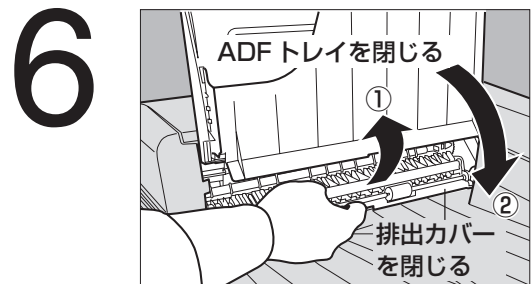
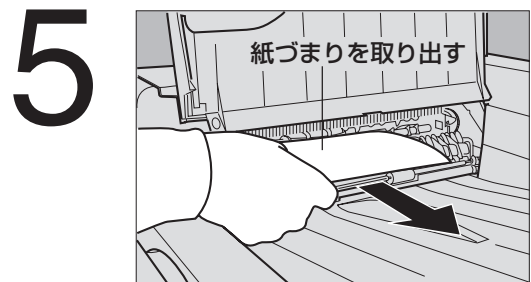
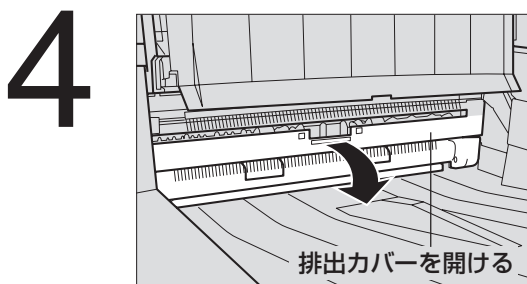
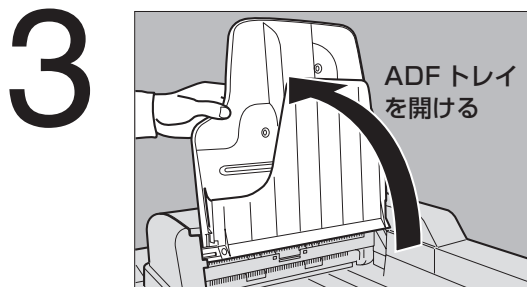
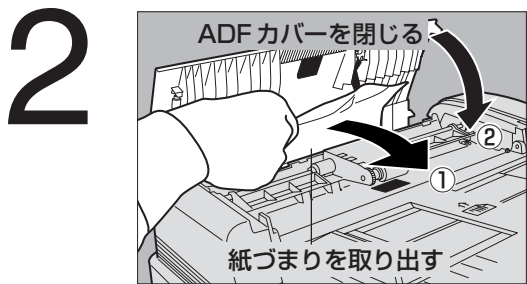
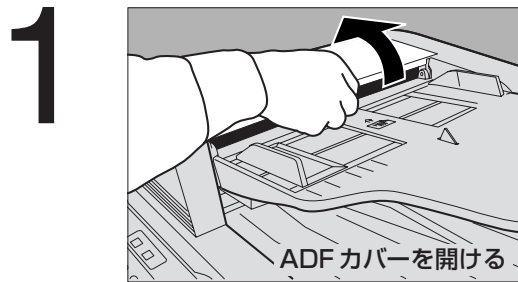
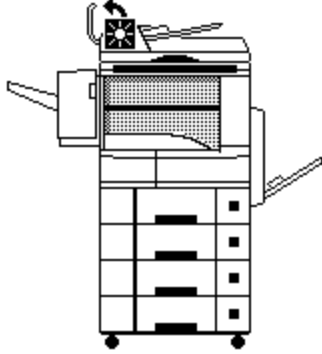
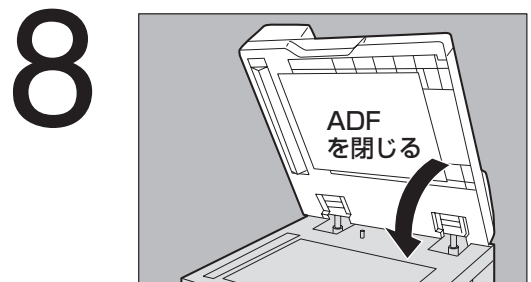
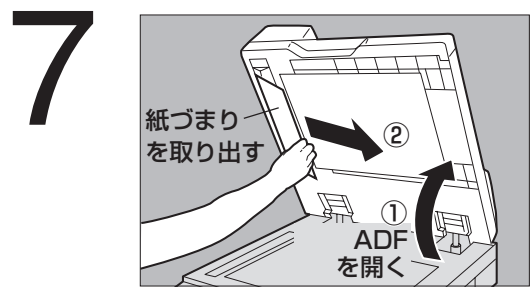
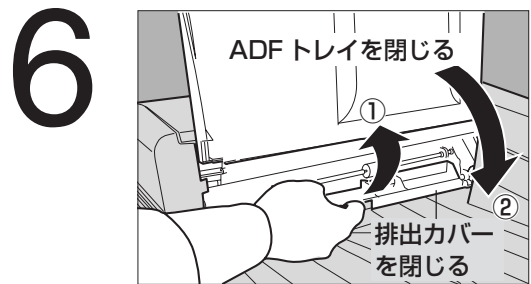
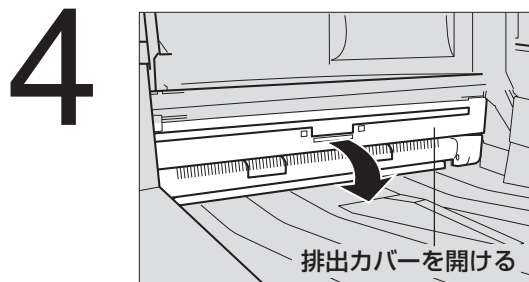
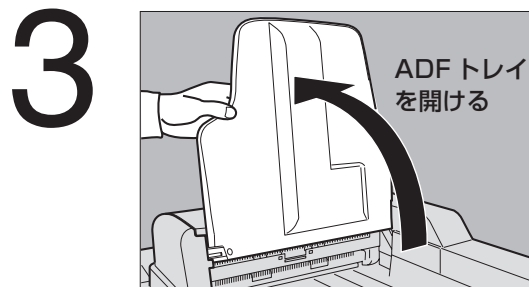
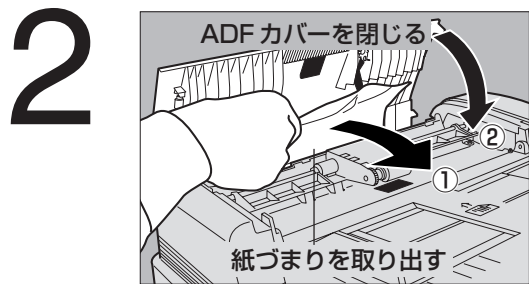
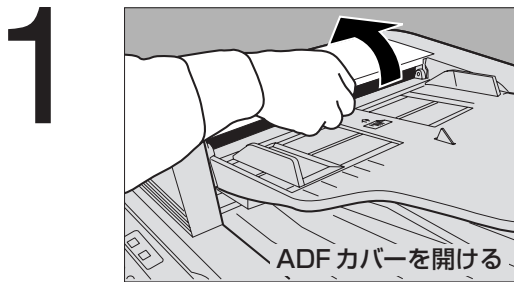
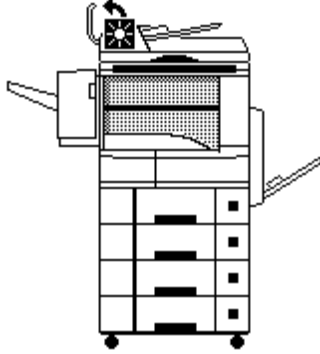
3

4

5

6

7

8

故障かな？と思ったら

■症状と処置

● 機械の不具合点や操作上の指示は、コントロールパネルのタッチパネルディスプレイに表示されます。メッセージをよく確認のうえ、適切に処置してください。

機械が動作しない

〈 処　置 〉

症状		処置
コントロールパネル上の節電キーのランプが点灯または点滅しているか		節電キーを押す。
ディスプレイに何も表示されない		電源スイッチとスタンバイスイッチ（の２カ所）および電源プラグを確認する。
ディスプレイ上にU??表示およびメッセージが出ているか（☞ 114ページ）		メッセージにしたがって処置する。
ディスプレイ上にステープル針補給表示およびメッセージが出ているか		ステープル針を補給する。(☞ 104ページ) ステープル針づまりを取り除く。(☞ 105ページ)
ディスプレイに用紙補給表示およびメッセージが出ているか（ ）		用紙を補給する。（☞ 106ページ）
ディスプレイに紙づまり表示およびメッセージが出ているか（ ）		紙づまりを取り除く。（☞ 107-112ページ）
ディスプレイに「E?-??」表示およびメッセージが出ているか		スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」する。表示やメッセージが消えないときは、数字を確認（メモ）して電源スイッチ（本体背面）を切り（または電源プラグを抜いて）サービス実施会社へ連絡する。
ディスプレイ「oF」表示およびメッセージが出ているか		フィニッシャービンに溜まっている用紙を取り除く。 ステープルソート時： 用紙を取り除いた後、コントロールパネルのいづれかのキーを押す。
コピーモード設定時に機械がロックし、次の操作を受け付けないままとなっている		スタンバイスイッチ（本機左側面）を「切（⏻）」、「入（｜）」する。

コピーがうすい

〈 処　置 〉

症状		処置
コピー濃度表示が「うすい」方になっていないか	(はい)	コピー濃度調整ボタンで「こく」の方にする。
ディスプレイにトナー補給表示およびメッセージが出ているか（ ）		トナー補給が必要、サービス実施会社へ連絡する。

故障かな？と思ったら

汚れたコピーがでる

（はい）　《 処　置 》

原稿台ガラスまたは、ADFの原稿押えが汚れていないか

清掃する（下記参照）

（いいえ）

OHP シート、第 2 原図など透明度の高い原稿をコピーしているか

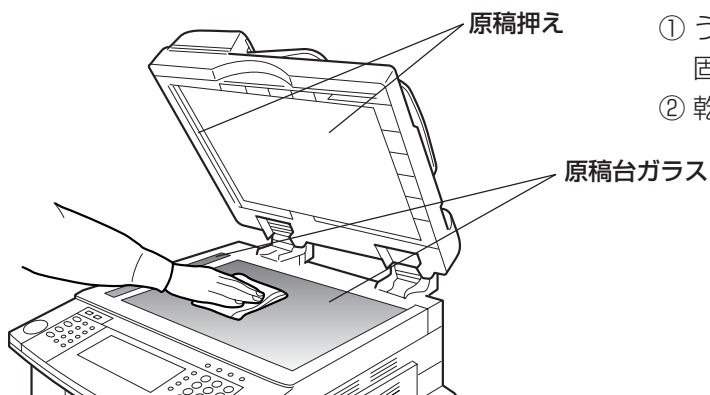
原稿を白紙でカバーしてコピーする。

■Uエラー 一覧

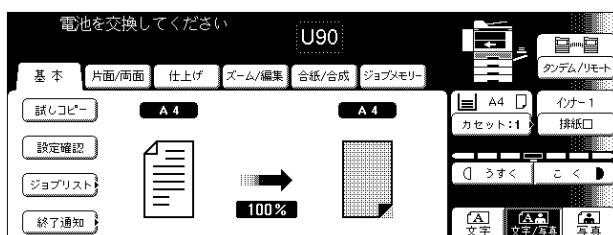
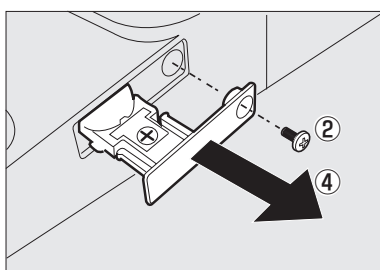
エラー	確　認	エラー	確　認
U1	前カバーが開いている	U18	制限枚数を超過、キーオペレーターに相談してください。
U4	フィニッシャーが引き出されている		
U6	右カバーが開いている	U20	ADF カバーが開いている
U7	各給紙段の右下カバーが開いている	U21	ADF 読み取り中に、ADF が開いている
U8	搬送カバーが開いている	U22	ADF 排出カバーが開いている
U11	フィニッシャーのビンに除去必要な用紙が残っている	U25	サービス実施会社へ連絡してください。
		U90	電池の寿命がきている。交換してください。お買い上げの販売店または、サービス実施会社へ連絡してください。
U12	フィニッシャーステープルカバー／上カバーが開いている		
U13	サービス実施会社へ連絡してください。		
U14	サービス実施会社へ連絡してください。		
U15	サービス実施会社へ連絡してください。		

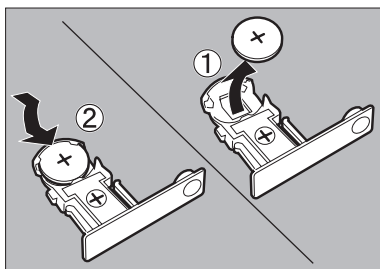
●以上の点検を行っても症状がなおらないときは、サービス実施会社へ連絡ください。

■日常のお手入れ

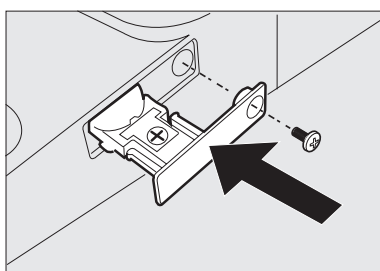
● 一週間に一度程度クリーニングしてください。

① うすめた台所用中性洗剤をふくませ固くしぼった布で汚れを落とし
② 乾拭きしてください。

電池交換のしかた

本機は、内部の日付管理のため、電池を使用しています。
タッチパネルディスプレイに下記のような表示が出たときは、下記の手順で電池を交換してください。
電池は、当社指定のものを必ず使用してください。（指定品番：CR2032）

1

① スタンバイスイッチ（本機左側面）を切る（⏻）。
② コントロールパネルの右側にある電池ホルダーのビスをはずし、止まるまで引き出す。
③ ストッパー爪を押しながら
④ 電池ホルダーを引き抜く。

2

① 電池を外す。
② 新しい電池（品番：CR2032）を入れる。

お願い
電池には、＋－の極性があります。＋表示がある方を上にして入れてください。

3

電池ホルダーを取り付ける。

4

① スタンバイスイッチ（本機左側面）を入れる（｜）。
② 日付時刻を設定する。(☞71 ページ)

お 願 い

● 電池の寿命は、通常使用時で約 1 年間です。
電池交換の表示が出たときは、速やかに交換してください。
● 電池は、消耗品ですので当社サービス実施会社でお買い求めください。

仕　様

■DP-8032/8025

項目	内容
形　式	コンソール型
原稿台方式	固定
複写原稿	シート・ブック （最大 A3）
複写方式	レーザー電子写真方式
定着方式	ヒートローラー定着方式
現像方式	乾式２成分現像方式
解像度	600dpi
操作表示方式	タッチ式大型液晶ディスプレイ
複写サイズ	A3、B4、A4、B5、A5、はがき（はがきは手差しトレイ）
画像欠け幅	5.0mm 以内
ウォームアップタイム	35 秒以内（20℃）
ファーストコピー	4.5 秒以内 （A4、給紙カセット１、原稿台ガラスよりコピー時）
連続複写速度	DP-8032：32 枚／分（A4）、DP-8025：25 枚／分（A4）
複写倍率	等倍： 1：1 拡大： 2.0/1.73/1.63/1.41/1.22/1.15 縮小： 0.87/0.82/0.71/0.61/0.58/0.50 ズーム： 25～400% （1% 単位）
給紙方式	給紙カセット（550 枚）＋手差しトレイ（50 枚） （オプション） 給紙ユニット（550 枚 x 1 または 2、3 段）（☞ 101 ページ）
用紙厚	給紙カセット：60 - 90 g/m²（手差しトレイ：55 - 133 g/m²）
連続複写枚数	最大 999 枚
電　源	AC 100V、50/60Hz
消費電力	最大 1.45kW 低電力モード、スリープモード、 シャットダウンモード時の消費電力（☞58 ページ）
寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	P タイプ　　： 597 x 707 x 572 mm V/VA タイプ： 599 x 707 x 735 mm
質　量（標準装着時）	約 59 kg （P タイプ）／約 70 kg （V タイプ）／約 75 kg （VA タイプ）

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

■ 自動原稿送り装置部（両面 ADF/DA-AR251、ADF/DA-AS201）

項目	仕様
原稿セット枚数	最大 50 枚 /A4、B5、A5（30 枚 /A3、B4） 75 g/m²
原稿サイズ	A5/A4/B5/B4/A3
原稿紙厚	50 - 110 g/m²
電　源	本体より供給
寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	552 × 520 × 135 mm（トレイ部含まず）
質量	8.3 kg（DA-AS201）、9.3 kg（DA-AR251）

■ 1 ビンフィニッシャー（DA-FS300）

項目	仕様
モード	ノンソート／ソート／回転ソート／回転スタック／シフトソート／シフトスタック／ステープルソート
用紙サイズ	A5/B5/A4/B4/A3
用紙厚	64-90 g/m²：ノンソート時
収納枚数（ノンソート時）	最大：500 枚（A4/A4R/B5/B5R/A5）、250 枚（B4/A3）
ステープル／シフト	
用紙サイズ	A4/A4タテ(R)/B5（B5 タテは使用不可）/B4/A3
用紙厚	64 - 80 g/m²
ステープル可能枚数	2 - 30 枚：B5/A4、2 - 20 枚：B4/A3
ステープル個所	奥側コーナー（1 カ所）
電　源	本体より供給
寸法（幅 x 奥行 x 高さ）	182 × 498 × 257 mm
質量	10 kg（本体のみ、レール・取り付け部材を除く）

●製品改良のため、記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。

■ 消耗品

品　　　名	品　番	内　　　容
ステープルカートリッジ	FQ-SS32	針カートリッジ× 3 個入り
電池	CR2032	ボタン電池

（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

? アフターサービスについて

■本機ではいつも良好な状態でお使いいただくために、アフターサービス契約もしくはスポット保守サービスのいずれかを選んでいただけます。

●アフターサービス契約について
機器を良好に使用していただくために定期的に点検および部品交換をいたします。万一の故障にも迅速に対応いたします。又、通常使用状態の故障は無償で修理いたします。

（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

●スポット保守サービスについて
保守サービスと感光体・現像剤および消耗品等の供給はお客様の要請に基づき、つど有料でお引き受けするものです。

（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

●本機の保守契約期間は、ご使用開始日より**5年間**、または、下記プリント枚数使用日のいずれか早く到来する日までです。
120 万枚 ： DP-8032
80 万枚 ： DP-8025

●本機の補修用性能部品の保有期間は、本機製造中止後**7年間**です。

■用紙

良好なコピーをおとりいただくため、できるだけ当社の推奨紙をご使用ください。
（詳細は、お買い上げの販売担当者にお問い合わせください。）

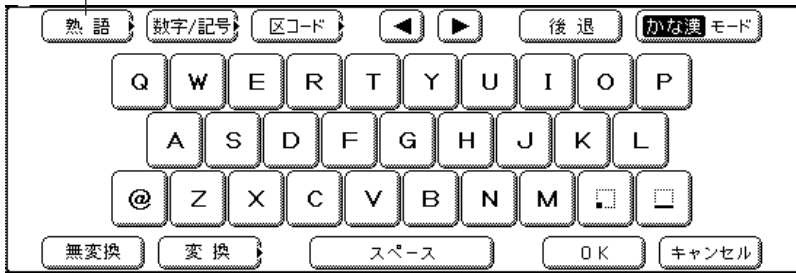
■ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

松下電器産業株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

■お知らせ

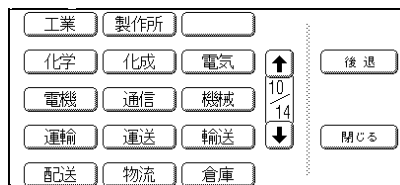
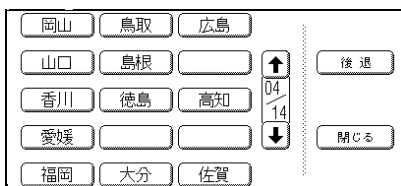
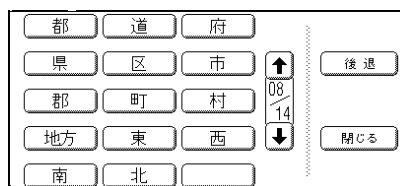
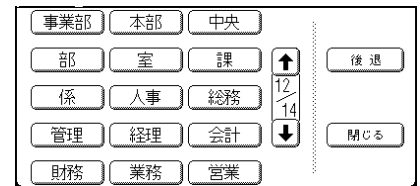
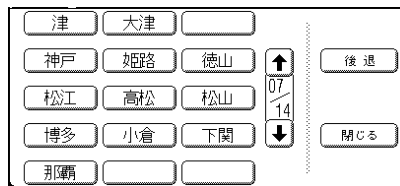
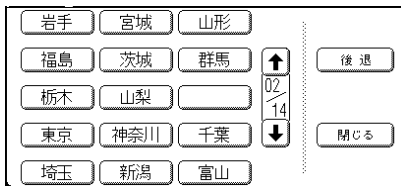
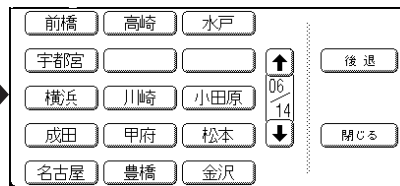
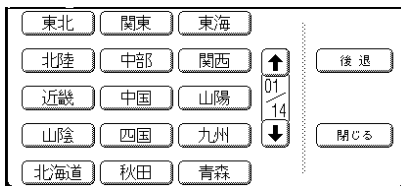
● 使用誤り、静電気、電波の干渉、使用中に電源が切れたときなど記憶内容が変化・消失する場合があります。
（発生した損害について、当社が責任を負えない場合があります）
● 本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスは致しかねます。
（This product is designed for use in Japan. Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.）

付　録

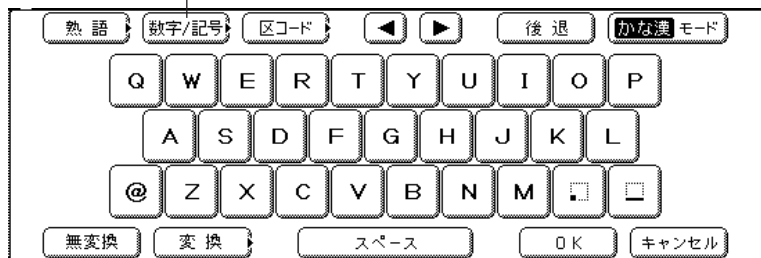
熟語一覧

■熟語の入力手順

①「熟語」ボタンを押すと熟語一覧が表示される。

②ページをめくり、対象の熟語を選択する。

③「閉じる」を押すと熟語一覧表示が閉じる。

付　録

数字／記号一覧

「数字／記号」ボタン

■数字／記号の入力手順

①「数字／記号」ボタンを押すと数字／記号一覧が表示される。

②ページをめくり、対象の数字／記号を選択する。

③「閉じる」を押すと数字／記号一覧表示が閉じる。

01/27

1	2	3
4	5	6
7	8	9
	0	

02/27

	、	。
，	．	・
：	；	？
！	゛	゜
´	｀	¨

03/27

＾	￣	＿
ヽ	ヾ	ゝ
ゞ	〃	仝
々	〆	〇
ー	―	‐

04/27

／	＼	～
‖	｜	…
‥	‘	’
“	”	（
）	〔	〕

05/27

［	］	｛
｝	〈	〉
《	》	「
」	『	』
【	】	＋

06/27

－	±	×
÷	＝	≠
＜	＞	≦
≧	∞	∴
♂	♀	°

07/27

′	″	℃
￥	＄	￠
￡	％	＃
＆	＊	＠
§	☆	★

08/27

○	●	◎
◇	◆	□
■	△	▲
▽	▼	※
〒	→	←

09/27

↑	↓	〓
∈	∋	⊆
⊇	⊂	⊃
∪	∩	∧
∨	￢	⇒

10/27

⇔	∀	∃
∠	⊥	⌒
∂	∇	≡
≒	≪	≫
√	∽	∝

11/27

∵	∫	∬
Å	‰	♯
♭	♪	†
‡	¶	◯

12/27

0	1	2
3	4	5
6	7	8
9	A	B
C	D	E

13/27

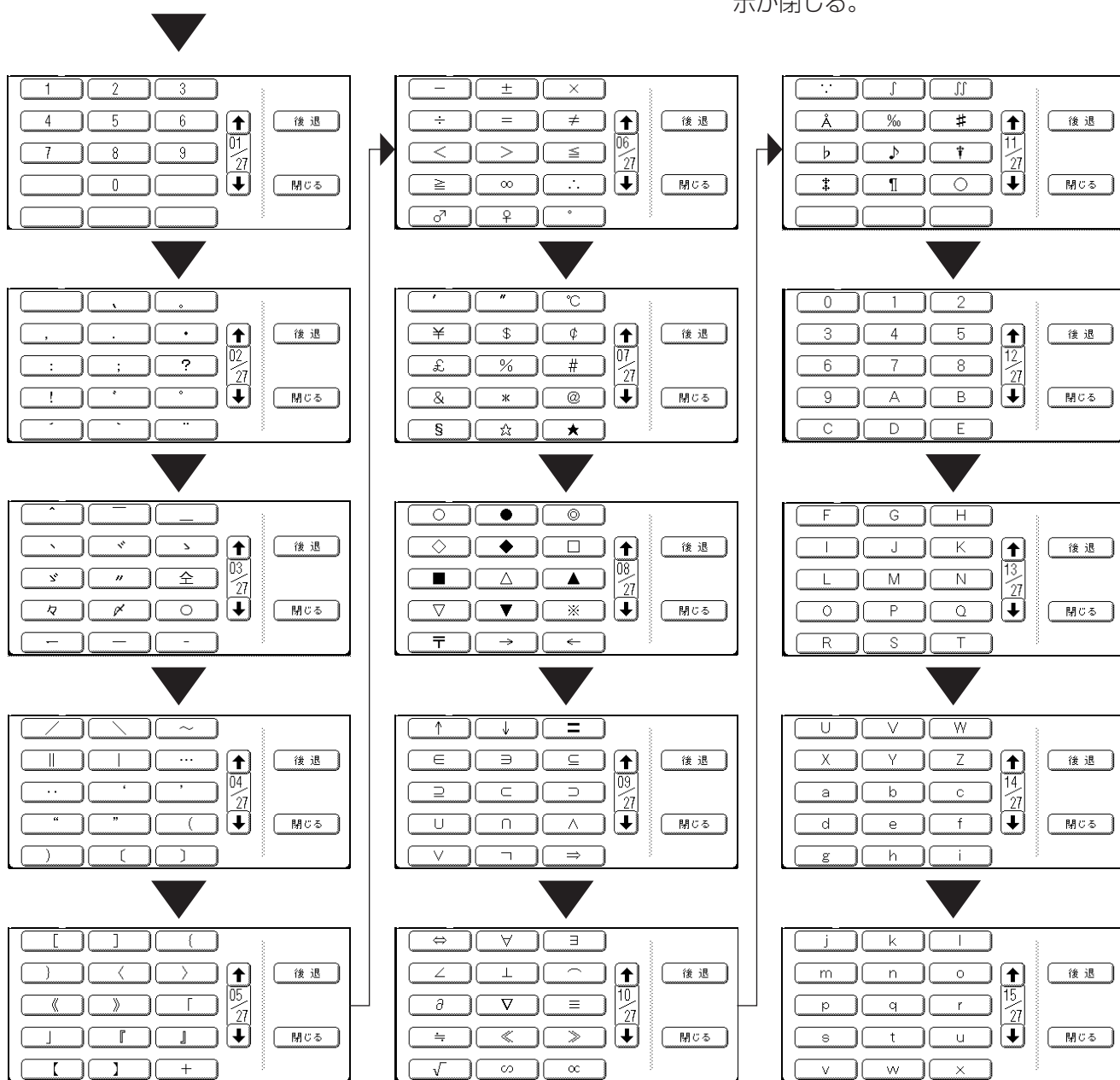
F	G	H
I	J	K
L	M	N
O	P	Q
R	S	T

14/27

U	V	W
X	Y	Z
a	b	c
d	e	f
g	h	i

15/27

j	k	l
m	n	o
p	q	r
s	t	u
v	w	x

（各画面：後 退／閉じる）

16/27へ進む
(☞121ページ)

画面 No. 15/27 より
(☞120 ページ)

16/27

y	z	

後 退　閉じる

17/27

Α	Β	Γ
Δ	Ε	Ζ
Η	Θ	Ι
Κ	Λ	Μ
Ν	Ξ	Ο

後 退　閉じる

18/27

Π	Ρ	Σ
Τ	Υ	Φ
Χ	Ψ	Ω
α	β	γ
δ	ε	ζ

後 退　閉じる

19/27

η	θ	ι
κ	λ	μ
ν	ξ	ο
π	ρ	σ
τ	υ	φ

後 退　閉じる

20/27

χ	ψ	ω
А	Б	В
Г	Д	Е
Ё	Ж	З
И	Й	К

後 退　閉じる

21/27

Л	М	Н
О	П	Р
С	Т	У
Ф	Х	Ц
Ч	Ш	Щ

後 退　閉じる

22/27

Ъ	Ы	Ь
Э	Ю	Я
а	б	в
г	д	е
ё	ж	з

後 退　閉じる

23/27

и	й	к
л	м	н
о	п	р
с	т	у
ф	х	ц

後 退　閉じる

24/27

ч	ш	щ
ъ	ы	ь
э	ю	я

後 退　閉じる

25/27

─	│	┌
┐	┘	└
├	┬	┤
┴	┼	━
┃	┏	┓

後 退　閉じる

26/27

┛	┗	┣
┳	┫	┻
╋	┠	┯
┨	┷	┿
┝	┰	┥

後 退　閉じる

27/27

┸	╂	

後 退　閉じる

01/27 へ戻る
(☞120 ページ)

付　録

区コード一覧

■区コードの入力手順

①「区コード」ボタンを押す。

② 下記以降の区コード一覧で文字を検索する。

③ 区コードをテンキーで入力する。

01	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
20〜39	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’
40〜59	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
60〜79	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
80〜95	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇					

02	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓					
20〜39							∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩						
40〜59			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃											
60〜79	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
80〜95			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯									

03	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19																	0	1	2	3
20〜39	4	5	6	7	8	9								A	B	C	D	E	F	G
40〜59	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
60〜79						a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
80〜90	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z									

04	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
20〜39	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
40〜59	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
60〜79	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
80〜95	ゐ	ゑ	を	ん																

05	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
20〜39	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
40〜59	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
60〜79	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
80〜86	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ													

06	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
20〜39	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω	-	-	-	-									ε	ζ	η
40〜59	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
60〜79																				
80〜94																				

07	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
20〜39	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я						
40〜59		-	-	-	-	-									е	ё	ж	з	и	й
60〜79	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
80〜81	ю	я																		

08	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00〜19		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
20〜39	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥	┸	╂							
40〜59																				
60〜79																				
80〜90																				

16 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
20~	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
40~	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
60~	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
80~	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭					

17 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
20~	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映
40~	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
60~	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
80~	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応					

18 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
20~	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
40~	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
60~	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
80~	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改					

19 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
20~	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
40~	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
60~	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
80~	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱					

20 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
20~	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
40~	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
60~	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
80~	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄					

21 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
20~	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
40~	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
60~	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
80~	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京					

22 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
20~	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
40~	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
60~	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
80~	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈					

23 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
20~	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
40~	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
60~	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
80~	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲					

24 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
20~	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷	言	諺	限	乎	個	古	呼	固
40~	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
60~	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
80~	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向					

25 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
20~	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
40~	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
60~	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
80~	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込					

26 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	些
20~	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
40~	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
60~	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
80~	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷					

27 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00~		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
20~	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺
40~	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
60~	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
80~	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時					

付 録

区コード一覧（つづき）

28区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐(しお)	鹿(しか)	式(シキ)	識	鴫(しき)	竺(ジク)	
20〜	軸	宍(しし)	雫(しずく)	七(シチ)	叱(シツ)	執	失	嫉	室	悉	湿	漆	疾	質	実(ジツ)	蔀(しとみ)	篠(しの)	偲(しのび)	柴(しば)	芝	
40〜	屡(しばしば)	蕊(しべ)	縞(しま)	舎(シャ)	写	射	捨	赦	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇(ジャ)	邪	借(シャク)	勺	
60〜	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若(ジャク)	寂	弱	惹	主(シュ)	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種	
80〜	腫	趣	酒	首	儒(ジュ)	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚(シュウ)	収	周						

29区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴	
20〜	輯	週	酋	酬	集	醜	什(ジュウ)	住	充	十	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔(シュク)	
40〜	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾(ジュク)	熟	出(シュツ)	術(ジュツ)	述	俊(シュン)	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准(ジュン)	循	
60〜	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処(ショ)	初	所	暑	曙	渚	庶	緒	
80〜	署	書	薯	藷	諸	助(ジョ)	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷(ショウ)	償						

30区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠	
20〜	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	
40〜	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	
60〜	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上(ジョウ)	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常	
80〜	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱(ショク)	埴	飾						

31区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱(ジョク)	尻(しり)	伸(シン)	信	侵	唇	娠	寝	審	
20〜	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	
40〜	身	辛	進	針	震	人(ジン)	仁	刃	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥(ス)	諏	す
60〜	須	酢(す)	図(ズ)	厨	逗	吹(スイ)	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随(ズイ)	
80〜	瑞	髄	崇(スウ)	嵩	数	枢	趨	雛	据(すえ)	杉(すぎ)	椙	菅(すけ)	頗(すこぶる)	雀(すずめ)	裾(すそ)						

32区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		澄(すみ)	摺(すり)	寸(スン)	世(セ)	瀬(せ)	畝	是	凄(セイ)	制	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲	せ
20〜	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税(ゼイ)	
40〜	脆	隻(セキ)	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切(セツ)	拙	
60〜	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶(ゼツ)	舌	蝉(せみ)	仙(セン)	先	千	占	宣	専	尖	川	戦	
80〜	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線						

33区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前(ゼン)	善	漸	然	
20〜	全	禅	繕	膳	糎(せんち)	噌(ソ)	塑	岨	措	曾	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	そ
40〜	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧(ソウ)	創	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	
60〜	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡	
80〜	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像(ゾウ)	増	憎						

34区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗(ゾク)	属	賊	族	続	
20〜	卒(ソツ)	袖(そで)	其(それ)	揃(そろい)	存(ゾン)	孫	尊	損	村	遜	他(タ)	多	太	汰	詑	唾(ダ)	堕	妥	惰	打	た
40〜	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体(タイ)	堆	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	
60〜	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛(たい)	代(ダイ)	台	大	第	醍	題	鷹(たか)	滝(たき)	瀧	卓(タク)	啄	
80〜	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁(ダク)	諾	茸(たけ)	凧(たこ)	蛸	只(ただ)						

35区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		叩(たたき)	但(ただし)	達(タツ)	辰	奪(ダツ)	脱	巽(たつみ)	竪(たて)	辿(たどり)	棚(たな)	谷(たに)	狸(たぬき)	鱈(たら)	樽(たる)	誰	丹(タン)	単	嘆	坦	
20〜	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛(ダン)	団	壇	弾	断	
40〜	暖	檀	段	男	談	値(チ)	知	地	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築(チク)	ち
60〜	畜	竹	筑	蓄	逐	秩(チツ)	窒	茶(チャ)	嫡(チャク)	着	中(チュウ)	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷	
80〜	註	酎	鋳	駐	樗(チョ)	瀦	猪	苧	著	貯	丁(チョウ)	兆	凋	喋	寵						

36区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶	
20〜	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅(チョク)	捗	直	朕(チン)	沈	珍	賃	鎮	陳	津(ツ)	墜(ツイ)	椎	つ
40〜	槌	追	鎚	痛(ツウ)	通	塚(つか)	栂(つが)	掴(つかみ)	槻(つき)	佃(つくだ)	漬(つけ)	柘(つげ)	辻(つじ)	蔦(つた)	綴(つづり)	鍔(つば)	椿(つばき)	潰(つぶ)	坪(つぼ)	壷	
60〜	嬬(つま)	紬(つむぎ)	爪(つめ)	吊(つり)	釣	鶴(つる)	亭(テイ)	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟	て
80〜	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓						

37区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		邸	鄭	釘	鼎	泥(デイ)	摘(テキ)	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺(デキ)	哲(テツ)	徹	撤	轍	迭	
20〜	鉄	典(テン)	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛	点	伝(デン)	殿	澱	田	電	兎(ト)	吐	と
40〜	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥(と)	砺	努(ド)	度	土	奴	
60〜	怒	倒(トウ)	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟	
80〜	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到						

38区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働(ドウ)	動	同	堂	導	
20〜	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠(とうげ)	鴇(とき)	匿(トク)	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒(ドク)	
40〜	独	読	栃(とち)	橡	凸(トツ)	突	椴(とど)	届(とどけ)	鳶(とび)	苫(とま)	寅(とら)	酉(とり)	瀞(とろ)	噸(トン)	屯	惇	敦	沌	豚	遁	
60〜	頓	呑(ドン)	曇	鈍	奈(ナ)	那	内(ナイ)	乍(ながら)	凪(なぎ)	薙	謎(なぞ)	灘(なだ)	捺(ナツ)	鍋(なべ)	楢(なら)	馴(なれ)	縄(なわ)	畷(なわて)	南(ナン)	楠	な
80〜	軟	難	汝(なんじ)	二(ニ)	尼	弐	迩	匂(におい)	賑(にぎわい)	肉(ニク)	虹(にじ)	廿(にじゅう)	日(ニチ)	乳(ニュウ)	入						に

39区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
00〜		如(ニョ)	尿(ニョウ)	韮(にら)	任(ニン)	妊	忍	認	濡(ぬれ)	禰(ネ)	祢	寧(ネイ)	葱(ねぎ)	猫(ねこ)	熱(ネツ)	年(ネン)	念	捻	撚	燃	ぬ ね
20〜	粘	乃(ノ)	廼	之(の)	埜	嚢(ノウ)	悩	濃	納	能	脳	膿	農	覗(のぞき)	蚤(のみ)	巴(ハ)	把	播	覇	杷	の は
40〜	波	派	琶	破	婆(バ)	罵	芭	馬	俳(ハイ)	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	
60〜	倍(バイ)	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這(はい)	蝿(はえ)	秤(はかり)	矧(はぎ)	萩	伯(ハク)	剥	博	拍	
80〜	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝(バク)	漠	爆	縛	莫	駁	麦						

40 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　函 箱 硲 箸 肇 筈 櫨 幡 肌 畑 畠 八 鉢 溌 発 醗 髪 伐 罰
20〜 抜 筏 閥 鳩 噺 塙 蛤 隼 伴 判 半 反 叛 帆 搬 斑 板 氾 汎 版
40〜 犯 班 畔 繁 般 藩 販 範 釆 煩 頒 飯 挽 晩 番 盤 磐 蕃 蛮 匪 ひ
60〜 卑 否 妃 庇 彼 悲 扉 批 披 斐 比 泌 疲 皮 碑 秘 緋 罷 肥 被
80〜 誹 費 避 非 飛 樋 簸 備 尾 微 枇 毘 琵 眉 美

41 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　鼻 柊 稗 匹 疋 髭 彦 膝 菱 肘 弼 必 畢 筆 逼 桧 姫 媛 紐
20〜 百 謬 俵 彪 標 氷 漂 瓢 票 表 評 豹 廟 描 病 秒 苗 錨 鋲 蒜
40〜 蛭 鰭 品 彬 斌 浜 瀕 貧 賓 頻 敏 瓶 不 付 埠 夫 婦 富 冨 布 ふ
60〜 府 怖 扶 敷 斧 普 浮 父 符 腐 膚 芙 譜 負 賦 赴 阜 附 侮 撫
80〜 武 舞 葡 蕪 部 封 楓 風 葺 蕗 伏 副 復 幅 服

42 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　福 腹 複 覆 淵 弗 払 沸 仏 物 鮒 分 吻 噴 墳 憤 扮 焚 奮
20〜 粉 糞 紛 雰 文 聞 丙 併 兵 塀 幣 平 弊 柄 並 蔽 閉 陛 米 頁 へ
40〜 僻 壁 癖 碧 別 瞥 蔑 箆 偏 変 片 篇 編 辺 返 遍 便 勉 娩 弁
60〜 鞭 保 舗 鋪 圃 捕 歩 甫 補 輔 穂 募 墓 慕 戊 暮 母 簿 菩 倣 ほ
80〜 俸 包 呆 報 奉 宝 峰 峯 崩 庖 抱 捧 放 方 朋

43 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　法 泡 烹 砲 縫 胞 芳 萌 蓬 蜂 褒 訪 豊 邦 鋒 飽 鳳 鵬 乏
20〜 亡 傍 剖 坊 妨 帽 忘 忙 房 暴 望 某 棒 冒 紡 肪 膨 謀 貌 貿
40〜 鉾 防 吠 頬 北 僕 卜 墨 撲 朴 牧 睦 穆 釦 勃 没 殆 堀 幌 奔
60〜 本 翻 凡 盆 摩 磨 魔 麻 埋 妹 昧 枚 毎 哩 槙 幕 膜 枕 鮪 柾 ま
80〜 鱒 桝 亦 俣 又 抹 末 沫 迄 侭 繭 麿 万 慢 満

44 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　漫 蔓 味 未 魅 巳 箕 岬 密 蜜 湊 蓑 稔 脈 妙 粍 民 眠 務 みむ
20〜 夢 無 牟 矛 霧 鵡 椋 婿 娘 冥 名 命 明 盟 迷 銘 鳴 姪 牝 滅 め
40〜 免 棉 綿 緬 面 麺 摸 模 茂 妄 孟 毛 猛 盲 網 耗 蒙 儲 木 黙 も
60〜 目 杢 勿 餅 尤 戻 籾 貰 問 悶 紋 門 匁 也 冶 夜 爺 耶 野 弥 や
80〜 矢 厄 役 約 薬 訳 躍 靖 柳 薮 鑓 愉 愈 油 癒 ゆ

45 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　諭 輸 唯 佑 優 勇 友 宥 幽 悠 憂 揖 有 柚 湧 涌 猶 猷 由
20〜 祐 裕 誘 遊 邑 郵 雄 融 夕 予 余 与 誉 輿 預 傭 幼 妖 容 庸 よ
40〜 揚 揺 擁 曜 楊 様 洋 溶 熔 用 窯 羊 耀 葉 蓉 要 謡 踊 遥 陽
60〜 養 慾 抑 欲 沃 浴 翌 翼 淀 羅 螺 裸 来 莱 頼 雷 洛 絡 落 酪 ら
80〜 乱 卵 嵐 欄 濫 藍 蘭 覧 利 吏 履 李 梨 理 璃 り

46 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　痢 裏 裡 里 離 陸 律 率 立 葎 掠 略 劉 流 溜 琉 留 硫 粒
20〜 隆 竜 龍 侶 慮 旅 虜 了 亮 僚 両 凌 寮 料 梁 涼 猟 療 瞭 稜
40〜 糧 良 諒 遼 量 陵 領 力 緑 倫 厘 林 淋 燐 琳 臨 輪 隣 鱗 麟 るれ
60〜 瑠 塁 涙 累 類 令 伶 例 冷 励 嶺 怜 玲 礼 苓 鈴 隷 零 霊 麗
80〜 齢 暦 歴 列 劣 烈 裂 廉 恋 憐 漣 煉 簾 練 聯

47 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　蓮 連 錬 呂 魯 櫓 炉 賂 路 露 労 婁 廊 弄 朗 楼 榔 浪 漏 ろ
20〜 牢 狼 篭 老 聾 蝋 郎 六 麓 禄 肋 録 論 倭 和 話 歪 賄 脇 惑 わ
40〜 枠 鷲 亙 亘 鰐 詫 藁 蕨 椀 湾 碗 腕
60〜
80〜

第2水準

48 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　弌 丐 丕 个 丱 丶 丼 丿 乂 乖 乘 亂 亅 豫 亊 舒 弍 于 亞
20〜 亟 亠 亢 亰 亳 亶 从 仍 仄 仆 仂 仗 仞 仭 仟 价 伉 佚 估 佛
40〜 佝 佗 佇 佶 侈 侏 侘 佻 佩 佰 侑 佯 來 侖 儘 俔 俟 俎 俘 俛
60〜 俑 俚 俐 俤 俥 倚 倨 倔 倪 倥 倅 伜 俶 倡 倩 倬 俾 俯 們 倆
80〜 偃 假 會 偕 偐 偈 做 偖 偬 偸 傀 傚 傅 傴 傲

49 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　僉 僊 傳 僂 僖 僞 僥 僭 僣 僮 價 僵 儉 儁 儂 儖 儕 儔 儚
20〜 儡 儺 儷 儼 儻 儿 兀 兒 兌 兔 兢 竸 兩 兪 兮 冀 冂 囘 册 冉
40〜 冏 冑 冓 冕 冖 冤 冦 冢 冩 冪 冫 决 冱 冲 冰 况 冽 凅 凉 凛
60〜 几 處 凩 凭 凰 凵 凾 刄 刋 刔 刎 刧 刪 刮 刳 刹 剏 剄 剋 剌
80〜 剞 剔 剪 剴 剩 剳 剿 剽 劍 劔 劒 剱 劈 劑 辧

50 区　01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19

00〜　辨 劬 劭 劼 劵 勁 勍 勗 勞 勣 勦 飭 勠 勳 勵 勸 勹 匆 匈
20〜 甸 匍 匐 匏 匕 匚 匣 匯 匱 匳 匸 區 卆 卅 丗 卉 卍 凖 卞 卩
40〜 卮 夘 卻 卷 厂 厖 厠 厦 厥 厮 厰 厶 參 簒 雙 叟 曼 燮 叮 叨
60〜 叭 叺 吁 吽 呀 听 吭 吼 吮 吶 吩 吝 呎 咏 呵 咎 呟 呱 呷 呰
80〜 咒 呻 咀 呶 咄 咐 咆 哇 咢 咸 咥 咬 哄 哈 咨

付　録

区コード一覧（つづき）

51 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
20～	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
40～	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
60～	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
80～	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉					

52 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
20～	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
40～	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
60～	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
80～	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩					

53 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
20～	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
40～	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
60～	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
80～	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓					

54 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
20～	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
40～	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
60～	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
80～	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏					

55 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
20～	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
40～	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
60～	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
80～	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚					

56 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
20～	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
40～	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
60～	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
80～	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛					

57 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
20～	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
40～	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
60～	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
80～	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼					

58 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
20～	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
40～	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
60～	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
80～	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼					

59 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
20～	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
40～	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
60～	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
80～	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍					

60 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
20～	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
40～	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
60～	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
80～	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣					

61 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
20～	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
40～	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
60～	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
80～	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾					

62 区		01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
20～	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
40～	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
60～	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
80～	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌					

63	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
20～	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
40～	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
60～	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
80～	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼					

64	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
20～	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
40～	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
60～	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
80～	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱					

65	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
20～	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
40～	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
60～	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
80～	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰					

66	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
20～	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
40～	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
60～	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
80～	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬					

67	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
20～	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
40～	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
60～	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
80～	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐					

68	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
20～	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
40～	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
60～	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
80～	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆					

69	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
20～	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
40～	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
60～	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
80～	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺					

70	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
20～	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
40～	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
60～	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
80～	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋					

71	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
20～	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
40～	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
60～	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
80～	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙					

72	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
20～	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
40～	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
60～	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
80～	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					

73	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
20～	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
40～	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
60～	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
80～	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					

74	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
20～	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
40～	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
60～	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
80～	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞					

付　録

区コード一覧（つづき）

75	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
20～	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
40～	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
60～	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
80～	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫					

76	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
20～	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
40～	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
60～	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
80～	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊					

77	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
20～	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
40～	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
60～	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
80～	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸					

78	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
20～	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
40～	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
60～	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
80～	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮					

79	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
20～	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
40～	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
60～	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
80～	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞					

80	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
20～	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
40～	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
60～	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
80～	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰					

81	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
20～	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
40～	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
60～	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
80～	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷					

82	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
20～	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
40～	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
60～	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
80～	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					

83	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
20～	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
40～	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
60～	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
80～	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠					

84	区	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
00～		堯	槇	遙	瑤	凜	熙													
20～																				
40～																				
60～																				
80～																				

索　引

索　引

■ま行

■や行

■ら行

■わ行

■ 国際エネルギースタープログラムについて

このロゴは、国際エネルギースタープログラムに基づくロゴです。国際エネルギースタープログラム制度は、地球規模の問題である省エネルギー対策に積極的に取り組むべく、エネルギー消費の低減性に優れ、かつ、効果的な使用を可能とする製品の開発及び普及の促進を目的とするものです。当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

● 本製品は、外国為替及び外国貿易法に定める規制対象貨物（又は技術）に該当します。
本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。
This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law.
In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番
販売店名	電話　(　　　)　　-	
サービス実施会社名	電話　(　　　)　　-	

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.co.jp/pcc/

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
ドキュメントソリューションズカンパニー
〒153-8687 東京都目黒区下目黒2-3-8　電話(03)3491-9191

K0608-0 (02)
PJQMC1204ZB
June 2008
Printed in Philippines